

石川県漁海況情報

400号
2018年4月13日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

フクラギ漁・寒ブリ漁・冬期のスルメイカ漁のまとめ

- フクラギの合計水揚量は平年をやや下回り、寒ブリの合計水揚量は平年を下回りました。
- 冬期のスルメイカの合計水揚量は373トンであり、昨年を上回り過去5年平均を下回りました。

水産総合センター・トピックス

- 「石川県青年・女性漁業者交流大会」「水産総合センター公開セミナー」を開催しました。

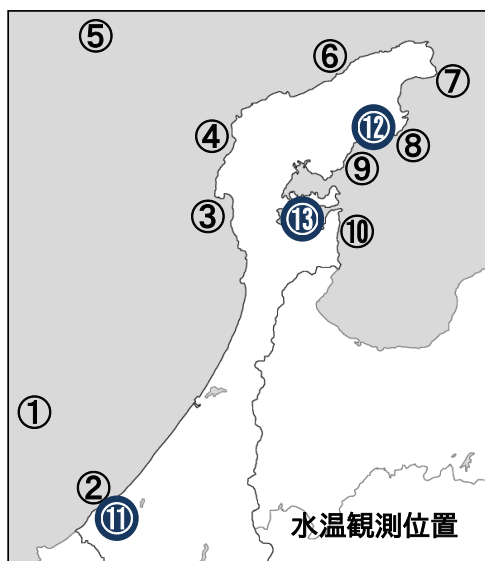
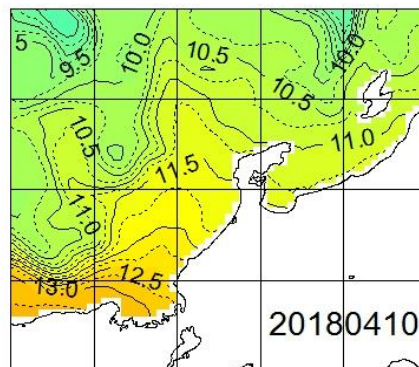
石川県周辺海域の水温（期間:4月6日～10日）

■ **沿岸の海面水温** 4月10日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は10～11℃台で、過去5年平均との差は±0.0～+0.25℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は10.5～12.3℃で、3月下旬から0.7℃上昇しました。前年同時期との差は-0.6～-0.1℃、過去3年平均との差は-0.5～-0.1℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は10.9～12.2℃で、前年同時期との差は-1.1～-0.3℃、過去3年平均との差は-0.5～-0.4℃でした。

石川県周辺の海面水温



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 4/6～4/10	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	12.2	データなし	-0.1
② 橋立沿岸	12.3	-0.1	-0.1
③ 富来沿岸	11.4	-0.3	-0.3
④ 門前沿岸	休止中	データなし	データなし
⑤ 猿山岬沖	11.1	-0.6	-0.5
⑥ 萱々木沿岸	休止中	データなし	データなし
⑦ 小泊沿岸	10.7	-0.4	-0.4
⑧ 小浦沿岸	10.5	-0.3	-0.5
⑨ 鶴川沿岸	10.6	-0.4	-0.5
⑩ 岸端沿岸	10.6	-0.3	-0.1

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

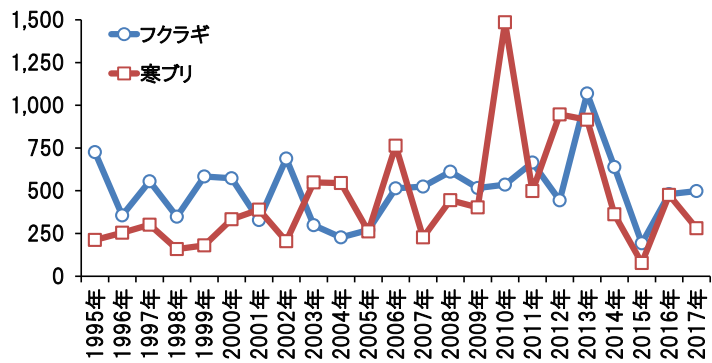
観測位置	5日間平均 4/6～4/10	前年差	過去3年 平均差
⑪ 橋立港	12.2	-1.1	-0.4
⑫ 宇出津港	10.9	-0.3	-0.5
⑬ 石崎港	12.1	-0.6	-0.5

フクラギ漁および寒ブリ漁のまとめ

■ 今期のフクラギ漁(2017年10月～2018年3月、定置網)は、12月に平年(過去10年平均、以下同じ)を上回ったほかは、平年を下回る低調な漁模様となりました。今期の合計水揚量(速報値)は498トンと、平年(568トン)をやや下回りました。

■ 今期の寒ブリ漁(2017年11月～2018年3月、定置網)は、11月中旬から本格的に始まりましたが、期間を通じて低調に推移しました。今期の合計水揚量(速報値)は281トン(約40,000尾)と平年(583トン)の約半分となりました。サイズ別の尾数を見ると、大ブリ(7kg以上)と中ブリ(7kg未満)が概ね半々でした。しかし、体重10kgを超えるサイズのもの約1,300尾とわずかな水揚げに終わりました。

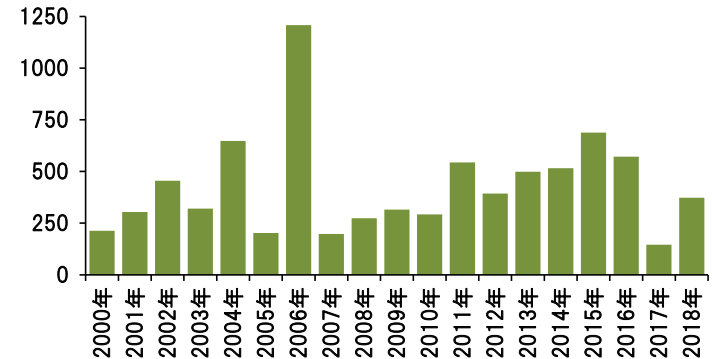
単位(ト) 主要10港の定置網によるフクラギ・寒ブリ水揚量



冬期のスルメイカ漁のまとめ (期間:2018年1月～3月)

■ 今期の定置網による水揚量は373トンであり、昨年(145トン)を上回り、過去5年平均(484トン)を下回りました。漁海況情報392号では、今期の水揚量は過去5年平均を上回ると予想しましたが、予想を下回りました。1月の能登・秋田沖の50m深水温は低く、スルメイカの来遊に好適な条件でしたが、漁獲対象である冬生まれのスルメイカの資源量が低位水準となっており、このため予想を下回ったものと考えられます。

単位(ト) 主要10港の定置網によるスルメイカ水揚量



石川県主要港の水揚状況 (期間:3月16日～31日)

■ **定置網** マアジ・サバ・スルメイカは前年を上回りました。マイワシは2,705トン水揚げされました。1月前半から3月後半までの累計は10,454トンで、前年(1トン)および過去5年平均(1,586トン)を上回りました。

■ **まき網** ブリ主体の水揚げで、前年を下回りました。

■ **底びき網・ごち網** フグ類は前年を上回り、ニギス・ハタハタ・アマエビは前年並み、アカガレイ・マダラは前年を下回りました。

■ **刺網・釣り・その他** ヤナギバチメ・ブリは前年を上回り、ナマコ・アマエビは前年並み、ベニズワイガニは前年を下回りました。

集計期間 3月16日～3月31日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
まいわし			0.1		408.6	1007.2	1289.3	2705.2	0.8
まあじ					0.8	37.7	33.8	72.4	50.8
さば					19.8	34.6	4.5	58.9	17.4
するめいか					0.0	3.2	23.7	26.9	15.7
かわはぎ(ウマヅラ)			0.1		0.4	2.8	1.4	4.7	2.0
まだら			0.2		0.2	3.1	0.9	4.3	2.6
ほっけ					0.1	0.2	1.7	2.1	
さわら・さごし					0.0	0.7	0.3	1.0	8.5
まだい			0.0		0.1	0.1	0.8	1.0	1.6
ひらめ					0.0	0.3	0.5	0.9	0.7
やりいか					0.1	0.3	0.4	0.8	0.7
かながしら					0.0	0.0	0.7	0.7	1.2
このしろ					0.0	0.1	0.5	0.7	6.2
その他			0.1		0.9	2.2	11.7	14.9	64.5
合計			0.4		431.2	1092.5	1370.3	2894.4	172.6
まき網									
ぶり	—	16.4				—	18.4	34.8	231.1
まいわし	—					—	12.3	12.3	
がんど	—	0.2				—	6.3	6.6	54.5
さば	—				0.8	—		0.8	10.8
その他	—	0.0				—	0.1	0.2	4.1
合計	—	16.7			0.8	—	37.2	54.7	300.5
底びき網・ごち網									
ふぐ類	5.7	4.8	57.5	21.1			—	89.1	27.2
にぎす	1.3	33.1	23.8	0.2	0.3		—	58.7	52.5
あかがれい	27.6	7.5	1.5	7.0	1.2		—	44.8	67.1
はたはた	9.6	4.8	8.2	3.2	6.4	4.2	—	36.4	40.4
あまえび	2.7	19.4	2.4	4.9	2.5		—	32.0	37.4
まだら	0.8	2.2	1.3	8.3	2.2		—	14.7	23.2
みずうお(ノロゲンゲ)	0.9	8.2	1.5	0.5	0.4		—	11.5	10.9
あんこう	0.8	1.1	4.9	2.3	0.0		—	9.1	6.4
ずわいがに	0.3	1.3	0.3	2.7	2.3		—	6.9	5.8
その他	10.3	18.7	8.9	13.9	3.1	0.5	—	55.4	68.4
合計	60.0	101.2	110.3	64.1	18.4	4.7	—	358.6	339.3
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		22.7	19.5					42.2	68.7
やなぎばちめ(ウスマガル)	0.0		5.0	11.8	0.1	0.5	0.2	17.7	8.8
ぶり				16.5		0.0	0.0	16.6	3.6
なまこ			0.0	0.0	0.2	11.7	2.0	14.0	12.8
あまえび			12.1				0.0	12.1	11.4
がんど				7.6	0.0	0.1		7.8	5.0
まいわし	0.0					0.1	7.4	7.5	0.0
さより				0.7	0.4	1.0	1.0	3.1	1.1
その他	3.3	1.3	7.8	21.6	1.0	15.4	12.2	62.7	102.9
合計	3.3	24.0	44.4	58.3	1.7	28.9	22.9	183.6	214.4
総計	63.3	141.9	155.1	122.4	452.2	1126.1	1430.3	3491.3	1026.8

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

水産総合センター公開セミナーを開催しました

■ 当センターでは、毎年、漁業関係者を対象に研究成果発表会を開催してきました。昨年度はより広く県民の皆様に、日頃の研究成果や活動内容等を知っていただくため、一般の方も参加できる公開セミナーを平成30年3月10日(土)に金沢みなと会館(金沢市無量寺町)で開催し、45名の参加をいただきました。

■ 内容は第一回目ということで、アマエビ、ブリ、加能ガニなど県民になじみの深い魚種について次の演題(括弧内は発表者)で発表しました。

- ① 性転換するアマエビのふしぎ(川畑 達)
- ② 脊椎骨からわかるブリの成長変化(辻 俊宏)
- ③ 冬の味覚の王様、加能ガニ・香箱ガニの資源を守る(四方 崇文)
- ④ カキ、トリガイを育む里海 七尾湾の環境を測る(奥野 充一)
- ⑤ 郷土の食文化を守る ドジョウ養殖への挑戦(石山 尚樹)

■ また、特別講演として石川県立大学の小柳 喬准教授から「石川県の伝統的発酵食品」について発表をいただきました。

■ 参加者からは今回の内容について概ね満足したとのアンケートの回答をいただきました。センターとしては今後も漁業者をはじめ県民の皆様にあらゆる機会を通じて研究成果や活動内容について報告していきたいと考えております。

■ なお、発表の内容については、今後、この漁海況情報でも逐次報告していく予定です。



石川県青年・女性漁業者交流大会を開催しました

■ 石川県は石川県漁業協同組合とともに毎年、青年や女性漁業者が水産業の専門知識などを深めたり、意見交換等を通じ交流を促進するために石川県青年・女性漁業者交流大会を開催しています。昨年度は、平成30年2月17日(土)に石川県水産会館で約100名の参加をいただき開催しました。

■ まず、山田修路参議院議員からは、資源管理や消費動向等、昨今の漁業情勢を踏まえた「漁業の展望」について講演をいただきました。

■ 次に、経営における収益の多様化や都市との交流促進の観点から、近年、全国的に取り組みが増加している漁業体験について学びました。

■ 当センターから県内の状況について報告するとともに、全国の状況に精通している「海と漁の体験研究所」代表の大浦佳代さんから他県の事例を含め「海の体験交流事業の可能性」と題し講演をいただきました。



石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

スルメイカの漁況の見通し（予報期間:5月～7月）

- 石川県沿岸の小型イカ釣りによる水揚量は前年および過去5年平均並みになる見込みです。
- 日本海沿岸の水揚量は前年並みで、過去5年平均を下回る見込みです。

水産総合センター・トピックス

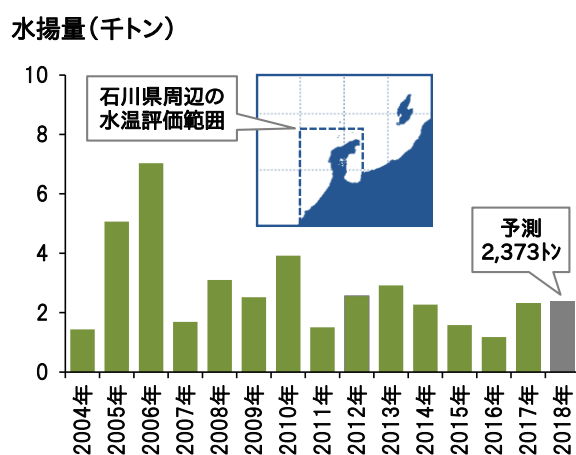
- 「3年ぶりに天然トリガイの操業が始まりました」「性転換するアマエビのふしぎ」

スルメイカの漁況の見通し（予報期間:5月～7月）

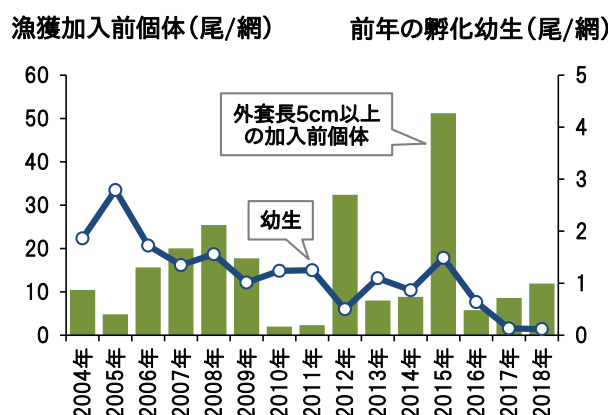
■ **石川県沿岸** 5月中旬の石川県周辺海域の50m深水温が低い年ほど5～7月のスルメイカの水揚量が多くなる傾向にあります。水温が低いとイカの北上が遅くなり、本県沿岸で長期間にわたって漁場が形成されるためと考えられます。海況数値モデルでは、今年5月中旬の50m深水温は前年並みと予想されています。水温と水揚量の関係式から、今期の小型イカ釣りによる水揚量は2,373トンと見積もられ、前年(2,312トン)および過去5年平均(2,053トン)並みになると予想されます。

■ **日本海沿岸** 漁獲加入前のスルメイカ(外套長2～10cm程度)の分布量を調べるため、石川県水産総合センター・富山県水産研究所・日本海区水産研究所は4月に日本海で表層トロール調査を行いました。調査時に外套長5cm以上であったイカが5～7月の漁獲対象になります。外套長5cm以上のイカの調査点当たりの平均採集尾数は11.6尾であり、前年(8.6尾)を上回ったものの過去5年平均(16.5尾)を下回りました。昨年秋の孵化幼

小型イカ釣りのスルメイカ水揚量(5～7月)



スルメイカ分布量調査の結果



生調査では、調査点当たりの平均分布密度は0.12尾と前年(0.13尾)並みに低く、過去5年平均(0.84尾)を下回っており、今期漁獲されるイカの孵化量は資源が低かった1980年代の水準にまで落ち込んでいます。以上から、今期の日本海沿岸への来遊量は前年並みで、過去5年平均を下回ると予想されます。一方、対馬暖流の水温は平年並みと予想されており、主な漁期・漁場は近年同様と考えられます。日本海沿岸の漁況予報(平成30年度第1回日本海スルメイカ長期漁況予報)の詳細については、水産庁の資源評価等推進委託事業のページ(<http://abchan.fra.go.jp/>)をご覧ください。

石川県周辺海域の海面水温(期間:4月19日~23日)

■ **沿岸の海面水温** 4月23日の本県周辺(海岸線より30海里程度)の海面水温は11~13℃台で、過去5年平均との差は±0.0℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は11.6~14.2℃で、4月中旬から約1.6℃上昇しました。過去3年平均との差は+0.0~+1.3℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は12.3~15.1℃で、前年同時期との差は+0.4~+1.2℃、過去3年平均との差は+0.5~+1.4℃でした。

沿岸観測ブイの水温(深度10mの値)

観測位置	5日間平均 4/19~4/23	前年差	過去3年平均差
① 橋立沖	14.2	+0.8	+1.2
② 橋立沿岸	13.9	+0.5	+0.5
③ 富来沿岸	13.2	+0.5	+0.5
④ 門前沿岸	休止中	データなし	データなし
⑤ 猿山岬沖	13.4	+1.3	+1.3
⑥ 萱々木沿岸	休止中	データなし	データなし
⑦ 小泊沿岸	12.2	+0.3	+0.3
⑧ 小浦沿岸	12.1	+0.3	+0.4
⑨ 鶴川沿岸	11.6	-0.0	+0.0
⑩ 岸端沿岸	12.0	+0.5	+0.8

港内の水温(深度1.5m・午前9時の値)

観測位置	5日間平均 4/19~4/23	前年差	過去3年平均差
① 橋立港	15.1	+1.2	+1.4
② 宇出津港	12.3	+0.4	+0.5
③ 石崎港	14.0	+0.5	+0.6

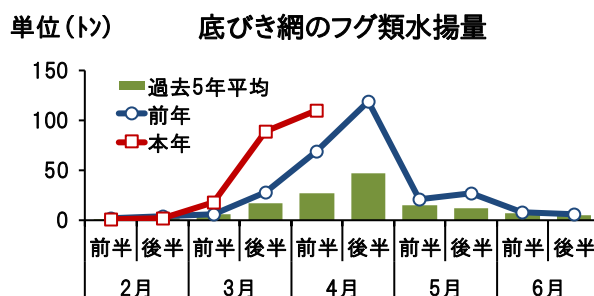
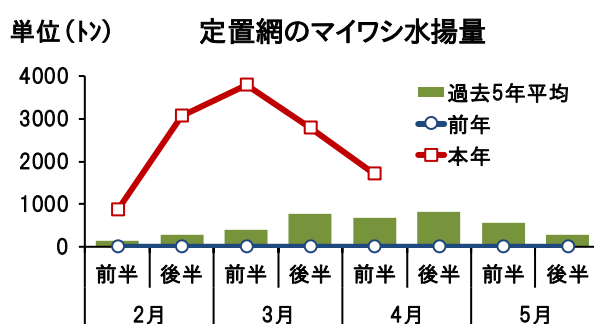
石川県主要港の水揚げ状況(期間:4月1日~15日)

■ **定置網** サバは前年を上回り、カワハギ・アマジ・スルメイカは前年を下回りました。マイワシは1,738トン水揚げされました。2月前半から4月前半の累計は12,261トンで、前年(7トン)および過去5年平均(2,239トン)を上回りました。

■ **まき網** ガンドは前年を上回り、ブリは前年を下回りました。

■ **底びき網・ごち網** ニギスは前年を上回り、アマエビは前年並み、ハタハタ・アカガレイは前年を下回りました。フグ類は110トン水揚げされました。2月前半から4月前半の累計は219トンで、過去5年平均(51トン)を上回りました。

■ **刺網・釣り・その他** アマエビは前年並み、ヤナギバチメは前年を下回りました。



集計期間 4月1日～4月15日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
まいわし			20.8		318.4	846.5	552.5	1738.3	6.1
さば			0.0		2.5	15.8	0.5	18.8	7.1
かわはぎ(ウマヅラ)			0.6		0.2	5.3	0.7	6.8	12.3
まあじ			0.1		0.8	4.2	1.4	6.5	32.9
するめいか					0.0	1.8	4.1	5.9	15.1
さわら・さごし			0.6		0.1	2.5	0.9	4.1	10.1
ふぐ類			0.1		0.0	2.8	0.6	3.5	13.3
ほっけ					0.2	0.7	2.5	3.3	
まだい			0.2		0.4	0.7	1.4	2.6	3.1
さくらます			1.4		0.0	0.0	0.1	1.6	0.5
このしろ					0.0	0.1	1.2	1.4	6.0
すずき			1.1		0.0	0.1	0.2	1.3	1.3
ひらめ			0.0		0.0	0.6	0.6	1.3	0.8
その他			0.5		1.0	2.4	6.0	9.9	86.1
合計			25.4		323.6	883.5	572.7	1805.2	194.6
まき網									
がんど	—	21.3				—	3.8	25.1	7.0
ぶり	—	18.3				—	1.0	19.3	192.1
まだい	—	3.8				—	0.4	4.2	0.4
ふぐ類	—	0.5				—		0.5	0.0
その他	—	0.0				—		0.0	0.0
合計	—	43.8				—	5.2	49.0	199.5
底びき網・ごち網									
ふぐ類	8.9	2.3	75.3	23.5			—	110.0	68.3
にぎす	2.1	24.6	16.5	0.3	0.2	0.3	—	44.0	26.6
あまえび	1.6	13.0	1.0	6.0	2.0		—	23.7	26.7
はたはた	1.8	0.2	2.9	2.3	6.1	6.2	—	19.5	37.3
あかがれい	11.7	3.0	0.4	3.8	0.2		—	19.1	31.3
まだら	0.7	0.6	0.1	3.0	0.9		—	5.3	11.5
そうはち	1.0	2.1		2.0	0.0		—	5.1	7.0
あんこう	1.2	0.7	1.2	1.8			—	4.8	6.0
すがれい(ムシガレイ)	0.3	0.5	1.1	2.3			—	4.1	4.8
その他	5.3	8.7	7.0	9.8	2.2	0.2	—	33.2	47.5
合計	34.5	55.6	105.5	54.8	11.7	6.7	—	268.9	267.0
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		38.1	24.0	0.5				62.6	54.4
やなぎばちめ(ウスマル)	0.1	0.1	2.5	12.4	0.0	0.1	0.1	15.3	30.7
あまえび			9.5				0.0	9.5	9.2
ぶり			0.0	7.6				7.6	7.0
ふぐ類	0.0		1.5	4.1		0.0	0.1	5.7	3.0
なまこ			0.0	0.0	0.2	2.7	1.0	3.9	1.4
あからばちめ(ハツメ)				3.5				3.5	0.7
さより				0.4	0.4	1.2	1.0	3.0	1.8
その他	1.9	1.2	6.4	12.0	1.2	8.8	8.7	40.2	56.4
合計	1.9	39.4	44.0	40.4	1.8	12.8	11.0	151.3	164.5
総計	36.4	138.9	174.9	95.2	337.1	903.0	589.0	2274.5	825.7

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

3年ぶりに天然トリガイの操業が始まりました

■ 4月18日に七尾湾で天然トリガイの貝柙網操業が始まりました。操業が行なわれるのは3年ぶりです。

■ トリガイやアカガイは資源量の変動が大きいため、七尾湾漁業振興協議会と当センターが共同で実施する資源量調査の結果をもとに操業の可否を決めています。昨年の調査では七尾北湾でまとまった漁獲があり、今年の操業が行なわれることが決まりました。

■ 初日は10隻が6時30分から11時まで七尾北湾で操業し、トリガイ142.1kg、アカガイ10.5kgを石川県漁協七尾支所に水揚げしました。トリガイは昨年の調査結果から中サイズのものが多いと予想されていましたが、殻長90mmを超える大型のものも多く、初日はまずまずの水揚げでした。今後は水揚げの状況を見ながら6月中旬まで操業する予定となっています。



性転換するアマエビのふしぎ（3月10日公開セミナー講演概要）

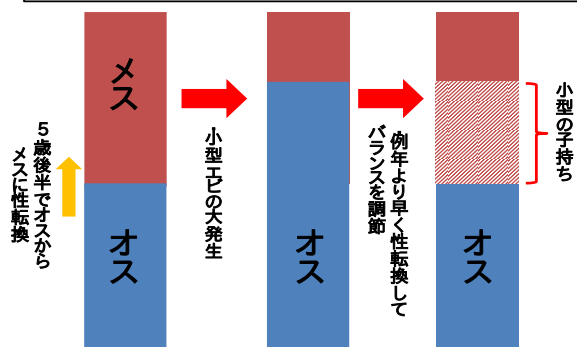
■ 本県においてアマエビ（標準和名：ホッコクアカエビ）は、漁獲量が本州で第1位を誇るなど重要な水産物です。アマエビは成長につれてオスからメスへと性別を変える（性転換する）ことが知られています。

■ アマエビは主に水深200～550mの海底に分布します。アマエビは卵からふ化すると、1ヵ月間の浮遊生活を経て、着底します。そして、3歳には成熟したオスとなり、5歳後半まではオスとして、6歳になると性転換し、メスとして繁殖に参加します。交尾したメスは腹部に受精した卵を抱えたまま10ヵ月間過ごします。このアマエビが店に並ぶ“子持ちエビ”です。卵がふ化した後、1年の間隔をあけて、再び交尾を行います。メスは一生の間に3回産卵し、11歳で寿命を迎えます。

■ 2013年に漁業者から例年より小さい子持ちエビが多いとの報告を受けました。当センターで調べてみると、5歳と思われる子持ちエビが多いことが分かりました。通常は6歳でメスに性転換していますが、例年より1年早く性転換したと考えられます。

■ 1年早く性転換したメカニズムについて仮説を立てました。当センターの調査で、2010年にアマエビが特に多く発生したことがわかっています。この2010年生まれのアマエビが2013年に3歳となり、集団内で成熟したオスの割合が例年より高くなりました。このためアマエビは性比の均衡を図るため、1年早く性転換したと考えられます。しかし、アマエビが海底でどのように集団内の雌雄比を把握しているのかは分かっていません。アマエビには、まだまだ多くのふしぎが残っています。

子持ちエビ小型化のメカニズム（模式図）



石川県漁海況情報

402号
2018年5月16日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

小型いか釣りの水揚量（期間:5月1日～13日）

- 水揚量は前年・過去5年平均を大きく下回っています。
- 水揚げの主体は30尾入りであり、魚体は大きめです。

水産総合センター・トピックス

- 「平成30年度のトリガイ種苗生産を開始しました」「脊椎骨からわかるブリの成長変化」

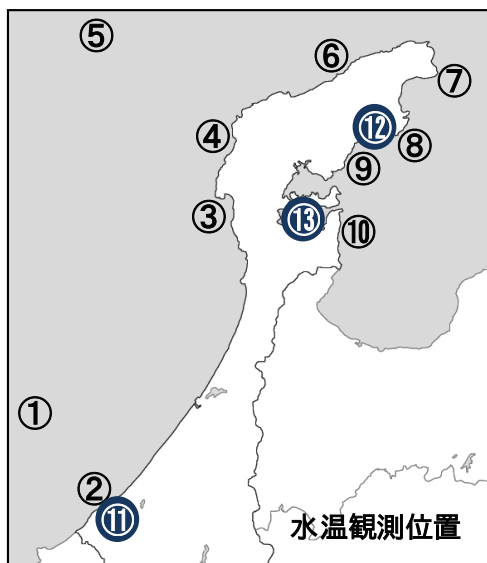
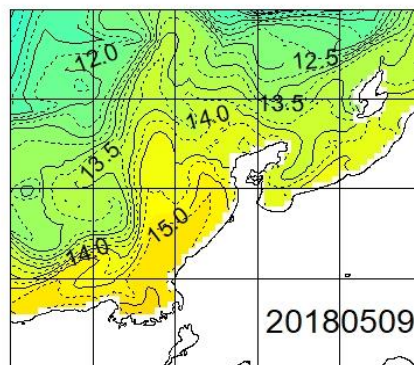
石川県周辺海域の海面水温（期間:5月5日～9日）

■ 沿岸の海面水温 5月9日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は14～15℃台で、過去5年平均との差は±0.0℃程度でした。

■ 沿岸観測ブイの水温 今期の水温は14.1～15.8℃で、4月下旬から約2.1℃上昇しました。過去3年平均との差は-0.8～+0.5℃でした。

■ 港内の水温 今期の水温は14.4～16.3℃で、前年同時期の差は-1.2～+0.3℃、過去3年平均との差は-1.6～+0.1℃でした。

石川県周辺の海面水温



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 5/5～5/9	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	休止中	データなし	データなし
② 橋立沿岸	15.8	+0.5	+0.5
③ 富来沿岸	15.3	+0.1	-0.0
④ 門前沿岸	休止中	データなし	データなし
⑤ 猿山岬沖	14.1	-1.0	-0.8
⑥ 曾々木沿岸	15.2	+0.8	+0.3
⑦ 小泊沿岸	14.6	データなし	+0.1
⑧ 小浦沿岸	14.3	+0.5	+0.2
⑨ 鶴川沿岸	14.3	+0.8	+0.3
⑩ 岸端沿岸	14.3	+0.9	+0.5

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

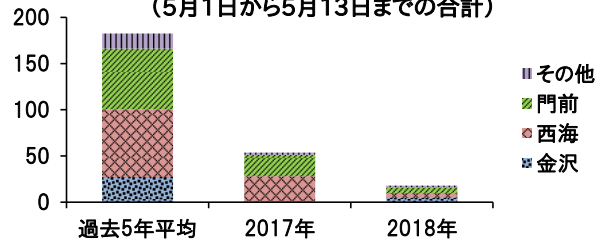
観測位置	5日間平均 5/5～5/9	前年差	過去3年 平均差
⑪ 橋立港	16.3	-0.3	-0.5
⑫ 宇出津港	14.4	+0.3	+0.1
⑬ 石崎港	14.9	-1.2	-1.6

小型いか釣りのスルメイカ水揚状況（期間:5月1日～13日）

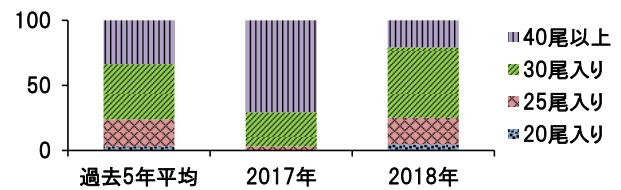
■ 県沿岸では今月から県外小型いか釣り漁船の操業が始まりました。5月1～13日の県内のスルメイカ水揚量は18トンであり、前年同時期（54トン）および過去5年平均（183トン）を大きく下回っており、水揚げは本格化していません。主な漁場は西海・門前沖であるため、西海と門前への水揚げが大部分を占めており、金沢への水揚げはわずかです。

■ 銘柄（1箱当たりの入り尾数）別箱数割合をみると、30尾入りが全体の54%を占めており、前年および過去5年平均に比べて魚体は大きめです。

単位(トン) 小型いか釣りのスルメイカ水揚量
(5月1日から5月13日までの合計)



単位(%) スルメイカ銘柄割合



石川県主要港の水揚状況（期間:4月16日～30日）

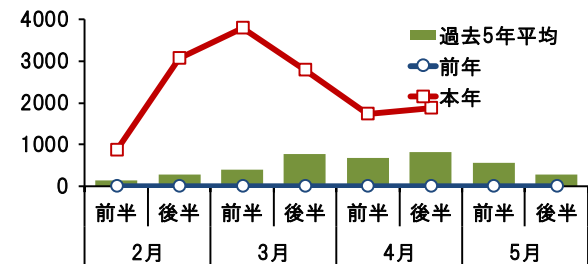
■ 定置網 フグ類・マアジ・カワハギ・サバは前年を上回り、ブリ・マダイは前年並み、スルメイカは前年を下回りました。マイワシは宇出津・七尾地区を中心に1,885トン水揚げされました。2月前半から4月後半の累計は14,153トンで、前年（7トン）および過去5年平均（3,066トン）を上回りました。

■ まき網 サバ・マイワシを中心に水揚げされました。

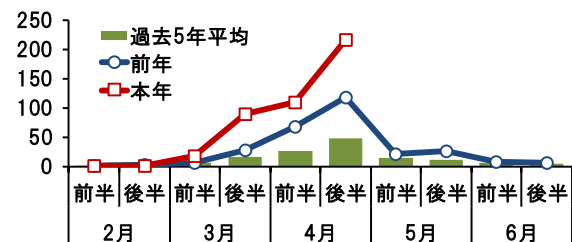
■ 底びき網・ごち網 アマエビ・ハタハタは前年を上回り、ニギス・アカガレイは前年並み、マダラは前年を下回りました。フグ類は西海・輪島を中心に216トン水揚げされました。2月前半から4月後半の累計は435トンで、過去5年平均（51トン）を上回りました。

■ 刺網・釣り・その他 ヤナギバチメは輪島を中心に47トン水揚げされました。3月前半から4月後半までの累計は84トンで、前年（69トン）および過去5年平均（62トン）を上回りました。ブリ・イワガキ・マイワシは前年を上回り、ベニズワイガニ・アマエビは前年並みでした。

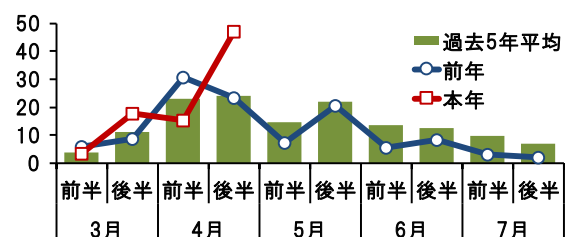
単位(トン) 定置網のマイワシ水揚量



単位(トン) 底びき網のフグ類水揚量



単位(トン) 刺網・釣りのヤナギバチメ水揚量



集計期間 4月16日～4月30日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
まいわし			0.8	50.5	79.5	520.8	1233.2	1884.7	0.3
ぶり	0.1		50.9	5.2	0.1	1.6	15.5	73.3	68.1
ふぐ類	0.0		0.9	2.3	0.2	28.5	11.1	42.9	14.4
かたくちいわし					0.3	1.4	32.6	34.2	
まあじ	0.4	0.1	8.3	13.5	0.5	4.5	1.1	28.4	21.1
かわはぎ(ウマヅラ)	0.0		9.8	1.4	0.5	12.5	1.3	25.6	19.8
まだい	0.0		2.7	10.2	1.1	3.5	2.3	19.9	20.7
さば			0.0	0.5	7.0	0.6	2.4	10.6	5.5
がんど			4.3	3.4	0.0	0.1	0.2	7.9	3.0
ほっけ					0.5	1.4	3.8	5.7	
するめいか				0.0	0.0	3.9	1.0	5.0	45.4
ふくらぎ・こぞくら			0.1	1.6	0.1	0.2	0.8	2.7	2.0
すずき	0.0		0.3	1.6	0.0	0.3	0.4	2.6	3.7
その他	0.1	0.1	2.8	1.6	1.4	33.0	32.3	71.3	38.0
合計	0.6	0.1	81.1	91.7	91.2	612.2	1338.0	2214.9	242.0
まき網									
さば	—				32.1	—	73.2	105.3	
まいわし	—			2.3	3.0	—	45.7	51.0	
まあじ	—			1.9		—	0.6	2.5	
すずき	—			0.2	0.1	—		0.3	0.0
その他	—			0.1		—	3.2	3.2	54.2
合計	—	—	—	4.4	35.1	—	122.7	162.2	54.2
底びき網・ごち網									
ふぐ類	2.8	1.2	75.4	136.6			—	215.9	118.4
あまえび	6.4	41.6	2.3	5.6	4.5		—	60.3	38.3
にぎす	2.9	33.1	13.5	1.1	0.9	1.1	—	52.6	44.1
あかがれい	18.3	15.3	6.7	9.1	0.4		—	49.9	50.5
はたはた	2.2	0.5	9.4	2.7	24.4	5.2	—	44.5	37.0
まだら	3.0	2.0	0.7	5.7	0.5		—	11.8	15.3
そうはち	2.7	4.3		2.7	0.0		—	9.6	9.9
のとえび(トゲザエビ他)	1.0	7.3	0.1	0.0	0.7		—	9.0	8.6
すがれい(ムシガレイ)	0.5	0.4	0.9	3.8			—	5.7	5.0
その他	15.4	10.0	7.3	24.5	2.1	0.0	—	59.3	52.7
合計	55.3	115.7	116.2	191.7	33.5	6.3	—	518.6	379.8
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		56.3	21.4	3.0				80.7	68.4
やなぎばちめ(ウスマバル)	0.3	0.4	7.0	39.0	0.1	0.1	0.2	47.0	23.3
ぶり	0.0		0.8	15.5	0.0	0.0		16.4	11.8
いわがき				16.3				16.3	12.1
まいわし							11.3	11.3	0.0
なまこ					0.0	7.8		7.8	5.1
あまえび			7.1					7.1	6.4
ふぐ類	0.0	0.0	2.3	4.6		0.0	0.1	7.1	5.5
その他	5.3	3.5	8.2	29.5	3.2	16.1	10.8	76.6	80.3
合計	5.6	60.3	46.8	107.9	3.3	24.0	22.5	270.4	212.8
総計	61.5	176.1	244.1	395.7	163.1	642.5	1483.1	3166.1	888.8

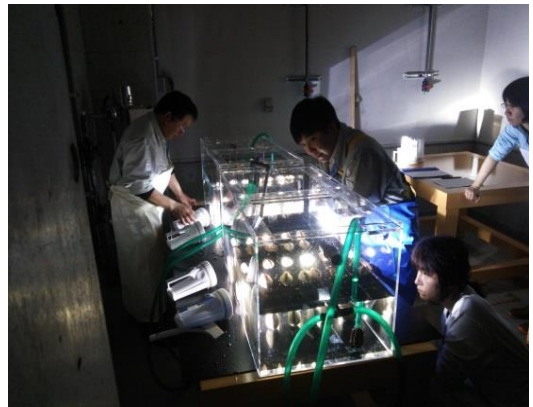
注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

平成30年度のトリガイ種苗生産を開始しました

■ センターでは能登とり貝の安定供給に向け種苗生産や養殖技術の開発に取り組んでいます。このうち、種苗生産は4月下旬から行っています。

■ まず、紫外線を照射した海水に親貝を入れ刺激を与えて放卵を促します(写真)。卵の直径は約0.06mmで、ふ化後2週間程度は水中を浮遊し、殻長約0.3mmに成長すると、着底して砂に潜る生活に変わります。この間の餌は植物プランクトンを与えますが、殻長約1mmに成長するころには摂餌量が増加するため屋外の水槽に収容し、海水をどんどん掛け流して自然のプランクトンを食べさせて成長させます。7月中には殻長約1cm以上に成長し、漁業者へ配達されます。

■ 今年度、生産規模を増強するため新たに生産部能登事業所(能登町宇出津:本所敷地内)を設置し、生産拠点を志賀事業所(志賀町赤住)から移転しました。現在、7万個の配布を目指して採卵および飼育を行っています。



採卵の様子

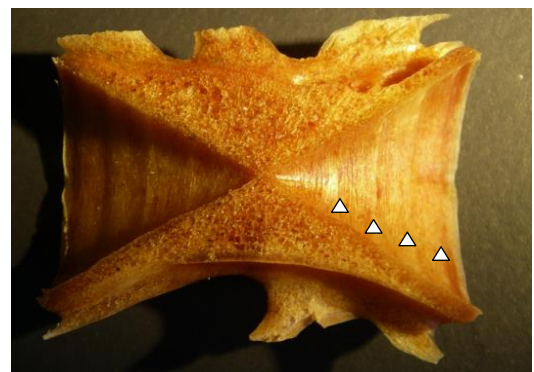
脊椎骨からわかるブリの成長変化 (3月10日公開セミナー講演概要)

■ ブリの脊椎骨(椎体)の内側には、木と同様の年輪が観察でき、これを数えることにより、ブリの年齢がわかります(写真)。この手法を用いて、現在のブリの年齢と成長について調べてみました。

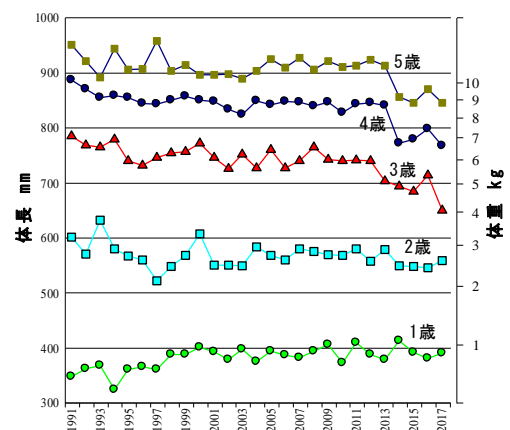
■ 各年齢時の平均体長の変化を見ると、2歳までの成長はほとんど変わらないものの、それ以降の成長が2013年頃より急激に悪くなっていることがわかります(図)。以前は4歳で体重9kg前後に成長していたものが、現在は5歳にならないとこのサイズに達しないことになります。この結果、10kg超の大型ブリの水揚げされる割合がかなり小さくなりました。

■ 日本海のブリは2歳以上になると、夏に青森県や北海道周辺の北部海域で成長すると考えられています。近年、当該海域でブリの来遊量が増えている一方、カタクチイワシやスルメイカなど餌となる生物資源量が減っていることから、1尾当たりの餌の量が減少し、成長が悪くなったのではないかと考えています。

■ この成長低下が、ブリの資源にどのような影響を与えるかに注意しながら、継続してモニタリングしていく必要があると考えています。

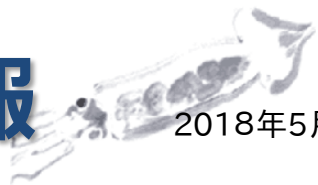


縦方向に切断した脊椎骨内側の輪紋(4本の輪紋のある5歳となる個体)



ブリの年齢別平均体長・体重の変化

石川県漁海況情報



403号
2018年5月30日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

小型いか釣りのスルメイカ水揚状況（期間:5月1日～21日）

- 水揚量は前年および過去5年平均を下回っています。
- 入港1隻当たりの水揚量も少なく、スルメイカの来遊量が少ない模様です。

石川県主要港の水揚状況（期間:5月1日～15日）

- 定置網、まき網ではマイワシ、底びき網ではフグ類が好調でした。

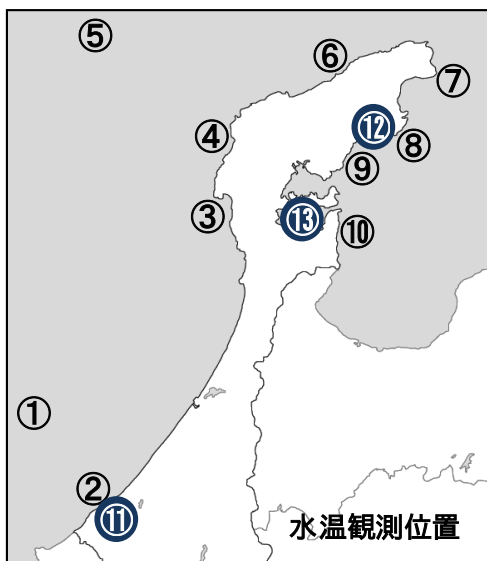
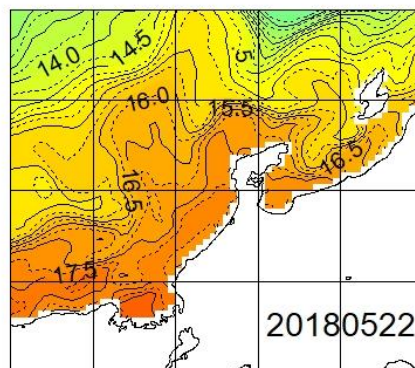
石川県周辺海域の水温（期間:5月18日～22日）

■ **沿岸の海面水温** 5月22日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は16～17℃台で、過去5年平均との差は±0.0～+0.5℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は15.6～16.7℃で、5月上旬から約1.3℃上昇しました。前年同時期との差は-0.4～-0.7℃、過去3年平均との差は-0.1～-0.6℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は15.9～17.7℃で、前年同時期との差は-0.8～-2.5℃、過去3年平均との差は-0.3～-2.5℃でした。

石川県周辺の海面水温



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 5/18～5/22	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	休止中	データなし	データなし
② 橋立沿岸	16.7	-0.5	-0.4
③ 富来沿岸	16.3	-0.7	-0.6
④ 門前沿岸	休止中	データなし	データなし
⑤ 猿山岬沖	15.7	-0.6	-0.1
⑥ 曾々木沿岸	16.2	-0.5	-0.5
⑦ 小泊沿岸	16.2	データなし	-0.1
⑧ 小浦沿岸	15.8	-0.4	-0.2
⑨ 鶴川沿岸	15.7	-0.5	-0.3
⑩ 岸端沿岸	15.6	-0.5	-0.4

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

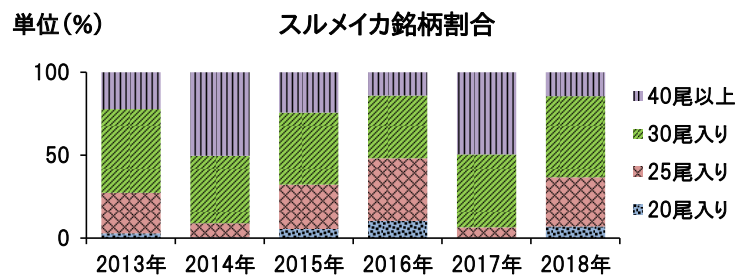
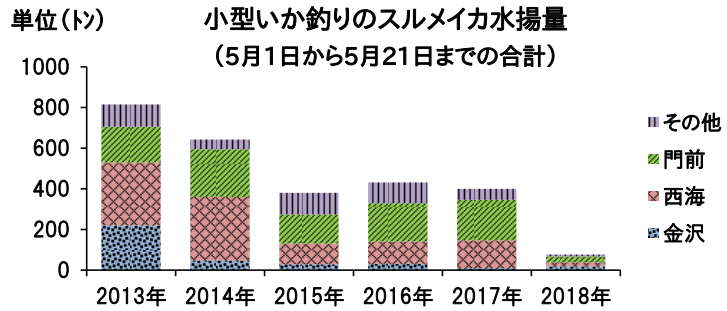
観測位置	5日間平均 5/18～5/22	前年差	過去3年 平均差
⑪ 橋立港	17.7	-0.8	-0.7
⑫ 宇出津港	15.9	-0.5	-0.3
⑬ 石崎港	16.2	-2.5	-2.5

小型いか釣りのスルメイカ水揚状況（期間:5月1日～21日）

■ 小型いか釣り漁船によるスルメイカの水揚げは漁期中盤にさしかかっていますが、漁模様は低調に推移しています。

■ 5月1日から21日の県内水揚量は77トンであり、前年（400トン）および過去5年平均（534トン）を大きく下回っています。銘柄別の箱数割合をみると、30尾入りと40尾以上入りが全体の63%を占めており、前年（94%）および過去5年平均（76%）よりも割合が低く、前年および過去5年平均よりも小型個体の割合が少なくなっています。

■ 5月上中旬の延べ入港隻数と水揚量を集計したところ、今年の入港隻数は441隻で、昨年（795隻）および過去5年平均（1,010隻）を下回っています。また、入港1隻当たりの水揚量を求めたところ、今年（151kg）であり、前年（420kg）および過去5年平均（493kg）を下回っています。従って、今年（今年）はスルメイカの来遊量が少なく、このため出漁も少なくなっているものと考えられます。5月23日現在、漁場は金沢沖と輪島沖にあり、佐渡以北では漁場は形成されていない模様です。



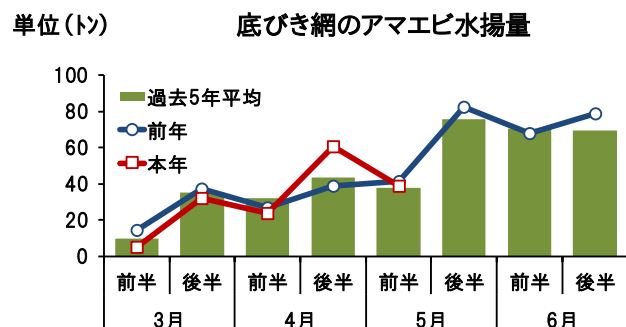
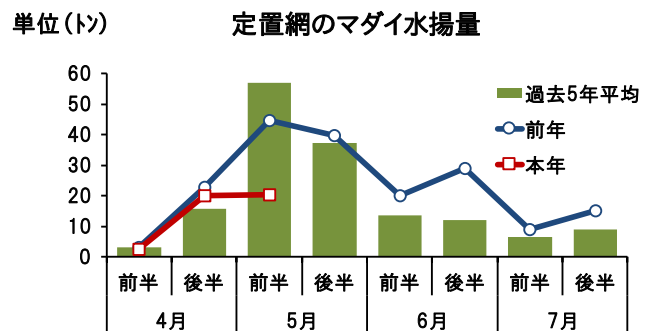
石川県主要港の水揚状況（期間:5月1日～15日）

■ **定置網** マイワシ・フグ類は前年を上回り、マアジ・ガンド・サバは前年並み、ブリ・フクラギ・コゾクラは前年を下回りました。マダイは20トン水揚げされました。4月前半から5月前半までの累計は43トンで、前年（71トン）および過去5年平均（76トン）を下回りました。

■ **まき網** マイワシ・ウルメイワシは前年を上回り、サバ・マアジは前年を下回りました。

■ **底びき網・ごち網** フグ類は前年を上回り、アカガレイ・ハタハタは前年並み、ニギスは前年を下回りました。アマエビは39トン水揚げされました。3月前半から5月前半までの累計は159トンで、前年（158トン）並みでした。

■ **刺網・釣り・その他** ヤナギバチメは前年並み、ベニズワイガニは前年を下回りました。



集計期間 5月1日～5月15日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
まいわし				0.1	264.3	319.7	365.9	950.0	1.5
ぶり	4.5	0.1	35.4	5.2	0.1	12.8	16.1	74.1	123.5
ふくらぎ・こそくら	0.0		0.2	33.7	0.3	6.5	4.3	45.0	105.9
まあじ	3.4	0.3	2.0	9.0	4.1	16.2	5.6	40.6	48.5
ふぐ類	0.1		2.5	1.3	6.9	10.5	5.8	27.0	14.0
がんど			7.2	11.7	0.1	0.9	1.6	21.5	26.9
まだい	0.2		0.7	3.4	2.1	3.9	10.3	20.4	43.9
かわはぎ(ウマヅラ)	0.6	0.0	1.1	1.1	1.3	7.3	3.5	14.9	20.1
さば	0.0		0.1	0.7	1.4	5.2	6.0	13.3	12.0
さわら・さごし	0.8		0.7	0.2	0.3	2.7	7.1	11.8	20.6
その他	0.1		0.3	0.1	0.1	3.2	4.8	8.6	5.4
合計	9.7	0.4	50.1	66.4	280.9	388.8	431.0	1227.4	422.4
まき網									
まいわし	—		68.6			—		68.6	0.8
さば	—		28.5	9.7		—		38.3	88.7
まあじ	—			12.4		—		12.4	20.1
うるめいわし	—		11.0			—		11.0	0.1
ふくらぎ・こそくら	—			0.1		—		0.1	0.1
その他	—			0.2		—		0.2	25.8
合計	—		108.1	22.6		—		130.6	135.6
底びき網・ごち網									
あまえび	4.2	26.5		4.5	3.6			38.7	41.6
ふぐ類	0.1	0.3	16.9	19.2				36.5	20.3
あかがれい	7.7	6.3	7.8	9.6	0.5			31.8	34.0
にぎす	2.2	15.3	13.1	0.0	0.4			31.1	60.2
はたはた	0.4		2.0	1.3	22.5	4.5		30.8	27.2
その他	8.3	6.7	4.8	11.9	1.7	0.1		33.5	51.0
合計	23.0	55.0	44.5	46.4	28.7	4.6	—	202.2	234.3
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		30.1	14.6	1.7				46.5	71.0
いわがき				16.9			0.0	16.9	18.9
ぶり			2.2	8.7	0.1	0.0	0.0	11.0	16.1
やなぎばちめ(ウスマル)		0.1	3.9	3.8		0.1	0.1	8.0	7.1
さざえ			0.8	0.1	0.2	3.0	1.5	5.6	6.7
ふぐ類	0.0		1.6	2.5	0.0	0.0	0.1	4.3	10.8
まだい	0.0	0.0	0.1	2.8	0.1	0.6	0.3	4.0	4.2
まだこ		0.0		0.1	0.2	1.1	2.5	4.0	3.2
その他	1.3	2.8	4.0	17.0	1.6	6.4	6.9	39.8	63.7
合計	1.3	33.0	27.3	53.6	2.2	11.2	11.5	140.0	201.9
小型いか釣り									
するめいか20入り		0.4	0.4			0.0		0.8	0.1
するめいか25入り		2.0	1.3	0.0	0.0	0.1		3.5	1.1
するめいか30入り		4.3	2.6	0.1		0.1		7.1	10.1
するめいか40入り以上		0.9	0.9	0.0	0.1	0.2		2.1	28.9
合計		7.6	5.3	0.1	0.1	0.4		13.5	40.2
総計	33.9	96.0	235.2	189.1	311.9	405.1	442.5	1713.8	1034.2

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報

404号
2018年6月14日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

調査船白山丸のスルメイカ調査結果（期間:5月14日～22日）

- 日本海沖合ではスルメイカの分布量は前年および過去5年平均を下回りました。
- 魚体サイズは前年および過去5年平均より小さめでした。

小型いか釣りのスルメイカ水揚状況（期間:5月1日～6日10日）

- 水揚量は前年および過去5年平均を下回りました。
- 水揚げの半分を20尾入りと25尾入りが占めており、魚体は大きめでした。

水産総合センター・トピックス

- 「白山丸イカ釣り体験航海を開催しました!」「七尾湾の環境を測る」

調査船白山丸のスルメイカ調査結果（期間:5月14日～22日）

■ 調査船白山丸は5月14日から22日に能登半島沖から日本海中央部（大和堆南方海域）でイカ釣り操業を行いました。スルメイカの分布密度の指標であるCPUE（釣機1台1時間当たりの漁獲尾数）は舩倉島付近で17.9尾と高かったものの、日本海中央部では0.0～5.0尾と極めて低く、沖合にはスルメイカはあまり分布していないことが分かりました。本調査の平均CPUEは4.0尾であり、前年同時期平均（27.7尾）および過去5年同時期平均（22.1尾）を大きく下回りました。定点調査ではないため厳密に比較できませんが、今年5月のスルメイカの来遊量は前年および過去5年平均を下回っていると考えられます。本調査で漁獲したスルメイカの外套長（魚体サイズの指標）の平均値は17.1cmであり、魚体は前年（17.9cm）および過去5年平均（18.6cm）より小さめでした。

調査船白山丸イカ釣り調査結果

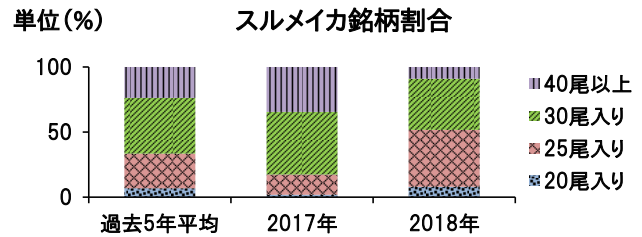
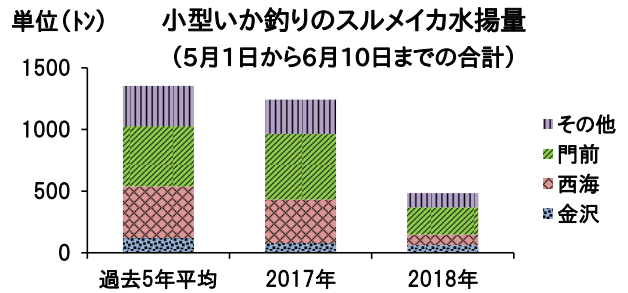
操業日	操業位置	漁獲尾数	CPUE	外套長範囲(主な魚体)	表面水温	50m水温
5月14日	37-59.5N, 137-02.5E	2,125	17.9	12～21cm(17cm)	15.2℃	13.15℃
5月15日	38-37.3N, 134-39.4E	61	0.6	10～18cm(15cm)	12.0℃	9.75℃
5月16日	39-02.5N, 134-02.8E	25	0.2	10～17cm(15cm)	13.2℃	8.62℃
5月17日	38-11.8N, 133-13.1E	625	5.0	15～22cm(17cm)	13.8℃	9.81℃
5月18日	38-08.9N, 133-56.0E	477	3.8	15～20cm(17cm)	14.1℃	10.37℃
5月19日	38-00.7N, 134-28.2E	2	0.0	14～15cm	12.4℃	7.55℃
5月20日	38-31.2N, 135-26.0E	56	0.5	13～19cm(15cm)	14.8℃	10.94℃
5月21日	38-53.7N, 136-21.5E	474	4.0	10～21cm(16cm)	16.7℃	12.64℃

CPUE:釣機1台1時間当たりの漁獲尾数、主な魚体:漁獲尾数の多かったイカの外套長

小型いか釣りのスルメイカ水揚状況（期間:5月1日～6日10日）

■ **小型いか釣漁船によるスルメイカの水揚げ**は後半に入っています。5月1日から6月10日の県内水揚量は485トンで、前年(1,242トン)および過去5年平均(1,354トン)を下回っています。水揚量は5月末から上向いてきましたが、それまでの不漁が影響し、前年の4割程度に留まっています。6月10日現在、主な漁場は輪島・珠洲沖にあります。

■ **銘柄(1箱当たりの入り尾数)別の箱数割合**をみると、今年は20尾入りと25尾入りが多く、前年および過去5年平均に比べて魚体は大きめとなっています。

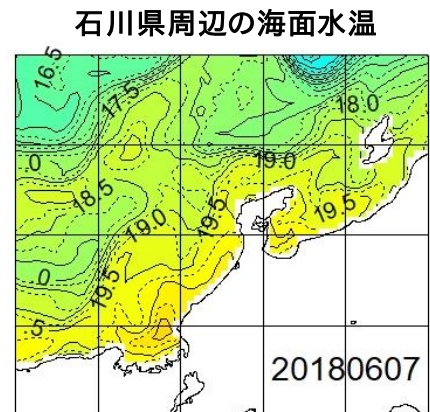


石川県周辺海域の水温（期間:6月3日～7日）

■ **沿岸の海面水温** 6月7日の本県周辺(海岸線より30海里程度)の海面水温は19～20℃台で、過去5年平均との差は±0.0～0.5℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は18.1～19.2℃で、5月下旬から約2.6℃上昇しました。前年同時期との差は-0.9～+0.6℃、過去3年平均との差は-0.6～+0.5℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は19.1～22.1℃で、前年同時期との差は+0.3～+2.2℃、過去3年平均との差は+0.4～+1.5℃でした。



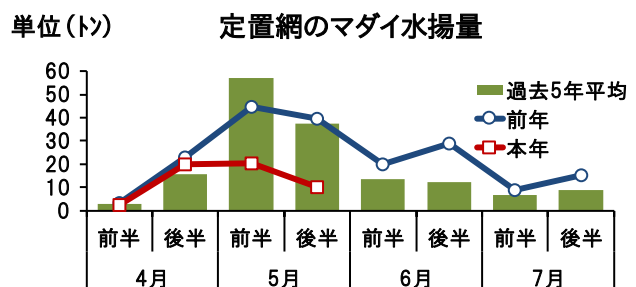
石川県主要港の水揚状況（期間:5月16日～31日）

■ **定置網** マダイは10トン水揚げされました。4月前半から5月後半までの累計は53トンで、前年(110トン)および過去5年平均(113トン)を下回りました。マイワシ・ブリ・ガンド・サバは前年を上回り、フクラギ・フグ類は前年並み、マアジ・サワラ・サゴシは前年を下回りました。

■ **まき網** マイワシ・サバ・カタクチイワシは前年を上回り、マアジは前年並みでした。

■ **底びき網・ごち網** アカガレイは前年を上回り、アマエビ・ニギスは前年並みでした。

■ **刺し網・釣り・その他** イワガキ・サザエは前年並み、ベニズワイガニ・ヤナギバチメは前年を下回りました。



集計期間 5月16日～5月31日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
まいわし			0.0		2.2	73.3	186.1	261.7	0.5
ぶり	3.0		83.4	5.3	2.6	20.7	44.4	159.5	88.6
ふくらぎ・こぞくら	0.0		3.5	94.1	7.4	23.9	16.2	145.1	157.8
がんど			6.8	19.4	9.5	30.6	46.8	113.2	37.9
さば	0.0		0.1	1.5	3.6	10.0	66.5	81.7	21.3
まあじ	1.9	0.1	3.9	7.2	8.7	21.8	16.3	60.0	118.9
ふぐ類	0.3	0.0	7.0	22.0	5.1	15.8	9.4	59.6	73.8
さわら・さごし	1.8	0.5	0.3	0.2	0.9	9.4	8.8	22.0	97.8
とびうお	1.9		7.5	2.2	0.2	2.0	0.8	14.7	22.2
まだい	0.1		2.5	0.7	0.8	3.5	2.5	10.1	39.7
その他	3.6	0.0	5.7	7.4	2.2	27.2	12.8	58.8	110.6
合計	12.7	0.7	120.8	160.1	43.2	238.2	410.6	986.2	769.3
まき網									
まいわし	—		845.6	0.1	—	—	—	845.7	6.0
さば	—		261.4	19.8	—	—	—	281.2	100.6
かたくちいわし	—		132.5	—	—	—	—	132.5	—
まあじ	—		—	46.3	—	—	—	46.3	42.1
うるめいわし	—		41.6	0.1	—	—	—	41.6	12.5
その他	—		0.7	25.8	—	—	—	26.5	40.5
合計	—	—	1281.8	92.0	—	—	—	1373.8	201.7
底びき網・ごち網									
あまえび	12.9	54.3	—	9.3	4.0	—	—	80.5	82.2
にぎす	7.6	30.0	14.0	3.9	1.0	3.2	—	59.6	68.0
あかがれい	10.1	5.9	4.3	25.6	0.6	—	—	46.5	25.3
まだら	1.4	0.9	0.6	33.1	0.6	—	—	36.5	41.1
ふぐ類	0.2	0.2	3.4	13.7	0.0	—	—	17.5	26.6
その他	22.3	21.0	3.6	53.5	8.2	7.1	—	115.8	138.2
合計	54.5	112.3	26.0	139.0	14.4	10.3	—	356.5	381.4
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		33.2	16.4	2.6	—	—	—	52.2	93.5
いわがき				21.5	—	—	0.0	21.5	21.7
やなぎばちめ(ウスマル)	0.0	0.3	0.7	12.8	0.0	0.1	0.3	14.2	20.6
まだい	0.1	0.0	0.1	9.8	0.1	1.1	0.1	11.4	20.1
さざえ			1.5	0.2	1.5	3.8	1.8	8.8	10.0
ぶり	0.0		2.1	5.4	0.3	0.0	0.0	7.8	7.2
まだこ	0.0	0.0		0.4	0.8	2.3	3.5	6.9	5.9
がんど			0.7	5.1	0.9	0.1	0.1	6.9	4.7
その他	5.0	2.4	10.9	32.3	2.0	5.3	7.4	65.3	96.2
合計	5.1	36.0	32.3	90.2	5.5	12.8	13.3	195.0	279.9
小型いか釣り									
するめいか20入り		7.7	3.0	0.6	0.8	0.2	—	12.4	4.0
するめいか25入り		25.4	13.5	10.5	6.1	0.4	—	56.0	54.6
するめいか30入り		14.9	8.4	17.2	8.8	0.6	—	50.0	179.8
するめいか40入り以上		1.9	1.5	3.9	2.4	1.2	—	10.8	124.9
合計	—	49.9	26.4	32.3	18.1	2.4	—	129.1	363.3
総計	72.3	198.8	1487.3	513.6	81.2	263.7	423.8	3040.7	1995.6

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

白山丸イカ釣体験航海を開催しました!

■ 5月27日に能登町小木港で「イカす会」が開催されました。イカす会は能登小木港スマイルプロジェクトによる取り組みで、全国有数のスルメイカの水揚げ港である小木港と能登の人・地域・産業を元気にするためのイベントです。この中で水産総合センターの調査船白山丸はイカ釣体験航海を行いました。

■ 乗船いただいた皆さんには、能登町沖でイカ釣漁業を体験してもらいました。航行中には船内でイカ釣漁業の解説ビデオを見たり、甲板上の水槽のスルメイカを触ったりしてもらいました。さらに能登海上保安署の取締船の高速航行や放水パフォーマンスもあり、出港から入港までの1時間があっという間の盛りだくさんの内容でした。体験航海を目当てにイカす会に参加された方も多く、県内各地の他、遠くは群馬県から来られた方もいました。海の開放感からか自然と感想を漏らす方もあり、「県でこういう仕事をしているとは知らなかった。子供の将来の仕事としても面白そう」、「海、船、漁業に親しむとても良い機会です子供たちも喜んで」といったご意見をいただきました。陸上交通や飛行機が発達した現代では、多くの日本人は船に乗る機会がほとんどなく、このことが海や漁業への関心を低下させる要因になっているように思います。乗船された方の感想や笑顔で下船される様子から、私たちの思いや意図が十分に伝わったと感ずることができました。

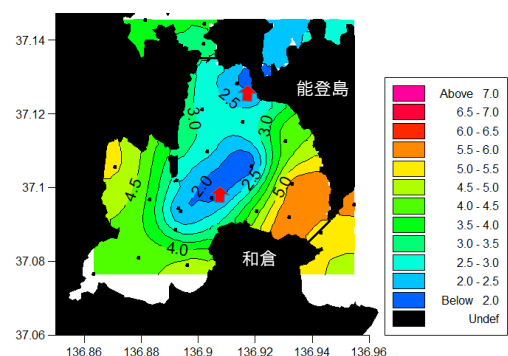
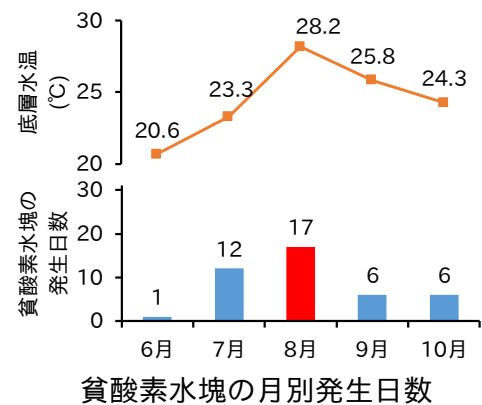


七尾湾の環境を測る（3月10日公開セミナー講演概要）

■ 七尾湾では海域の特性を利用して古くからカキ養殖が、最近ではトリガイ養殖が営まれています。これらの養殖は、夏場の高水温や貧酸素水塊（水中に溶け込んでいる酸素濃度が極めて低い水の塊）の発生などにより成育に影響を受けることがあります。そこで、2016年に湾内で海洋観測を行い、貧酸素水塊の発生状況について調べました。

■ 観測の結果、貧酸素水塊（2.1mg/L以下）は6月下旬から確認され、8月にはひと月のうち17日も確認されました（上図）。また、8月中旬には広い範囲で確認されました（下図）。この時期は養殖場の海水温が高くなることから、バクテリアによる海底の泥の有機物分解が活発化し、酸素消費が増大したことが主な生成要因と考えられました。このほか、この調査によって、養殖場での海水の流れが弱まる時に発生し、流れが強まるときに解消することがわかりました。

■ 当センターでは、こうした観測により把握した貧酸素水塊の発生状況を「七尾湾貧酸素情報」として漁業関係者に報告し、安定生産に役立てていただいています。



底層の溶存酸素量分布(8月17日)

石川県漁海況情報



405号
2018年6月28日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

調査船白山丸のスルメイカ調査結果（期間：6月12日～19日）

- 現在、関係研究機関の調査船が共同でスルメイカの資源調査を行っています。
- 日本海中央部へのスルメイカの来遊量は前年および過去5年平均を下回りました。

小型いか釣りのスルメイカ水揚状況（期間：5月1日～6月20日）

- 水揚量は前年および過去5年平均の4割程度に留まっており、魚体は大きめです。

大型クラゲ情報（期間：6月12日～19日）

- 6月14日に輪島市の定置網で大型クラゲの入網がありました。

調査船白山丸のスルメイカ調査結果（期間：6月12日～19日）

■ スルメイカの資源状況を調べるため、現在、日本海側道県研究機関と国立研究開発法人水産研究・教育機構の試験船が共同して漁場一斉調査を行っており、石川県水産総合センターの調査船白山丸は6月12日から19日に能登半島沖～大和堆周辺海域の定点でイカ釣り調査を行いました。スルメイカの分布密度の指標であるCPUE（釣機1台1時間当たりの漁獲尾数）は0.7～38.8尾でした。全調査点の平均CPUEは12.8尾であり、前年（25.3尾）および過去5年平均（25.9尾）を下回ったことから、今年6月の日本海中央部へのスルメイカの来遊量は前年および過去5年平均を下回っていると判断できます。本調査で漁獲したスルメイカの外套長（魚体サイズの指標）の平均値は19.5cmであり、魚体は過去5年平均（20.7cm）に比べて小さめでした。なお、7月下旬に水産研究教育機構から漁場一斉調査の全体結果と8～12月の漁況の見通しをまとめた「日本海スルメイカ長期予報」が公表されます。本情報でもその概要をお知らせする予定です。

調査船白山丸イカ釣り調査結果

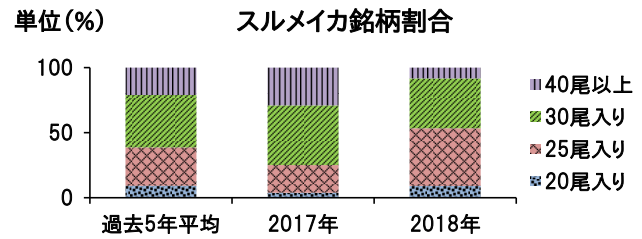
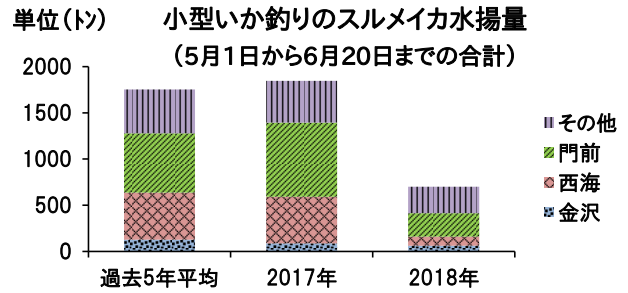
操業日	操業位置	漁獲尾数	CPUE	外套長範囲(主な魚体)	表面水温	50m水温
6月12日	37-59.8N, 136-20.0E	1,759	14.0	14～22cm (18,19cm)	18.4℃	13.23℃
6月13日	38-40.5N, 135-01.1E	434	3.4	14～22cm (18cm)	16.7℃	7.45℃
6月14日	39-00.0N, 133-40.0E	94	0.7	16～24cm (20cm)	17.2℃	6.27℃
6月15日	39-39.9N, 134-20.1E	1,529	12.1	14～24cm (19cm)	17.3℃	7.56℃
6月16日	39-39.7N, 135-01.5E	1,437	11.4	17～23cm (19cm)	16.6℃	8.77℃
6月17日	40-00.8N, 135-40.4E	1,146	9.1	14～23cm (19cm)	15.3℃	3.66℃
6月18日	39-01.9N, 135-42.3E	4,893	38.8	15～23cm (19cm)	19.5℃	16.13℃

CPUE: 釣機1台1時間当たりの漁獲尾数、主な魚体: 漁獲尾数の多かったイカの外套長

小型いか釣りのスルメイカ水揚状況（期間:5月1日～6月20日）

■ 小型いか釣り漁船によるスルメイカの水揚げは終盤に入っています。今年は漁期開始から水揚げが低調であり、5月1日から6月20日の県内水揚量は701トンで、前年(1,847トン)および過去5年平均(1,753トン)の4割程度に留まっています。6月20日現在、主な漁場は輪島沖にありますが、佐渡、男鹿半島、渡島半島の近海にも漁場が形成されているようです。

■ 銘柄(1箱当たりの入り尾数)別の箱数割合をみると、今年は20尾入りと25尾入りの比率が高く、前年および過去5年に比べて魚体は大きめとなっています。



大型クラゲ情報（期間:6月12日～19日）

■ 一般社団法人漁業情報サービスセンターが6月14・19・20日に発表した大型クラゲに関する情報は次のとおりです。

■ 対馬の定置網で6月12～19日に大型クラゲが14個体確認され、壱岐の定置網でも6月12日～13日に2個体確認されています。

■ 石川県内では6月14日に輪島市の定置網に傘径30cmの大型クラゲ1個体の入網がありました。現時点では近日中に本県でのまとまった出現の可能性はないと考えられますが、注意が必要です。水産総合センターでは今後も大型クラゲの出現情報を収集・提供してまいります。大型クラゲの目視・入網情報等がありましたら、水産総合センターまでお知らせください。

石川県周辺海域の水温（期間:6月16日～20日）

■ 沿岸観測ブイの今期の水温(深度10m)は16.6～19.6℃で、前年同時期との差は-2.8～+0.4℃、過去3年平均との差は-3.9～+0.0℃でした。本県周辺(海岸線より30海里程度)の海面水温は19～21℃台であり、過去5年平均との差は-1.5～-0.5℃程度でした。

石川県主要港の水揚状況（期間:6月1日～15日）

■ **定置網** マイワシ・ブリ・ガンドは前年を上回り、フクラギ・トビウオ・フグ類・サバは前年並み、マアジ・サワラ・サゴシは前年を下回りました。

■ **まき網** マイワシ・サバ・ウルメイワシ・マダイは前年を上回りました。

■ **底びき網・ごち網** ニギス・アカガレイ・ハタハタは前年を上回り、アマエビは前年並みでした。

■ **刺し網・釣り・その他** ベニズワイガニは前年を上回り、サザエ・マダイ・マダコは前年並み、イワガキ・カワハギは前年を下回りました。

集計期間 6月1日～6月15日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
まいわし					0.0	63.6	118.6	182.1	0.2
ぶり	3.9		79.9	19.7	0.4	1.4	24.8	130.1	46.5
ふくらぎ・こそくら			3.4	47.7	4.4	5.8	5.3	66.6	58.0
まあじ	2.7	0.3	4.1	11.2	9.8	18.0	13.7	59.8	149.2
とびうお	2.4		20.6	16.0	0.5	3.3	2.9	45.7	54.1
ふぐ類	0.2	0.0	19.6	8.8	1.1	5.3	2.1	37.2	33.3
がんど		0.0	7.4	9.9	1.7	6.1	4.9	30.1	12.5
さば	0.0		0.0	4.0	1.7	1.5	10.4	17.7	18.9
さわら・さごし	3.0	2.2	1.7	0.8	0.1	1.5	2.3	11.6	16.4
まだい	0.4	0.0	1.5	1.2	0.7	4.2	1.6	9.6	20.0
その他	1.8	0.2	7.1	7.5	1.6	9.6	11.3	39.1	88.0
合計	14.4	2.7	145.3	127.0	21.8	120.4	198.0	629.6	497.2
まき網									
まいわし	—		1096.9	0.8		—		1097.7	177.3
さば	—		243.4	8.4		—		251.8	170.3
うるめいわし	—		52.2	0.7		—		52.9	7.8
ふくらぎ・こそくら	—			35.8		—		35.8	
まだい	—			15.6		—		15.6	6.9
その他	—		1.3	3.4		—		4.7	54.4
合計	—		1393.9	64.6		—		1458.5	416.6
底びき網・ごち網									
あまえび	12.0	46.0		6.6	7.5		—	72.2	68.1
にぎす	0.4	19.6	16.9	4.0	0.6	0.4	—	41.7	26.5
まだら	0.3	0.8	0.4	30.0	1.0		—	32.5	44.3
あかがれい	6.1	3.3	2.5	14.7	1.9		—	28.4	21.3
はたはた	1.0	0.2	0.4	6.9	12.8	5.7	—	27.0	10.3
その他	7.6	11.4	2.0	40.9	4.7	0.7	—	67.3	84.6
合計	27.5	81.2	22.1	103.1	28.5	6.8	—	269.2	255.0
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		43.3	19.2	1.9				64.4	43.3
さざえ			1.0	0.3	1.9	4.7	2.9	10.9	9.2
いわがき				9.7			0.0	9.7	18.5
まだい	0.1	0.0	0.2	7.3	0.2	1.4	0.1	9.3	9.2
まだこ	0.0	0.0		0.4	0.6	2.8	3.4	7.2	8.1
かわはぎ(ウマヅラ)	0.1	0.2	0.1	4.9	0.4	0.6	0.1	6.4	10.1
やなぎばちめ(ウスマル)		0.1		5.2	0.0	0.0	0.4	5.7	5.6
ふぐ類	0.0		2.5	1.9	0.0	0.0	0.1	4.5	6.9
その他	3.1	2.3	3.2	24.6	1.9	3.4	5.5	43.9	42.0
合計	3.3	45.9	26.2	56.2	5.0	12.9	12.6	162.0	152.9
小型いか釣り									
するめいか20入り		1.8	2.9	6.8	5.2	0.0		16.7	16.8
するめいか25入り		2.8	10.7	42.9	23.2	0.1		79.6	78.5
するめいか30入り		0.4	5.9	33.8	25.8	0.1		66.1	148.7
するめいか40入り以上		0.1	1.1	6.3	7.1	0.2		14.7	97.7
合計		5.0	20.5	89.8	61.3	0.4		177.1	341.7
総計	45.1	134.8	1608.0	440.7	116.6	140.5	210.6	2696.3	1663.5

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報



406号
2018年7月12日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

大型クラゲ情報（期間:6月19日～7月4日）

- 長崎県対馬・五島、福井県越前町の定置網で大型クラゲの入網がありました。
- 東シナ海・黄海における大型クラゲの分布水準は低いと考えられます。

水産総合センター・トピックス

- 「漁業士認定書交付式が行われました」「加能ガニ・香箱ガニの資源を守る！」

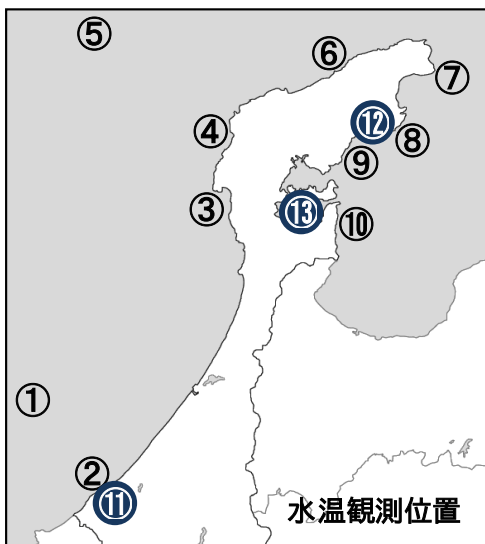
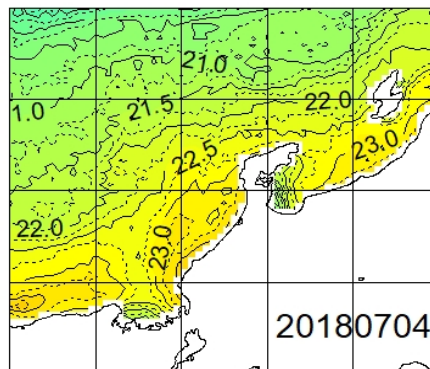
石川県周辺海域の水温（期間:6月30日～7月4日）

■ 沿岸の海面水温 7月4日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は22～23℃台で、過去5年平均との差は-2.0～±0.0℃程度でした。

■ 沿岸観測ブイの水温 今期の水温は20.8～22.7℃で、6月下旬から約3.6℃上昇しました。前年同時期との差は-0.6～+0.5℃、過去3年平均との差は-0.5～+0.4℃でした。

■ 港内の水温 今期の水温は21.7～24.8℃で、前年同時期との差は+0.6～+1.7℃、過去3年平均との差は+0.3～+1.3℃でした。

石川県周辺の海面水温



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 6/30～7/4	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	休止中	データなし	データなし
② 橋立沿岸	22.7	+0.4	+0.1
③ 富来沿岸	22.6	+0.5	+0.4
④ 門前沿岸	22.2	+0.1	+0.1
⑤ 猿山岬沖	20.8	-0.6	+0.3
⑥ 曾々木沿岸	21.9	+0.1	+0.1
⑦ 小泊沿岸	21.6	+0.5	+0.3
⑧ 小浦沿岸	21.6	+0.5	+0.3
⑨ 鶴川沿岸	21.3	+0.2	+0.1
⑩ 岸端沿岸	21.0	+0.0	-0.5

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 6/30～7/4	前年差	過去3年 平均差
⑪ 橋立港	24.1	+0.9	+0.9
⑫ 宇出津港	21.7	+0.6	+0.3
⑬ 石崎港	24.8	+1.7	+1.3

大型クラゲ情報（期間:6月19日～7月4日）

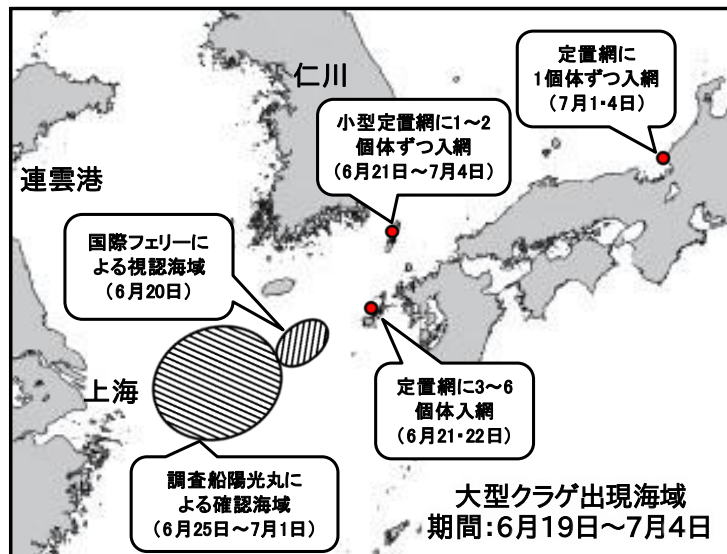
■ 国立研究開発法人水産研究・教育機構が7月4日に、一般社団法人漁業情報サービスセンターが7月6・7日に発表した大型クラゲに関する情報は次のとおりです。

日本海 対馬の定置網で6月21日～7月4日に1カ所当たり1～2個体（傘径30～60cm）の、大型クラゲの散発的な入網がありました。また、五島の定置網で6月21・22日に1カ所当たり3～6個体（傘径30～60cm）、福井県越前町の定置網で7月1・4日に1個体ずつ（傘径15～20cm）入網しました。

東シナ海 水産研究・教育機構の調査船陽光丸は6月25日～7月1日に東シナ海で目視調査等を行い、東シナ海西部で傘径20～100cmの大型クラゲの分布を確認しました。なお、ネット調査では入網がありませんでした（前年は1個体）。

黄海 広島大学は6月19日～29日に仁川（韓国）・連雲港（中国）間と上海・大阪間の国際フェリーで目視調査を行い、仁川・連雲港間では視認されませんでした。仁川・連雲港間における前々年度、前年度同期の最大密度は13.3個体/100m²、0.015個体/100m²であり、今年度は前年度と同様、前々年度を大きく下回りました。なお、上海・大阪間では済州島南沖で傘径50～100cmの小規模な集団（最大密度0.16個体/100m²）を視認しました。

■ 東シナ海および黄海における分布状況から、現時点では日本周辺海域における大型クラゲの大量出現の可能性は低いと考えられますが、対馬で少量ながら入網が続いていることから、石川県でも注意が必要です。水産総合センターでは今後も大型クラゲの出現情報を収集・提供してまいります。大型クラゲの目視・入網情報等がありましたら、水産総合センターまでお知らせください。



石川県主要港の水揚げ状況（期間:6月16日～30日）

■ **定置網** トビウオは60トン水揚げされました。5月前半から6月後半までの累計は123トンで、前年並み（148トン）で過去5年平均（175トン）を下回りました。ガンド・サバは前年を上回り、フクラギ・サワラ・サゴシは前年並み、マアジ・ブリは前年を下回りました。

■ **まき網** マイワシ・サバは前年を上回り、ウルメイワシは前年並み、マアジは前年を下回りました。

■ **底びき網・ごち網** ニギス・アカガレイ・ハタハタは前年を上回り、アマエビは前年並み、マダラは前年を下回りました。

■ **刺し網・釣り・その他** メッキダイは前年を上回り、イワガキ・マダコは前年並み、ベニズワイガニ・サザエ・ヤナギバチメは前年を下回りました。

■ **小型いか釣り** 25尾入りと30尾入りが主体で、前年並みでした。

集計期間 6月16日～6月30日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
まあじ	1.8	0.2	6.5	8.2	17.7	27.0	19.9	81.4	241.5
とびうお	1.2		19.9	11.1	3.8	12.7	10.8	59.6	71.2
ふくらぎ・こそくら	0.1		3.0	20.3	3.8	8.2	12.7	48.1	42.4
ぶり	2.0		18.1	13.8	0.1	0.5	7.6	42.1	89.3
がんど			18.6	8.0	0.8	1.3	2.5	31.3	15.4
さば	0.0		2.8	9.1	0.5	0.7	11.9	25.1	11.8
さわら・さごし	2.2		3.5	15.3	0.3	0.6	1.5	23.3	27.3
まいわし					0.0	5.6	17.5	23.1	0.1
ふぐ類	0.2		6.8	3.9	0.9	2.1	2.8	16.7	17.3
かたくちいわし						1.4	13.4	14.8	31.8
その他	3.5	0.2	11.5	6.7	4.0	17.7	13.0	56.8	87.8
合計	11.1	0.5	90.9	96.4	32.0	77.7	113.5	422.2	635.9
まき網									
まいわし	—		1133.8			—		1133.8	308.1
さば	—		432.9	4.6		—		437.4	282.7
うるめいわし	—		82.1	0.1		—		82.3	80.9
まあじ	—		3.8	29.5		—		33.3	402.0
ぶり	—	15.9				—		15.9	0.0
その他	—	0.0	1.6	2.5		—		4.1	13.4
合計	—	16.0	1654.2	36.6		—		1706.9	1087.1
底びき網・ごち網									
あまえび	16.9	46.4		4.1	4.6		—	72.0	78.6
にぎす	0.0	29.8	24.1	3.7	0.8	0.2	—	58.5	47.4
あかがれい	9.4	3.6	3.0	13.9	2.1		—	32.0	24.6
まだら	0.7	2.1	0.3	23.7	1.0		—	27.7	53.3
はたはた	2.2	1.4	1.0	7.7	8.0	7.3	—	27.6	15.6
その他	7.9	17.9	2.1	38.1	3.2	0.4	—	69.5	99.0
合計	37.1	101.0	30.4	91.3	19.7	7.8	—	287.4	318.4
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		31.1	14.7	2.9				48.7	77.3
いわがき	0.2		0.0	21.6		0.0	0.0	22.0	23.2
さざえ			1.6	2.2	1.5	5.0	3.0	13.4	16.8
まだこ	0.1	0.0		1.4	0.7	2.8	3.8	8.8	9.2
めっきだい(キガイ)	2.2	0.7	0.0	3.9	0.1			6.8	4.2
やなぎばちめ(ウスマバル)	0.1	0.1	0.0	6.0	0.0	0.0	0.4	6.6	8.4
まだい	0.1	0.0	0.4	5.2	0.2	0.5	0.1	6.6	8.0
ふぐ類	0.0		3.6	1.4	0.0	0.0	0.0	5.0	9.0
その他	3.4	3.1	3.5	33.8	1.8	3.7	4.3	53.5	75.9
合計	6.0	35.0	23.8	78.5	4.3	12.1	11.6	171.4	232.0
小型いか釣り									
するめいか20入り		0.5	5.5	10.5	11.2	0.0		27.7	24.1
するめいか25入り		0.6	8.7	30.8	49.6	0.1		89.8	81.8
するめいか30入り		0.1	5.5	29.5	55.9	0.2		91.4	134.7
するめいか40入り以上		0.1	1.7	9.3	15.1	0.5		26.7	44.0
合計		1.3	21.4	80.1	131.9	0.9		235.6	284.7
総計	54.2	153.8	1820.8	383.0	187.8	98.6	125.2	2823.4	2558.1

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

漁業士認定書交付式が行われました

■ 平成30年7月4日(水)に石川県漁業士認定書交付式が県庁にて行われました。

■ 県では、地域漁業振興の中核的役割を果たす優れた漁業者について40歳未満の方を青年漁業士、40歳以上の方を指導漁業士として認定しています。

■ 今回は、県漁協能都支所所属の定置網漁業者7名、輪島支所所属の刺網漁業者1名、計8名が、平成30年1月29日から2月2日までの日程で行われた講習会を修了し、新たに漁業士として認定を受けました。

■ 当日は、出席者6名に対し、谷本知事から一人一人に直接認定書が手渡され、「資源管理の推進など、石川県の漁業振興、発展に向け活躍を期待します」との激励の言葉があり、これに対し新規漁業士を代表して能都支所所属の中田洋助氏が謝辞を述べられ、「漁業士として地域の先頭に立ち、安全で安心な水産物の供給に努めます」との決意表明がありました。県としては今後も漁業士の皆さんの活発な活動を支援していきたいと考えています。

■ 今回、認定を受けた方は次のとおりです。(青年漁業士)中田洋助、大高浩之、池田利希也、笹野耕太郎、喜多義昭、(指導漁業士)大黒恵介、紙子真一、東野亜希[敬称略]

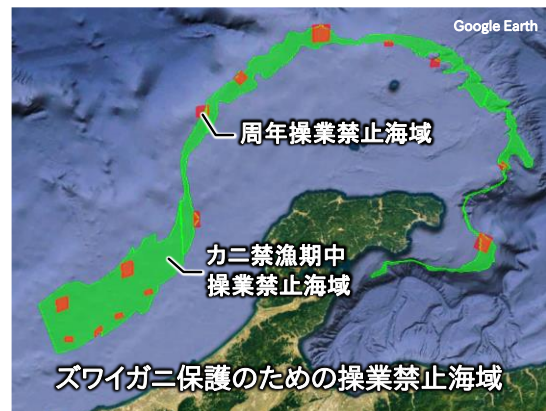


加能ガニ・香箱ガニの資源を守る! (3月10日公開セミナー講演概要)

■ 石川県ではズワイガニの雄を加能ガニ、雌を香箱ガニと呼んでいます。本種は水深200~400mの海底に生息し、底曳網で漁獲されます。1980年代に資源が悪化し、漁獲量が落ち込んだことから、様々な資源保護の取組みが行われるようになりました。

■ ズワイガニの漁期は省令により11月6日から3月20日まで(雌については1月20日まで)と決められています。底曳網の主要魚種であるズワイガニ、アカガレイ、アマエビの生息域は互いに重複しているため、カニ

禁漁期中にアカガレイやアマエビを狙った操業を行うと、ズワイガニも漁獲(混獲)されてしまいます。これらのズワイガニは海に戻されますが、多くは死んでしまいます。このような混獲死亡が資源悪化を招いたことから、1980年代中頃から漁業者はカニ禁漁期中にズワイガニ分布海域での操業を禁止する取組みを行うようになりました。この取組みの効果は大きく、1990年代中頃にはズワイガニの漁獲量はV字回復し、アカガレイやアマエビの漁獲量も増加しました。その後も、操業禁止海域を拡大したり、操業を周年禁止する海域を設けたり、雌ガニの漁期を短縮するなど取組みが強化されています。冬の味覚の王様、加能ガニ・香箱ガニの資源は漁業者のたゆまぬ努力によって守られているのです。



石川県漁海況情報



407号
2018年7月30日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

日本海スルメイカ長期予報（予報期間:8月～12月）

- 日本海全体の来遊量は前年および過去5年平均を下回る見込みです。
- 本県沿岸では漁場は形成されにくく、沖合の来遊量は前年および過去5年平均を下回る見込みです。

大型クラゲ情報（期間:6月26日～7月16日）

- 長崎県対馬・五島の定置網において大型クラゲの入網がありました。
- 対馬海峡等における分布水準は、前年同様の低水準に留まっています。

石川県主要港の水揚状況（期間:7月1日～15日）

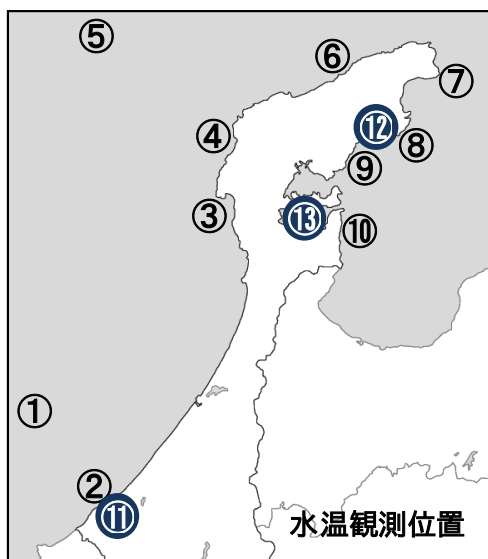
- 定置網ではトビウオが前年並み、マアジが不調でした。

石川県周辺海域の水温（期間:7月15日～19日）

■ **沿岸の海面水温** 7月19日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は25～26℃台で、過去5年平均との差は±0.0～+1.0℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は23.0～25.7℃で、7月上旬から約2.2℃上昇しました。前年同時期との差は-3.3～-0.5℃、過去3年平均との差は-2.5～+1.3℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は24.6～28.1℃で、前年同時期との差は-0.9～+1.2℃、過去3年平均との差は+0.1～+2.3℃でした。



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 7/15～7/19	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	休止中	データなし	データなし
② 橋立沿岸	23.1	-3.3	-2.5
③ 富来沿岸	23.6	-2.6	-1.1
④ 門前沿岸	24.4	-1.6	+0.1
⑤ 猿山岬沖	23.0	-1.1	-1.1
⑥ 曾々木沿岸	25.7	-0.5	+1.3
⑦ 小泊沿岸	休止中	データなし	データなし
⑧ 小浦沿岸	24.4	-1.3	-0.0
⑨ 鶴川沿岸	24.2	-1.2	-0.2
⑩ 岸端沿岸	23.9	-1.3	-0.8

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 7/15～7/19	前年差	過去3年 平均差
⑪ 橋立港	28.1	+0.1	+2.3
⑫ 宇出津港	24.6	-0.9	+0.1
⑬ 石崎港	27.1	+1.2	+1.7

日本海スルメイカ長期予報（予報期間:8月～12月）

■ **来遊状況** スルメイカ漁場一斉調査が6月中旬から7月中旬に行われました。石川県の調査船白山丸の他、北海道から鳥取県の7道県と日本海区水産研究所の調査船が合計45定点でイカ釣り操業を行い、スルメイカの分布や魚体サイズ(外套長)を調べました。全調査点の釣機1台1時間当たりの釣獲尾数(CPUE)の平均値が来遊量の指標になります。今年平均CPUEは10.16尾であり、前年(11.89尾)および過去5年平均(16.10尾)を下回りました。従って、今年の来遊量は前年および過去5年平均を下回っていると判断されます。

■ **分布状況と魚体サイズ** 能登半島沿岸から日本海中央部ではCPUEはやや高く、外套長21cm未満の個体が多く分布していました。北海道沿岸でもCPUEは比較的高く、道北・道央では同19cm未満の個体、道南では同19cm以上の個体が多く分布していました。今年は外套長19cm以上の個体の分布量は前年並みで、同19cm未満の個体の分布量は前年より少ないことが分かりました。

■ **太平洋側の分布状況** 太平洋側に分布するスルメイカは10月以降、宗谷海峡および津軽海峡を經由して日本海に来遊するため、太平洋側の分布状況は10月以降の日本海の漁況に影響します。太平洋スルメイカ長期漁況予報によると、8～9月の来遊量は常磐～三陸海域では前年を下回り、津軽海峡～道東海域では前年並みと予想されています。

■ **漁況の見込み** 以上より、日本海全体では今期の来遊量(漁獲量)は前年および過去5年平均を下回ると予想されます。海域別の来遊量の予想は以下のとおりです。

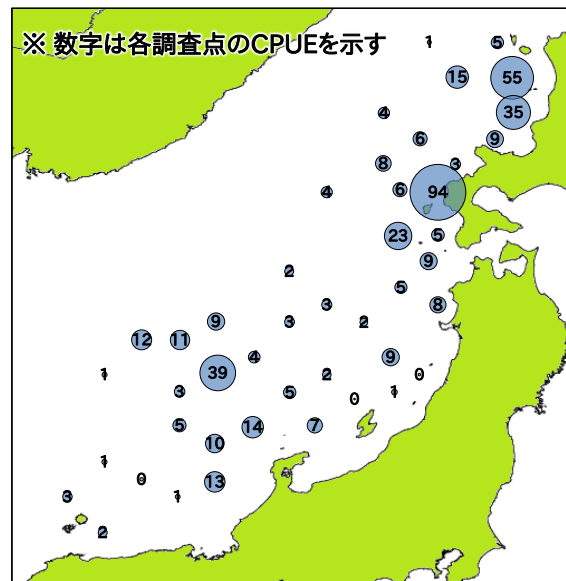
道北・道央: 前年および過去5年平均を下回る。

道南・津軽: 前年並みで、過去5年平均を下回る。

本州北部日本海および西部日本海: 近年同様、漁場は形成されにくい。

沖合域: 前年および過去5年平均を下回る。11月まで道西沖、11月以降は大和堆付近が漁場となる。

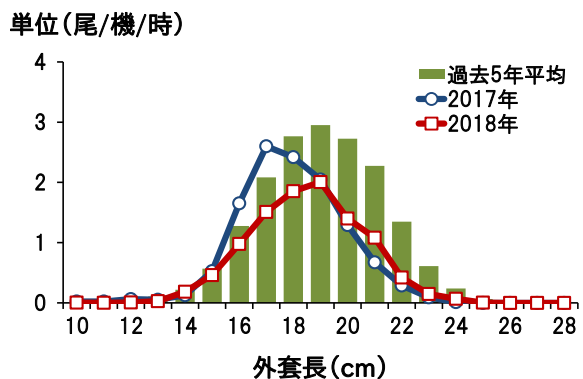
今年の漁場一斉調査時のCPUE分布



平均CPUEの経年変化



外套長別の平均CPUE



本予報の詳細については下記URLの資料をご覧ください。

日本海スルメイカ長期漁況予報： http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr2018/20180720_n/

太平洋スルメイカ長期漁況予報： http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr2018/20180720_t/

大型クラゲ情報（期間：6月26日～7月16日）

■ 国立研究開発法人水産研究・教育機構が7月9・10日に、一般社団法人漁業情報サービスセンターが7月6・11・18日に発表した大型クラゲに関する情報は次のとおりです。

日本海 6月29日～7月16日に長崎県対馬・五島を中心として、定置網に傘径30～100cmの大型クラゲが1～8個体入網しました。

東シナ海 6月26～30日に水産研究・教育機構の調査船陽光丸で行われた大型クラゲの目視調査では、東シナ海西部における出現量（平均密度）は0.021個体/100m²で、前年同時期（0.053個体/100m²）を下回りました。また、6月19～20日に国際フェリーで行われた目視調査では、東シナ海における出現量（平均密度）は0.005個体/100m²で、前年同時期（0.0003個体/100m²）を上回りました。7月10～13日に仁川・連雲港間の国際フェリーで行われた目視調査では、青島南沖で傘径30～70cmの小規模な集団が目撃されました。上海・大阪間の国際フェリーによる目視調査でも、済州島北沖及び対馬南沖で傘径50～100cmの小規模な集団が目撃されました。

黄海 6月27～29日に国際フェリーで行われた目視調査では、黄海における航海上では目撃がなく、前年同時期（0.0001個体/100m²）を下回りました。

対馬海峡 6月26日に国際フェリーで行われた目視調査では、対馬海峡東水道では1個体のみ確認され、西水道では目撃されませんでした。7月10日に国際フェリーで行われた目視調査では、東水道で20個体、西水道で15個体確認され、傘径は30～100cmでした。

■ 水産研究・教育機構の大型クラゲの出現状況（7月9日発表）によると、発表時点での大型クラゲの分布状況は、昨年同様、低水準にとどまっています。しかし、それ以降も対馬海峡で目撃情報があることから注意が必要です。水産総合センターでは今後も大型クラゲの出現情報を収集・提供してまいります。大型クラゲの目視・入網情報等がありましたら、水産総合センターまでお知らせください。

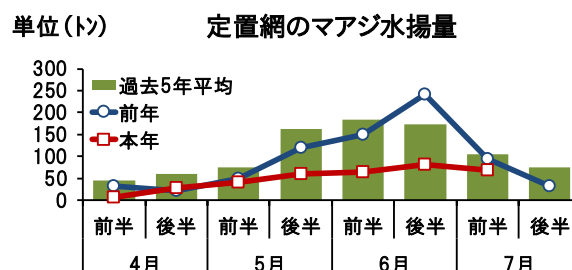
石川県主要港の水揚げ状況（期間：7月1日～15日）

■ **定置網** マアジは69トン水揚げされました。4月前半から7月前半までの累計は350トンで、前年（708トン）および過去5年平均（806トン）を下回りました。サワラ・サゴシ・シイラ・マダイ・ガンドは前年を上回り、トビウオは前年並み、フクラギ・コゾクラ・サバは前年を下回りました。

■ **まき網** マイワシ・サバ・ブリ・ウルメイワシは前年を上回り、マアジは前年並みでした。

■ **底びき網・ごち網** 沖合底びき網のアマエビは前年を下回りました。

■ **刺し網・釣り・その他** アカガレイ・マダコ・ホッケは前年を上回り、ベニズワイガニ・アマダイ・メッキダイは前年並み、サザエ・フグ類は前年を下回りました。



集計期間 7月1日～7月15日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
さわら・さごし	2.0	0.1	17.2	35.8	0.0	14.1	9.3	78.5	38.4
まあじ	1.5	0.8	4.0	4.4	26.2	19.1	12.6	68.5	94.3
とびうお	1.5		6.6	9.5	3.0	11.5	29.2	61.4	62.4
ふくらぎ・こそくら	0.3		1.3	7.3	2.3	6.0	2.8	19.9	34.9
しいら	0.0		6.3	1.0	0.2	4.0	4.0	15.4	3.1
まだい	0.1		1.4	1.7	0.4	6.8	4.6	15.0	9.0
がんど			0.5	0.2	0.7	5.6	6.0	13.0	6.1
さば	0.0		1.0	5.6	1.3	0.3	3.7	11.8	15.7
そうだがつお	0.0		1.1	0.1	0.0	3.5	0.5	5.3	0.0
まいわし		0.0	3.1		0.1	0.2	1.6	5.1	2.3
その他	2.2	0.1	12.1	7.2	2.7	10.2	24.3	58.8	171.8
合計	7.6	1.0	54.5	72.8	37.0	81.2	98.6	352.7	438.0
まき網									
まいわし	—		694.4			—		694.4	191.3
さば	—	1.1	438.4	48.8		—	0.0	488.3	24.7
ぶり	—	100.9		0.0		—	0.8	101.7	12.0
まあじ	—	0.3	40.5	10.7		—		51.4	50.4
うるめいわし	—		35.8	0.9		—		36.7	17.9
その他	—	17.9	0.2	3.7		—	0.0	21.7	2.0
合計	—	120.2	1209.2	64.0		—	0.9	1394.3	298.4
底びき網・ごち網									
あまえび		13.8			0.4		—	14.1	18.1
はたはた		0.8			0.6	0.1	—	1.5	0.9
まだい			1.3				—	1.3	1.8
あかがれい		0.1			0.6		—	0.7	0.1
さこだい(サダイ)			0.5				—	0.5	1.0
その他		0.4	0.5		0.9	0.3	—	2.1	2.4
合計		15.0	2.3		2.5	0.5	—	20.3	24.3
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		8.1	16.8	0.9				25.8	21.9
あかがれい						13.9		13.9	6.6
まだこ	0.0	0.0		5.3	0.5	3.0	4.1	12.9	10.5
さざえ	1.0		1.3	0.1	1.4	4.5	3.8	11.9	46.0
あまだい	0.4	0.3	0.0	2.2	0.6	0.0	0.1	3.8	4.6
ふぐ類	0.0	0.0	3.0	0.6	0.0	0.0	0.0	3.6	6.2
ほっけ				0.1		3.5		3.6	0.1
めっきだい(サダイ)	0.6	0.7	0.1	1.9	0.1	0.0		3.4	3.5
その他	2.5	2.3	2.7	13.9	8.7	7.0	5.2	42.3	101.9
合計	4.5	11.4	24.0	24.9	11.4	31.9	13.2	121.3	201.2
小型いか釣り									
するめいか20入り		0.0	1.8	8.1	6.1			16.0	4.0
するめいか25入り		0.0	6.6	31.8	17.5			55.9	23.0
するめいか30入り			3.7	17.2	18.1			39.1	39.3
するめいか40入り以上		0.0	1.3	4.1	3.6			9.0	5.3
合計		0.1	13.4	61.2	45.3			120.0	71.6
総計	12.1	147.6	1303.5	223.0	96.2	113.6	112.7	2008.6	1033.5

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報



408号
2018年8月15日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

大型クラゲ情報（期間:7月17日～8月7日）

- 長崎県対馬・五島・壱岐の定置網において大型クラゲの散発的な入網がありました。
- 対馬海峡等における分布水準は、引き続き低水準に留まっています。

水産総合センター・トピックス

- 「水産総合センターで取り組んでいる水産教育について」

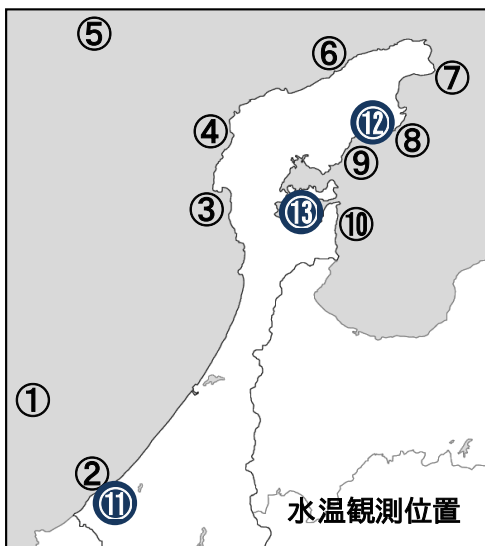
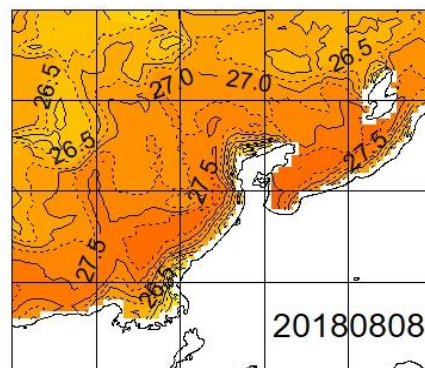
石川県周辺海域の水温（期間:8月4日～8日）

■ **沿岸の海面水温** 8月8日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は26～27℃台で、過去5年平均との差は-2.0～+0.5℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は25.1～26.4℃で、7月中旬から約1.7℃上昇しました。前年同時期との差は-2.0～-0.4℃、過去3年平均との差は-1.8～+0.0℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は26.5～30.0℃で、前年同時期との差は-1.6～+0.7℃、過去3年平均との差は-1.3～+0.7℃でした。

石川県周辺の海面水温



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 8/4～8/8	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	休止中	データなし	データなし
② 橋立沿岸	25.1	-2.0	-1.6
③ 富来沿岸	25.9	-0.9	-0.0
④ 門前沿岸	25.9	-0.4	+0.0
⑤ 猿山岬沖	休止中	データなし	データなし
⑥ 曾々木沿岸	25.9	-1.1	-0.6
⑦ 小泊沿岸	26.4	-0.8	-0.3
⑧ 小浦沿岸	26.3	-1.3	-1.5
⑨ 鶴川沿岸	25.7	-1.9	-1.8
⑩ 岸端沿岸	26.4	-1.3	-1.4

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 8/4～8/8	前年差	過去3年 平均差
⑪ 橋立港	28.8	+0.7	+0.7
⑫ 宇出津港	26.5	-1.6	-1.3
⑬ 石崎港	30.0	-0.3	-0.1

大型クラゲ情報（期間:7月17日～8月7日）

■ 国立研究開発法人水産研究・教育機構および一般社団法人漁業情報サービスセンターが8月8日までに発表した大型クラゲに関する情報は次のとおりです。

日本海 7月17～30日に長崎県対馬・五島・壱岐の定置網で傘径50～100cmの大型クラゲが1～6個体入網しました。7月19～21日に山口県長門市の定置網で傘径40cmの大型クラゲが2～5個体入網しました。8月1日に兵庫県の調査船が浜坂沖で1個体（傘径30cm）確認しました。8月6日に福岡県宗像市の定置網で1個体（傘径60cm）入網しました。

東シナ海 7月19～22日に水産研究・教育機構の調査船陽光丸で行われた大型クラゲの目視調査では、大型クラゲの出現は確認されませんでした。7月24～27日に仁川・連雲港間の国際フェリーで行われた目視調査では、青島南沖で傘径60～100cmの小規模な集団が目撃されました。上海・大阪間の国際フェリーによる目視調査でも、壱岐南沖で傘径50～70cmの小規模な集団が目撃されました。また、7月5日に東シナ海の底引き網で3個体（傘径50cm）入網しました。

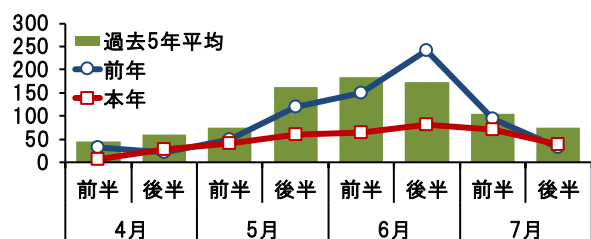
対馬海峡 7月24日に国際フェリーで行われた目視調査では、対馬海峡東水道で1個体、西水道で2個体が確認され、傘径は30～60cmでした。また、8月7日に東水道で8個体、西水道で2個体確認され、傘径は20～50cmでした。

■ 現時点での大型クラゲの分布水準は、昨年同様、低水準にとどまっており、大量出現の可能性は低いと思われませんが、対馬・五島・壱岐の定置網で散発的な入網が継続していることから引き続き注意が必要です。水産総合センターでは今後も大型クラゲの出現情報を収集・提供してまいります。大型クラゲの目視・入網情報等がありましたら、水産総合センターまでお知らせください。

石川県主要港の水揚状況（期間:7月16日～31日）

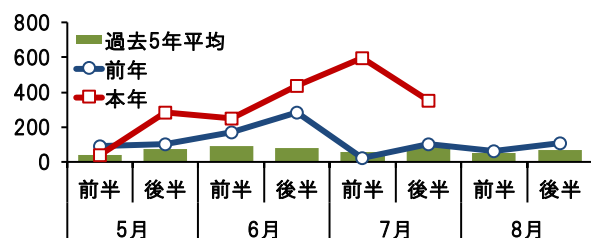
■ **定置網** マアジは36トン水揚げされました。4月前半から7月後半の累計は391トンで、前年（741トン）および過去5年平均（881トン）を下回りました。サワラ・サゴシ・サバ・フクラギ・コゾクラ・トビウオは前年を上回り、カタクチイワシ・マダイ・マイワシは前年並み、カワハギ・スズキは前年を下回りました。

単位(ト) 定置網のマアジ水揚量



■ **まき網** サバは352トン水揚げされました。5月前半から7月後半の累計は1,956トンで、前年（767トン）および過去5年平均（429トン）を上回りました。マイワシ・ウルメイワシは前年を上回り、ブリ・ガンドは前年を下回りました。

単位(ト) まき網のサバ水揚量



■ **底びき網・ごち網** 沖合底びき網のアマエビは前年を上回りました。

■ **刺網・釣り・その他** ベニズワイガニ・アカガレイ・アマダイ・ヤナギバチメ・メッキダイは前年を上回り、マダコ・アカラバチメ・イワガキは前年並みで、サザエは前年を下回りました。

集計期間 7月16日～7月31日 (漁獲量の単位はトン)

魚種	水揚港								期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年	
定置網										
さわら・さごし	8.6	0.7	37.1	20.4	0.8	2.5	1.4	71.6	59.2	
さば	0.0	0.1	0.9	52.3	1.2	1.9	7.1	63.5	12.3	
ふくらぎ・こそくら	0.9		14.9	24.0	0.8	12.8	5.0	58.3	27.7	
かたくちいわし			0.1			3.4	43.2	46.8	55.3	
まあじ	1.0	1.1	1.8	2.3	6.6	11.9	11.1	35.8	33.4	
とびうお	1.2	0.0	2.4	3.0	3.0	6.9	3.1	19.5	13.5	
まだい	0.3		1.4	1.7	0.8	5.9	3.1	13.2	15.2	
まいわし		0.2	6.6		0.1	0.8	5.0	12.7	14.0	
しいら	0.0		5.6	1.0	1.3	2.0	0.1	10.1	1.8	
かわはぎ(ウマヅラ)	0.6	0.0	1.1	1.9	0.6	0.7	0.5	5.5	8.2	
あかいか(ケンサキカ)	1.1	0.0	1.8	0.2	0.2	0.4	0.1	3.7	4.4	
ひらまさ	1.9	0.0	0.6	0.7	0.0	0.1	0.1	3.4	0.5	
すずき	0.5	0.2	0.7	0.4	0.3	0.5	0.3	2.9	5.4	
その他	0.9	0.0	6.3	1.6	0.6	11.8	21.6	42.8	27.0	
合計	17.0	2.4	81.3	109.5	16.2	61.5	101.7	389.5	277.9	
まき網										
まいわし	—		1907.1			—		1907.1	0.6	
さば	—	1.1	298.0	53.6		—		352.7	100.0	
うるめいわし	—		95.8			—		95.8	2.9	
ぶり	—	18.2				—		18.2	98.7	
がんど	—	11.9				—		11.9	284.9	
その他	—	0.3	2.2	1.1		—		3.5	302.0	
合計	—	31.5	2303.0	54.7		—		2389.1	789.2	
底びき網・ごち網										
あまえび		26.6					—	26.6	21.3	
まだい			1.9				—	1.9	2.2	
はたはた		1.8					—	1.8	0.3	
さこだい(チダイ)			0.9				—	0.9	0.2	
かわはぎ(ウマヅラ)			0.3				—	0.3	0.3	
その他		1.4	0.2				—	1.6	0.9	
合計		29.8	3.2				—	33.1	25.3	
刺網・釣り・その他										
べにずわいがに			46.0	3.5				49.5	33.7	
さざえ	1.5		3.6	16.9	2.9	4.0	2.7	31.5	42.6	
あかがれい						15.8		15.8	11.1	
あまだい	0.6	0.4	0.1	11.4	0.5	0.0	0.1	13.2	5.4	
まだこ	0.0	0.0		5.1	0.7	2.2	3.6	11.6	9.8	
やなぎばちめ(ウスマル)		0.2	0.0	8.0	0.1	0.2	0.7	9.3	2.0	
めつきだい(キダイ)	0.8	1.0	0.1	6.4	0.1	0.0		8.4	3.4	
あからばちめ(ハツメ)				6.2				6.2	5.8	
ふぐ類		0.0	3.9	2.0	0.0	0.1	0.0	6.0	4.6	
まだい	0.1	0.0	0.2	2.5	0.1	0.7	0.1	3.6	2.5	
いわがき	1.1		1.7		0.0	0.1	0.2	3.1	3.3	
その他	3.4	1.9	3.2	100.5	4.8	6.1	4.3	124.1	44.9	
合計	7.5	3.5	58.7	162.5	9.2	29.2	11.6	282.2	169.2	
総計	24.5	67.2	2446.2	326.6	25.4	90.7	113.3	3094.0	1261.5	

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

水産総合センターで取り組んでいる水産教育について

■当センターでは、調査・研究を通じ本県水産業の振興を推進しているところですが、水産業への理解や関心を高めてもらうため、小学生を対象にした栽培漁業ミニ体験教室の開催、中学生のわくわく職場体験の受け入れも行っています。

■栽培漁業ミニ体験教室を、6月下旬から7月上旬にかけて能登町立宇出津小学校4年生と穴水町立穴水小学校5年生を対象に開催しました。当センターからヒラメの生態や栽培漁業について説明したのち、小学生には、各学校に設置した水槽に当センター志賀事業所で生産した全長約5cmのヒラメ稚魚150尾を収容し給餌など約2週間の飼育をしてもらい、その後宇出津小学校は羽根海岸、穴水小学校は潮騒海岸で放流しました。



栽培漁業について学習（穴水小学校）



ヒラメ稚魚の放流（宇出津小学校）

■次に、中学生による職場体験については、能登町立能都中学校と松波中学校の2年生7名が7月23日から3日間当センターの業務を体験しました。体験に先立ち、生徒には石川県の漁業の概要、当センターの業務内容および体験業務の目的などを説明したのち、スルメイカの精密測定、乳酸菌の培養、ヒラメの黒化状況調査、マガキの幼生計数および附属施設の海洋漁業科学館で行うイカとつくり作りに使用するスルメイカの下処理を行ってもらいました。



スルメイカの精密測定



ヒラメの黒化状況調査

■この他、海洋漁業科学館では小学生を対象に能登でとれたテングサを使用して行う「トコロテン作り」や「ヒラメとのふれあい体験放流」も行いました。

■当センターでは、今後もこのような取り組みを継続しながら本県水産業への理解、関心を高めていき、さらには現在大きな課題である漁業への就業への一助になればと考えております。



トコロテン作り

石川県漁海況情報



409号

2018年8月31日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324

ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>

携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

調査船白山丸のスルメイカ調査結果（期間:8月19日～23日）

- 日本海中央部から佐渡島沖ではスルメイカの分布量は全般的に低めでした。
- 魚体は日本海中央部では前年よりもやや小さく、佐渡島沖では小型でした。

大型クラゲ情報（期間:8月10日～8月21日）

- 島根県や長崎県の定置網・底びき網で入網が確認されています。
- 大型クラゲの分布水準は低く、今後、大量出現の可能性は低いと思われます。

石川県主要港の水揚状況（期間:8月1日～15日）

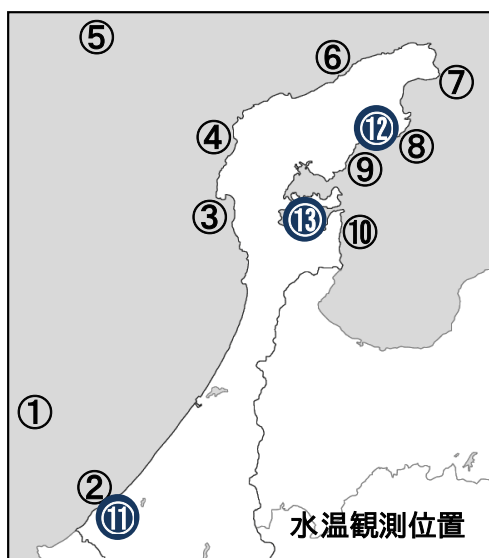
- まき網ではサバが好調でした。

石川県周辺海域の水温（期間:8月19日～23日）

■ **沿岸の海面水温** 8月23日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は26～27℃台で、過去5年平均との差は-1.5～±0.0℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は23.8～26.9℃で、8月上旬から約0.5℃低下しました。前年同時期との差は-3.6～+0.0℃、過去3年平均との差は-2.9～-0.3℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は27.1～28.5℃で、前年同時期との差は-0.8～-0.1℃、過去3年平均との差は-0.7～-0.4℃でした。



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 8/19～8/23	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	25.4	-1.9	-1.9
② 橋立沿岸	24.9	-2.5	-1.9
③ 富来沿岸	23.8	-3.6	-2.9
④ 門前沿岸	24.0	-3.2	-2.6
⑤ 猿山岬沖	休止中	データなし	データなし
⑥ 曾々木沿岸	24.9	-2.1	-1.4
⑦ 小泊沿岸	26.1	-0.5	-0.5
⑧ 小浦沿岸	26.7	-0.0	-0.3
⑨ 鶴川沿岸	26.8	+0.0	-0.4
⑩ 岸端沿岸	26.9	+0.0	-0.6

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 8/19～8/23	前年差	過去3年 平均差
⑪ 橋立港	休止中	データなし	データなし
⑫ 宇出津港	27.1	-0.1	-0.4
⑬ 石崎港	28.5	-0.8	-0.7

調査船白山丸のスルメイカ調査結果（期間:8月19日～23日）

■ 調査船白山丸は8月19日から23日に日本海中央部（大和堆北東付近）から佐渡島沖でイカ釣り操業を行いました。台風による時化のため操業回数は4回のみとなりました。スルメイカの分布密度の指標であるCPUE（釣機1台1時間当たりの漁獲尾数）は0.2～20.1尾と全般的に低く、佐渡島の北西沖・北沖にはスルメイカはほとんど分布していませんでした。魚体サイズ（外套長）は日本海中央部では前年よりもやや小さく、佐渡島の北西沖・北沖では外套長12～13cm程度の小型個体が主に漁獲されました。

調査船白山丸イカ釣り調査結果

操業日	操業位置	漁獲尾数	CPUE	外套長範囲(主な魚体)	表面水温	50m水温
8月19日	39-55.1N, 135-05.3E	2,817	20.1	14～26cm (20cm)	24.9℃	11.05℃
8月20日	40-16.1N, 135-59.8E	613	4.6	15～27cm (22cm)	22.5℃	3.14℃
8月21日	39-40.1N, 137-31.3E	135	1.6	10～22cm (13cm)	22.4℃	5.24℃
8月22日	38-42.2N, 138-34.7E	31	0.2	11～23cm	26.8℃	18.20℃

CPUE:釣機1台1時間当たりの漁獲尾数、主な魚体:漁獲尾数の多かったイカの外套長

大型クラゲ情報（期間:8月10日～8月21日）

■ 国立研究開発法人水産研究・教育機構および一般社団法人漁業情報サービスセンターが8月22日までに発表した大型クラゲに関する情報は次のとおりです。

■ 8月10日に島根県浜田市の定置網で傘径50cmの大型クラゲが1個体入網しました。8月16～19日に対馬海峡において底びき網船が3～10個体（傘径30～60cm）確認しました。8月19、20日に長崎県峰町の定置網で15～16個体（傘径30～100cm）入網しました。8月21日に対馬海峡における国際フェリーによる調査が実施されましたが、大型クラゲの出現は確認されませんでした。

■ 現時点での大型クラゲの分布水準は、昨年同様、低水準にとどまっており、引き続き大量出現の可能性は低いと思われませんが、石川県周辺では例年9～11月頃が出現のピークになりますので注意してください。水産総合センターでは今後も大型クラゲの出現情報を収集・提供してまいります。大型クラゲの目視・入網情報等がありましたら、水産総合センターまでお知らせください。

石川県主要港の水揚状況（期間:8月1日～15日）

■ **定置網** シイラ・マイワシ・サバは前年を上回り、フクラギ・コゾクラ・マアジは前年並み、サワラ・サゴシ・カタクチイワシは前年を下回りました。

■ **まき網** サバは190トン水揚げされました。5月前半から7月後半の累計は、2,146トンで、前年（828トン）および過去5年平均（480トン）を上回りました。フクラギ・コゾクラは前年並み、ブリは前年を下回りました。

■ **底びき・ごち網** 沖合底びきのアマエビは前年を上回りました。

■ **刺網・釣り・その他** ベニズワイガニ・ヤナギバチメは前年を上回り、マダコ・アカガレイは前年並み、サザエ・アマダイは前年を下回りました。

集計期間 8月1日～8月15日 (漁獲量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
しいら	0.7		43.5	5.1	0.4	3.0	7.5	60.2	14.5
まいわし			0.7		0.6	4.3	45.8	51.4	14.5
ふくらぎ・こそくら	0.7		7.6	12.0	0.7	10.2	15.3	46.5	56.0
さば	0.0	0.5	4.8	21.9	1.8	0.5	0.4	30.0	17.5
さわら・さごし	4.1	0.4	15.0	6.2	0.3	0.8	0.6	27.4	41.0
かたくちいわし						0.5	26.0	26.5	81.8
まあじ	0.4	0.7	0.4	0.6	5.8	4.0	5.6	17.6	21.2
まだい	0.1		0.8	1.2	0.7	2.1	4.4	9.4	6.5
すずき	0.7	1.7	1.3	0.4	0.1	0.2	0.3	4.6	1.3
ひらまさ	1.3	0.4	0.9	1.2	0.0	0.2	0.3	4.3	0.2
そうだがつお	0.0		1.4	0.0		1.2	0.6	3.3	0.1
かわはぎ(ウマヅラ)	0.4		0.6	0.7	0.2	0.3	0.6	2.8	3.3
あかいか(ケンサキカ)	0.3		1.1	0.3	0.1	0.2	0.1	2.2	3.7
その他	0.7	0.0	3.3	1.4	0.2	4.8	20.7	31.1	34.1
合計	9.6	3.9	81.3	51.1	10.8	32.3	128.4	317.4	295.8
まき網									
さば	—	49.4	87.7	52.8		—		189.9	61.3
ふくらぎ・こそくら	—		0.1	147.9		—		147.9	140.5
ぶり	—	26.5		2.3		—		28.8	119.1
うるめいわし	—		20.6			—		20.6	0.0
まあじ	—	2.0		6.3		—		8.4	2.5
その他	—	2.1	0.9	6.4		—		9.4	213.7
合計	—	80.0	109.3	215.8		—		405.0	537.1
底びき網・ごち網									
あまえび		11.0					—	11.0	6.0
はたはた		2.4					—	2.4	0.4
まだい			1.1				—	1.1	2.2
さこだい(サガイ)			0.6				—	0.6	0.2
かわはぎ(ウマヅラ)			0.2				—	0.2	0.3
その他		0.4	0.3				—	0.7	0.5
合計		13.8	2.1				—	15.9	9.7
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに			19.2	2.2				21.5	15.9
さざえ	1.1		2.0	8.6	1.1	3.2	2.2	18.2	35.7
まだこ	0.0			2.4	0.3	1.8	2.2	6.7	6.2
あかがれい						6.6		6.6	7.1
やなぎばちめ(ウスマバル)		0.0		4.4		0.3	0.5	5.2	1.4
あまだい	0.3	0.2	0.1	3.3	0.0	0.1	0.0	4.0	5.1
あからばちめ(ハツメ)		0.0		3.3			0.0	3.4	5.1
めつきだい(キタイ)	0.4	0.3	0.1	2.3	0.0	0.1		3.3	4.4
いわがき	0.7		1.4		0.1	0.0	0.2	2.3	3.8
ふぐ類	0.0		0.9	1.1		0.1	0.0	2.2	5.0
すずき	0.2	0.0	0.5	0.0	0.2	0.8	0.1	1.8	1.7
その他	2.0	0.7	2.2	10.8	0.5	6.7	3.0	25.9	36.4
合計	4.7	1.3	26.5	38.5	2.1	19.7	8.2	101.0	127.8
総計	14.3	99.0	219.1	305.3	13.0	52.0	136.5	839.4	970.4

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報



410号
2018年9月14日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

調査船白山丸のアマエビ調査結果（期間：7月24日～26日）

- 2016年生まれの子エビは、2007年の調査開始以降3番目に多く採集されました。
- 2018年以降も好漁が続くことが見込まれます。

石川県主要港の水揚状況（期間：8月15日～31日）

- 定置網ではシイラ、まき網ではサバが好調でした。

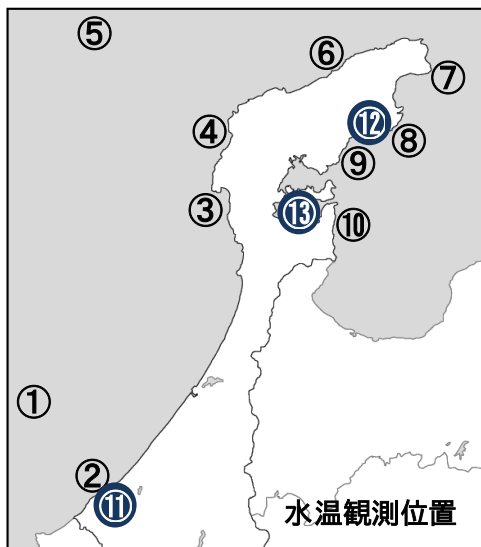
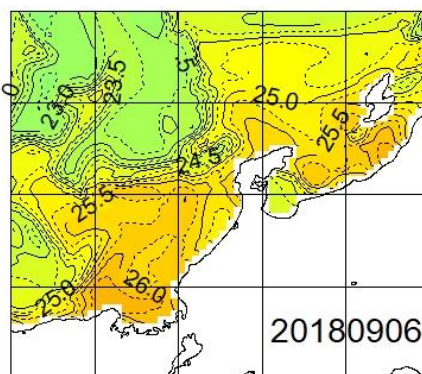
石川県周辺海域の水温（期間：9月2日～6日）

■ **沿岸の海面水温** 9月6日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は24～25℃台で、過去5年平均との差は-1.5～±0.0℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は25.2～26.7℃で、8月下旬から約0.6℃上昇しました。前年同時期との差は-1.2～+2.5℃、過去3年平均との差は-0.8～+1.6℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は25.4～27.2℃で、前年同時期との差は-1.0～+2.7℃、過去3年平均との差は-0.5～+1.7℃でした。

石川県周辺の海面水温



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 9/2～9/6	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	26.7	+0.5	+1.4
② 橋立沿岸	26.6	+2.5	+1.6
③ 富来沿岸	26.3	+2.2	+1.3
④ 門前沿岸	26.1	+0.7	+0.7
⑤ 猿山岬沖	休止中	データなし	データなし
⑥ 曾々木沿岸	25.7	+2.1	+0.9
⑦ 小泊沿岸	25.2	-1.0	-0.3
⑧ 小浦沿岸	25.2	-1.2	-0.8
⑨ 鷺川沿岸	休止中	データなし	データなし
⑩ 岸端沿岸	25.4	-1.1	-0.7

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 9/2～9/6	前年差	過去3年 平均差
⑪ 橋立港	27.2	+2.7	+1.7
⑫ 宇出津港	25.4	-1.0	-0.5
⑬ 石崎港	26.7	+1.1	-0.3

調査船白山丸のアマエビ調査結果（期間：7月24日～26日）

■ 調査船白山丸は7月24～26日に金沢沖の水深375～500mの海域でアマエビ（標準和名：ホッコクアカエビ）の分布量調査を行いました。この調査は冬期と夏期の年2回実施しており、金属枠に袋網をつけた漁具を30分間曳網し、今後漁獲対象になる小型エビ（若齢エビ）の分布量を調べています。

■ 1歳エビ（2017年生まれ）は1回曳網当たり135尾採集されました。

■ 2歳エビ（2016年生まれ）は卓越年級群であった2010年生まれや2014年生まれよりは少ないですが、1回曳網当たり335尾採集され、2歳エビとしては調査開始以降3番目に多く採集されました。

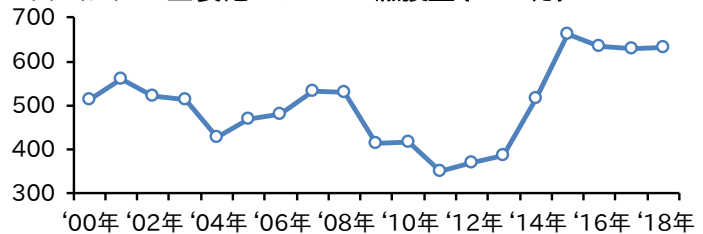
■ 今年のアマエビの県内漁獲量は、豊漁であった2015年よりは減少したものの、

高水準を維持しています。近年の漁獲を支えてきた2010年生まれに加えて、今年から2014年生まれが本格的に漁獲加入しており、今後も好漁が続くものと見込まれます。

夏季調査における年齢別アマエビ採集尾数(尾/網)

調査年	1歳エビ	2歳エビ	3歳エビ
2007年	4	62	35
2008年	1	52	16
2009年	55	6	32
2010年	19	129	4
2011年	444	154	99
2012年	300	1289	190
2013年	52	231	340
2014年	31	276	138
2015年	512	93	97
2016年	53	430	22
2017年	150	261	414
2018年	135	335	122

単位(ト) 主要港のアマエビ漁獲量(1～7月)



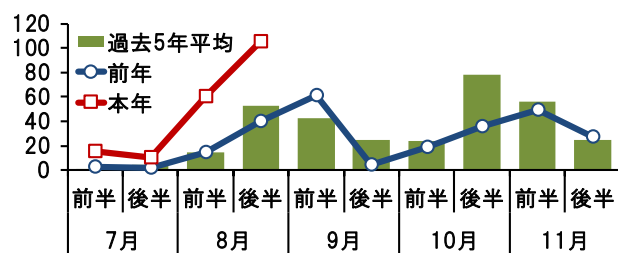
石川県主要港の水揚げ状況（期間：8月15日～31日）

■ **定置網** シイラは105トン水揚げされました。7月前半から8月後半の累計は191トンで、前年（60トン）および過去5年平均（72トン）を上回りました。サバ・フクラギ・コゾクラ・マイワシ・サワラ・サゴシは前年を上回り、カタクチイワシは前年を下回りました。

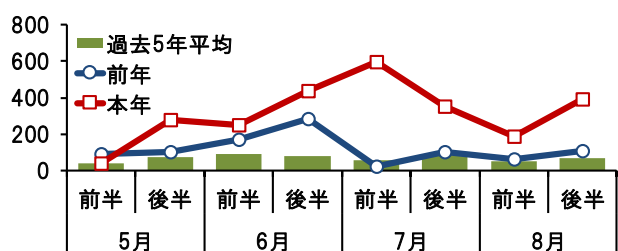
■ **まき網** サバは392トン水揚げされました。5月前半から8月後半の累計は2,538トンで、前年（938トン）および過去5年平均（549トン）を上回りました。フクラギ・コゾクラ・ウルメイワシは前年を上回り、ブリ・ガンドは前年を下回りました。

■ **刺網・釣り・その他** ベニズワイガニ・アマダイ・メッキダイ・マダコは前年を上回り、サザエは前年並みでした。

単位(ト) 定置網のシイラ水揚量



単位(ト) まき網のサバ水揚量



集計期間 8月15日～8月31日 (漁獲量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
しいら	1.4		70.7	7.2	6.3	4.0	15.8	105.4	14.5
さば	0.0	1.3	21.8	44.5	12.4	0.5	0.7	81.3	17.5
ふくらぎ・こぞくら	1.1		18.5	21.0	3.5	12.0	24.3	80.3	56.0
まいわし		0.0	0.8		0.6	4.3	46.6	52.4	14.5
さわら・さごし	7.2	0.4	25.9	16.3	0.7	0.8	0.8	52.1	41.0
まあじ	0.6	1.0	1.6	1.1	11.5	4.8	7.8	28.3	21.2
かたくちいわし						0.5	26.1	26.5	81.8
まだい	0.2		1.2	1.6	1.9	2.3	5.3	12.5	6.5
そうだがつお	0.0		5.2	0.0	0.0	1.2	0.7	7.2	0.1
すずき	1.0	1.7	1.7	0.6	0.1	0.2	0.4	5.8	1.3
ひらまさ	1.6	0.4	1.1	1.6	0.0	0.2	0.6	5.4	0.2
あかいか(ケンサキ)	0.5		3.0	0.9	0.2	0.3	0.3	5.2	3.7
かわはぎ(ウマヅラ)	0.5		0.8	1.2	0.3	0.6	1.1	4.4	3.3
その他	0.9	0.0	10.5	2.4	0.5	6.0	61.9	82.3	34.1
合計	15.0	4.9	162.8	98.5	38.0	37.8	192.3	549.3	295.8
まき網									
さば	—	49.4	287.6	55.3		—		392.4	61.3
ふくらぎ・こぞくら	—	20.5	0.1	177.2		—		197.8	140.5
ぶり	—	66.3		21.3		—	1.6	89.2	119.1
うるめいわし	—		49.4			—		49.4	0.0
がんど	—	18.7		6.0		—	1.5	26.2	210.4
その他	—	6.2	2.3	19.5		—	0.6	28.6	3.3
合計	—	161.2	339.4	279.3		—	3.6	783.6	534.6
底びき網・ごち網									
あまえび		13.0					—	13.0	6.0
はたはた		3.2					—	3.2	0.4
まだい			2.0				—	2.0	2.2
さこだい(サダイ)			1.1				—	1.1	0.2
かわはぎ(ウマヅラ)			0.4				—	0.4	0.3
その他		0.5	0.5				—	1.0	0.5
合計		16.7	4.0				—	20.7	9.7
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに			42.6	5.3				47.8	15.9
さざえ	1.3		2.9	25.3	1.4	4.4	3.2	38.6	35.7
あまだい	0.5	0.3	0.2	9.7	0.3	0.2	0.1	11.4	5.1
めっきだい(サダイ)	1.2	0.7	0.3	6.6	0.0	0.3		9.1	4.4
まだこ	0.1			3.0	0.4	2.5	3.1	9.0	6.2
あかがれい						8.9		8.9	7.1
やなぎばちめ(ウスマル)		0.0	0.0	6.0	0.1	0.4	0.9	7.4	1.4
あからばちめ(ハツメ)		0.0		6.5			0.0	6.5	5.1
まだい	0.1	0.0	0.6	3.1	0.1	1.0	0.1	5.1	2.8
ふぐ類	0.0		0.9	2.9		0.2	0.0	4.1	5.0
のどぐろ(アカツ)	0.5		0.3	1.6		0.3	0.2	2.9	1.7
その他	3.5	1.6	5.1	38.9	1.5	11.1	5.5	67.1	37.3
合計	7.2	2.7	52.9	108.7	4.0	29.4	13.1	218.0	127.8
総計	22.1	185.5	559.1	486.6	42.0	67.2	209.1	1571.5	967.9

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報



411号
2018年9月28日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

調査船白山丸のスルメイカ調査結果（期間:9月7日～13日）

- 日本海中央部のスルメイカの分布量は前年および過去5年平均を下回りました。
- 魚体サイズは前年および過去5年平均よりも小型でした。

アオリイカの漁況の見通し（予報期間:9月～12月）

- 定置網によるアオリイカ水揚量は100トン程度で、過去5年平均を下回る見込みです。

石川県主要港の水揚状況（期間:9月1日～15日）

- 定置網ではサワラ・サゴシが好調でした。

調査船白山丸のスルメイカ調査結果（期間:9月7日～13日）

■ 調査船白山丸は9月7日から13日に日本海中央部（大和堆付近）でイカ釣り操業を行いました。スルメイカの分布密度の指標であるCPUE（釣機1台1時間当たりの漁獲尾数）は4.8～11.9尾と全般的に低く、スルメイカはあまり分布していませんでした。本調査の平均CPUEは8.3尾であり、前年同時期平均（25.7尾）および過去5年同時期平均（36.7尾）を大きく下回りました。定点調査ではないため厳密に比較できませんが、今年9月の日本海中央部のスルメイカの分布量は前年および過去5年を下回っていると考えられます。本調査で漁獲したスルメイカの外套長（魚体サイズの指標）の平均値は20.0cmであり、魚体は前年（22.3cm）および過去5年平均（22.9cm）よりも小型でした。

調査船白山丸イカ釣り調査結果

操業日	操業位置	漁獲尾数	CPUE	外套長範囲(主な魚体)	表面水温	50m水温
9月07日	39-53.6N, 136-03.4E	430	10.2	15～26cm (19cm)	23.0℃	4.51℃
9月07日	39-40.2N, 136-09.7E	1,250	11.9	11～30cm (19cm)	21.6℃	6.50℃
9月08日	40-00.7N, 135-02.0E	737	4.8	11～26cm (18cm)	23.2℃	10.92℃
9月09日	39-37.0N, 134-40.4E	1,326	8.6	11～29cm (19cm)	22.4℃	8.23℃
9月10日	40-00.2N, 135-16.8E	1,250	8.1	14～26cm (19,21cm)	21.9℃	10.48℃
9月11日	40-15.3N, 135-42.6E	1,146	7.4	12～27cm (21cm)	21.5℃	7.66℃
9月12日	40-11.1N, 136-03.7E	1,010	7.2	14～26cm (21cm)	21.5℃	4.35℃

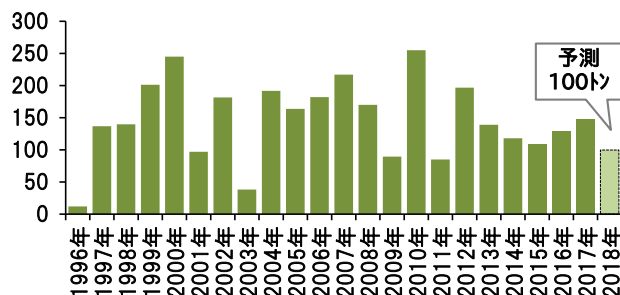
CPUE: 釣機1台1時間当たりの漁獲尾数、主な魚体: 漁獲尾数の多かったイカの外套長

アオリイカの漁況の見通し（予報期間:9月～12月）

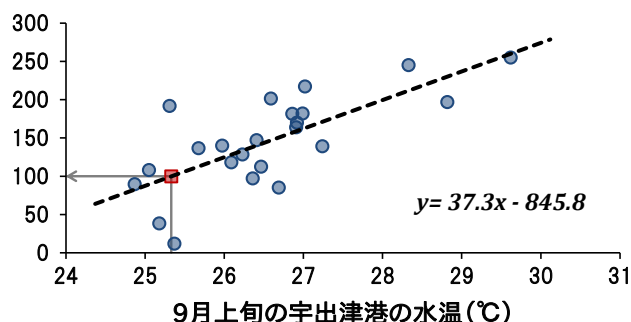
■ **アオリイカ**は日本海側では青森県以南の沿岸域に分布し、水温の季節変動にあわせて、春に北上し、秋に南下します。石川県では南下期の個体が漁獲対象となっており、9～12月に主に定置網によって漁獲されます。

■ **定置網による水揚量**は年変動が大きく、これには水温が関係しています。9～12月の水揚量と9月上旬の宇出津港の水温との関係を調べたところ、水温が高い年ほど水揚量が多い傾向がみられます。今年の水温は25.3℃であり、過去5年平均(26.2℃)をやや下回りました。この値を水温と水揚量の関係式に当てはめると、今年9～12月の定置網による水揚量は100トン程度と推定され、前年(147トン)および過去5年平均(128トン)を下回ると予想されます。

単位(ト) 9～12月の定置網によるアオリイカ水揚量



水揚量(ト) 宇出津港の水温と水揚量の関係



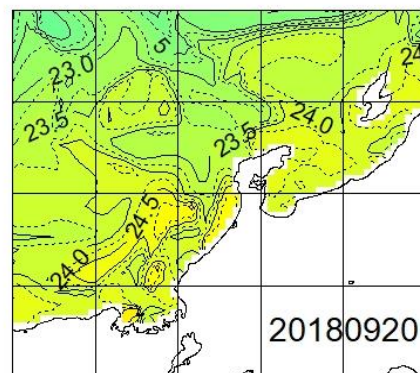
石川県周辺海域の水温（期間:9月16日～20日）

■ **沿岸の海面水温** 9月20日の本県周辺(海岸線より30海里程度)の海面水温は23～24℃台で、過去5年平均との差は-0.5～+0.5℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は24.6～25.4℃で、9月上旬から約0.9℃低下しました。前年同時期との差は-0.4～+1.0℃、過去3年平均との差は-0.6～+1.7℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は25.1～25.9℃で、前年同時期との差は+0.1～+2.1℃、過去3年平均との差は+0.3～+2.0℃でした。

石川県周辺の海面水温



石川県主要港の水揚状況（期間:9月1日～15日）

■ **定置網** サワラ・サゴシ・マイワシ・アカイカは前年を上回り、フクラギ・コゾクラ・カマス・マアジ・サバは前年を下回りました。

■ **まき網** サバ・ウルメイワシ・ブリは前年を上回り、ガンドは前年を下回りました。

■ **底びき網・ごち網** アカムツは前年を上回り、ニギス・ハタハタは前年並み、アマエビ・アカガレイは前年を下回りました。

■ **刺網・釣り・その他** ヤナギバチメは前年並み、サザエ・アマダイは前年を下回りました。

集計期間 9月1日～9月15日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
さわら・さごし	0.0		197.9	31.3	0.0		4.0	233.2	21.9
ふくらぎ・こぞくら	0.2		8.8	9.6	0.4	0.1	22.3	41.5	63.3
まいわし				0.0			15.7	15.7	3.7
あかいか(ケンサキカ)	0.0		12.4	0.9	0.0	0.0	0.1	13.4	5.0
かます	0.0		0.4	0.7	0.0	0.1	8.3	9.4	50.6
まあじ	0.4	0.0	4.0	0.6	0.1	0.6	2.1	7.7	31.8
さば	0.0	0.4	4.6	1.1	0.5		0.0	6.6	39.4
しいら			1.8	0.2	1.1	0.0	1.5	4.6	61.5
あおりいか	0.0		0.9	0.6		0.1	1.4	3.1	7.0
かわはぎ(ウマヅラ)	0.0		1.1	0.1	0.0	0.4	0.7	2.3	3.0
くろばんちよ(メヅナ)			0.0			0.1	1.5	1.7	0.2
まだい			0.3	0.3	0.0	0.0	1.0	1.6	2.4
うるめいわし							1.2	1.2	3.7
その他	0.0	0.0	2.6	1.5	0.0	0.2	6.5	10.8	20.4
合計	0.7	0.4	234.8	46.8	2.2	1.6	66.5	352.9	313.9
まき網									
がんど	—	8.0	118.6	5.2		—	0.1	131.9	381.9
さば	—		64.7	44.6	2.6	—		111.8	91.2
うるめいわし	—		109.8			—		109.8	2.0
ぶり	—	62.9	0.2	0.0		—	1.8	64.9	27.0
その他	—	11.3	2.6	54.0	0.2	—	0.1	68.1	88.7
合計	—	82.2	295.9	103.8	2.8	—	1.9	486.6	590.8
底びき網・ごち網									
にぎす	2.7	9.0	22.1	4.0	2.9		—	40.7	44.8
あまえび	3.8	33.7		0.3	1.3		—	39.1	62.0
はたはた	0.1	0.1		7.7	9.6		—	17.4	15.2
あかがれい	3.3	1.1	2.6	8.8	0.1		—	15.8	24.9
のどぐる(アカムツ)	0.3	0.4	0.0	5.6	0.0		—	6.3	1.8
まだら	0.6	1.0	0.2	4.0	0.1		—	5.9	23.9
くちぼそがれい(マガレイ)	0.2	0.2	0.0	5.4			—	5.7	8.5
めつきだい(キダイ)	1.2	1.1	0.0	3.0			—	5.4	6.3
そうはち	0.9	0.9	0.0	2.9	0.0		—	4.7	6.5
その他	6.1	7.9	3.1	19.6	2.0		—	38.7	68.3
合計	19.1	55.4	28.0	61.3	16.0		—	179.8	262.2
刺網・釣り・その他									
さざえ			0.8	4.5	0.1	0.4	0.3	6.0	22.6
あまだい	0.4	0.2	0.1	1.9	0.1	0.1	0.0	2.8	4.6
あからばちめ(ハツメ)				2.7				2.7	11.1
めつきだい(キダイ)	0.8	0.3	0.1	0.9	0.0	0.1		2.2	4.4
やなぎばちめ(ウスマル)			0.0	1.5	0.0	0.1	0.3	1.9	2.3
まだい	0.0	0.0	0.2	0.5	0.0	0.4	0.1	1.4	2.8
なめらばちめ(キジハ)	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.5	0.4	1.2	1.5
さば	0.0			0.2	0.0	1.0		1.2	0.2
その他	0.5	0.8	1.6	6.8	0.3	3.0	2.7	15.7	77.5
合計	1.7	1.4	2.9	19.1	0.7	5.6	3.8	35.1	127.0
総計	21.4	139.4	561.6	230.9	21.7	7.2	72.2	1054.5	1293.9

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報



412号

2018年10月17日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324

ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>

携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

フクラギの漁況の見通し（予報期間：10月～来年3月）

- 定置網によるブリ0歳魚の水揚量は過去10年平均を下回って推移しています。
- 10月～来年3月の水揚量は468トン程度で、過去10年平均をやや下回ると予想されます。

カマスの漁況の見通し（予報期間：10月～12月）

- 定置網によるカマスの水揚量は前年および過去5年平均を下回って推移しています。
- 10～12月の水揚量は193トン程度で、過去5年平均を下回ると予想されます。

石川県主要港の水揚状況（期間：9月16日～30日）

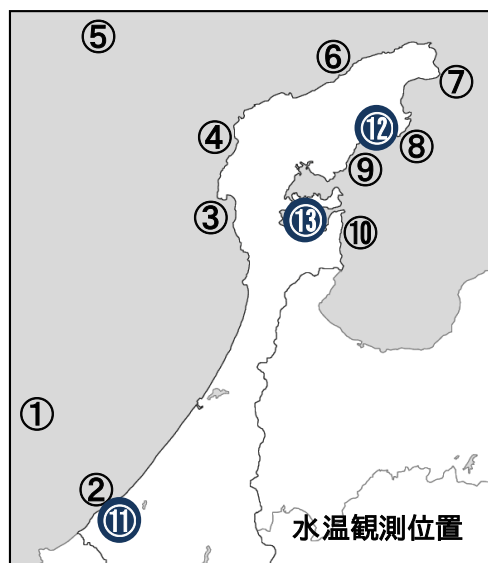
- 定置網では全体的に低調な水揚げでした。

石川県周辺海域の水温（期間：10月5日～9日）

■ **沿岸の海面水温** 10月9日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は23℃台で、過去5年平均との差は±0.0℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は22.8～23.9℃で、9月中旬から約1.9℃低下しました。前年同時期との差は-0.2～+1.1℃、過去3年平均との差は-0.3～+1.1℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は22.9～23.8℃で、前年同時期との差は+0.1～+1.5℃、過去3年平均との差は+0.4～+1.9℃でした。



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 10/5～10/9	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	23.2	+0.2	+0.7
② 橋立沿岸	23.9	+1.1	+1.1
③ 富来沿岸	休止中	データなし	データなし
④ 門前沿岸	23.0	+0.2	+1.0
⑤ 猿山岬沖	休止中	データなし	データなし
⑥ 曾々木沿岸	22.9	+0.3	+0.6
⑦ 小泊沿岸	22.8	-0.1	+0.4
⑧ 小浦沿岸	22.9	-0.2	+0.1
⑨ 鶴川沿岸	休止中	データなし	データなし
⑩ 岸端沿岸	23.0	-0.2	-0.3

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 10/5～10/9	前年差	過去3年 平均差
⑪ 橋立港	23.8	+1.5	+1.9
⑫ 宇出津港	23.2	+0.1	+0.4
⑬ 石崎港	22.9	+1.5	+0.9

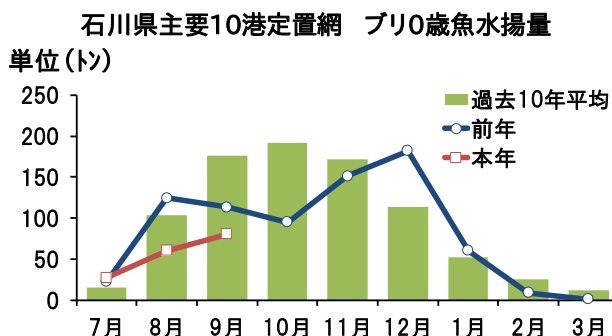
フクラギの漁況の見通し（予報期間:10月～来年3月）

■ 今年生まれたブリの幼魚(0歳魚)は、本県では7月頃からボウス(アオコ)やコゾクラ(ツバス)と呼ばれるサイズで定置網に入網し始め、10月にはフクラギと呼ばれるサイズにまで成長します。今年7～9月の主要10港定置網による水揚量は167トン(速報値)であり、過去10年平均(303トン)を大きく下回っています。

■ 盛漁期(10～11月)は11月における富山

湾の50m深の水温が高いほど好漁に、越冬期(12～3月)は1月における能登半島北西沖の50m深の水温が低いほど好漁になる関係がそれぞれみられます。今期の水温予測値(※)から水揚量を予測したところ、合計468トンと見積もられました。今後のフクラギ漁は本格化していくものの、10月～来年3月のフクラギの水揚量は期間を通して、過去10年平均をやや下回って推移すると予想されます。

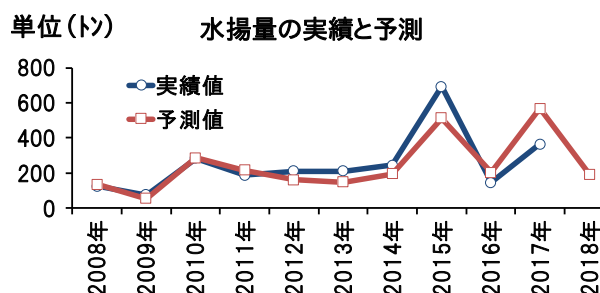
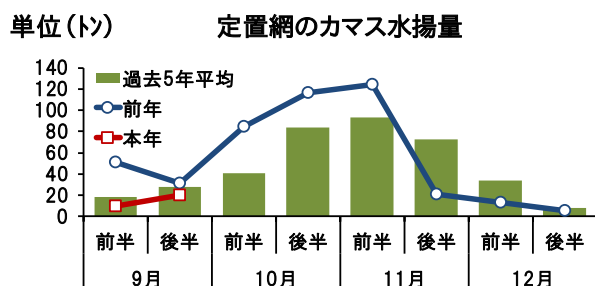
※日本海区水産研究所・拡張版日本海海況予測システム(JADE2)より



カマスの漁況の見通し（予報期間:10月～12月）

■ 石川県の定置網では9月に入ってカマス(アカカマス)の水揚げが徐々に増えてきましたが、9月の水揚量は29トン(速報値)であり、前年(82トン)および過去5年平均(46トン)を下回っています。

■ 8～9月の宇出津港内の水温および9月の水揚量から、10～12月の定置網による水揚量を予測することができます。今期の定置網による水揚量は193トン程度と見積もられ、前年(364トン)および過去5年平均(326トン)を下回ると予想されます。



石川県主要港の水揚状況（期間:9月16日～30日）

■ **定置網** カワハギは前年並み、サワラ・サゴシ・フクラギ・コゾクラ・マアジは前年を下回りました。

■ **まき網** サバ・ブリは前年を上回り、ガンド・フクラギ・コゾクラは前年を下回りました。

■ **底びき網・ごち網** ホッケ・ノドグロは前年を上回り、アマエビ・アンコウは前年並み、ニギス・ハタハタアカガレイは前年を下回りました。

■ **刺網・釣り・その他** アマダイ・メッキダイは前年を上回り、サザエは前年並み、ベニズワイガニ・カワハギは前年を下回りました。

集計期間 9月16日～9月30日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
さわら・さごし	1.2	0.2	154.7	19.5		0.0	1.9	177.5	281.7
ふくらぎ・こぞくら	0.6		6.4	4.7	0.5	0.0	6.6	18.8	62.2
まあじ	0.5	0.4	6.6	3.0	1.2	0.7	1.5	14.0	29.7
さば	0.6	0.0	0.7	7.3	1.7	0.0	0.0	10.3	34.9
しいら	0.0		1.4	4.8	0.5		2.5	9.2	18.2
かます	0.0		0.2	0.3		0.2	6.7	7.4	40.2
かわはぎ(ウヅラ)	0.1		0.5	0.2		0.6	2.3	3.7	3.9
あおりいか	0.0		0.3	0.4		0.2	2.0	3.0	7.1
ひらまさ	0.8		0.4	0.9			0.0	2.1	0.7
あかい(ケンサキ)	0.2	0.0	0.7	0.5		0.0	0.1	1.6	2.7
まいわし			0.1	1.2			0.1	1.3	4.5
うるめいわし							1.1	1.1	1.6
がんど			0.7	0.1		0.0	0.2	1.0	4.2
その他	0.7	0.1	1.0	1.4		0.3	3.2	6.6	23.4
合計	4.7	0.8	173.9	44.3	3.9	1.9	28.3	257.7	515.2
まき網									
がんど	—	27.0	193.3	65.0		—	0.5	285.8	377.2
さば	—		196.8	50.7		—		247.5	140.8
ぶり	—	94.5	0.0	0.0		—	0.0	94.6	24.3
ふくらぎ・こぞくら	—		10.0	26.7		—		36.7	114.9
その他	—	0.7	3.7	27.8		—	0.0	32.2	18.6
合計	—	122.2	403.9	170.2		—	0.5	696.8	675.8
底びき網・ごち網									
あまえび	4.4	41.5		2.4	1.6		—	49.9	49.8
にぎす	3.2	17.6	19.5	0.3	1.2	0.3	—	42.2	59.3
はたはた	0.0	0.1	0.0	0.6	11.1	2.1	—	13.9	19.2
あんこう	2.4	1.6	0.8	2.7	0.0		—	7.6	6.7
あかがれい	1.8	1.7	0.3	3.6	0.1		—	7.4	9.4
ほっけ	0.2	0.1	0.1	4.7	1.5		—	6.5	1.8
のどぐろ(アムツ)	0.9	0.7	0.1	4.3			—	5.9	2.6
くちぼそがれい(マガレ)	0.4	0.3	0.0	4.9	0.0		—	5.5	4.5
めっきだい(クイ)	1.6	0.7	0.0	3.1			—	5.3	6.3
その他	9.9	11.7	2.7	23.8	1.6	0.5	—	50.1	70.2
合計	24.8	75.8	23.6	50.2	17.1	2.9	—	194.4	229.7
刺網・釣り・その他									
さざえ			1.3	16.5	0.1	0.4	0.1	18.3	16.4
べにずわいがに		13.3	0.0	3.0				16.3	35.4
あまだい	0.2	0.1	0.2	4.6	0.2	0.0	0.0	5.4	2.6
めっきだい(クイ)	1.0	0.2	0.2	3.1	0.0	0.1		4.6	3.1
やなぎばちめ(ウスマル)				3.8	0.1	0.0	0.5	4.4	2.3
かわはぎ(ウヅラ)	0.2	0.0	2.2	0.7	0.1	0.1	0.1	3.4	6.7
まだい	0.1	0.0	0.2	1.8	0.1	0.9	0.1	3.1	3.4
あからばちめ(ハツ)				1.9			0.0	2.0	2.7
その他	1.0	1.0	0.8	12.8	0.5	5.1	2.4	23.6	32.5
合計	2.4	14.6	4.8	48.2	1.1	6.7	3.3	81.1	105.2
総計	31.8	213.5	606.2	312.9	22.1	11.5	32.1	1230.1	1525.9

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報



413号

2018年10月31日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324

ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>

携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

調査船白山丸のスルメイカ調査結果（期間：10月11日～17日）

- 日本海中央部では漁獲は振るわなかったものの渡島半島西沖では好漁でした。
- 渡島半島西沖では魚体の大きいスルメイカが多く分布していました。

石川県主要港の水揚状況（期間：10月1日～15日）

- 定置網ではサワラ・サゴシ、まき網ではサバが好調でした。

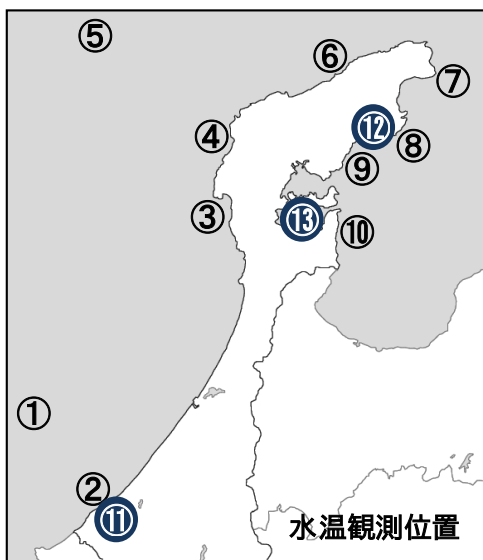
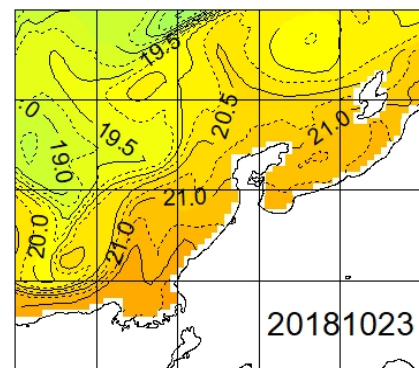
石川県周辺海域の水温（期間：10月19日～23日）

■ **沿岸の海面水温** 10月23日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は20～21℃台で、過去5年平均との差は±0.0～+0.5℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は21.4～22.2℃で、10月上旬から約1.3℃低下しました。前年同時期との差は+0.2～+1.6℃、過去3年平均との差は+0.3～+1.1℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は19.9～21.9℃で、前年同時期との差は+0.4～+2.2℃、過去3年平均との差は+0.1～+1.2℃でした。

石川県周辺の海面水温



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 10/19～10/23	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	21.8	+0.7	+0.6
② 橋立沿岸	22.2	+1.5	+1.1
③ 富来沿岸	22.0	+1.6	+1.1
④ 門前沿岸	21.7	+1.5	+1.1
⑤ 猿山岬沖	休止中	データなし	データなし
⑥ 萱々木沿岸	21.4	+1.1	+0.7
⑦ 小泊沿岸	21.7	+0.2	+0.5
⑧ 小浦沿岸	21.9	+0.3	+0.5
⑨ 鶴川沿岸	休止中	データなし	データなし
⑩ 岸端沿岸	22.0	+0.4	+0.3

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 10/19～10/23	前年差	過去3年 平均差
⑪ 橋立港	21.7	+2.2	+1.2
⑫ 宇出津港	21.9	+0.4	+0.5
⑬ 石崎港	19.9	+1.2	+0.1

調査船白山丸のスルメイカ調査結果（期間:10月11日～17日）

■ 調査船白山丸は10月11日から17日に日本海中央部（大和堆北東付近）から渡島半島西沖の海域でイカ釣り操業を行いました。スルメイカの分布密度の指標であるCPUE（釣機1台1時間当たりの漁獲尾数）は6.1～117.7尾であり、日本海中央部では漁獲は振るいませんでしたが、渡島半島西沖では好漁であり、スルメイカが高密度に分布していました。本調査で漁獲したスルメイカの魚体サイズ（外套長）については、日本海中央部では19.4cm（外套長の平均値）と小さかったものの渡島半島西沖では25.8cmと大きいことがわかりました。

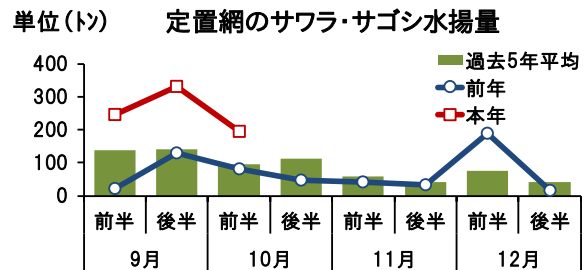
調査船白山丸イカ釣り調査結果

操業日	操業位置	漁獲尾数	CPUE	外套長範囲(主な魚体)	表面水温	50m水温
10月11日	40-21.9N, 136-09.1E	1,972	12.2	13～28cm (19cm)	17.4℃	7.16℃
10月12日	40-14.5N, 135-55.0E	466	6.1	15～24cm (19cm)	18.6℃	10.57℃
10月13日	43-00.9N, 137-40.8E	5,533	117.7	21～31cm (25cm)	16.9℃	3.49℃
10月14日	43-04.0N, 137-37.4E	4,322	32.5	21～30cm (24cm)	17.2℃	4.06℃
10月15日	43-07.5N, 137-47.1E	1,083	7.7	22～29cm (25cm)	17.5℃	5.16℃
10月16日	42-20.5N, 137-21.2E	7,212	84.8	23～29cm (25cm)	16.6℃	8.61℃
10月17日	42-05.6N, 137-19.5E	4,521	58.8	21～30cm (26cm)	16.5℃	8.69℃

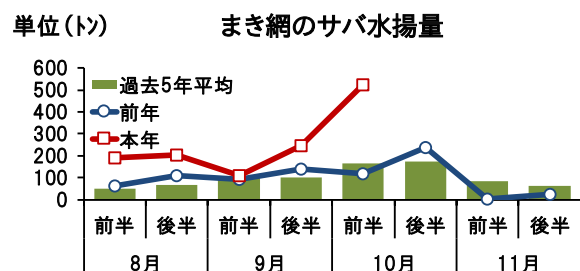
CPUE: 釣機1台1時間当たりの漁獲尾数、主な魚体: 漁獲尾数の多かったイカの外套長

石川県主要港の水揚状況（期間:10月1日～15日）

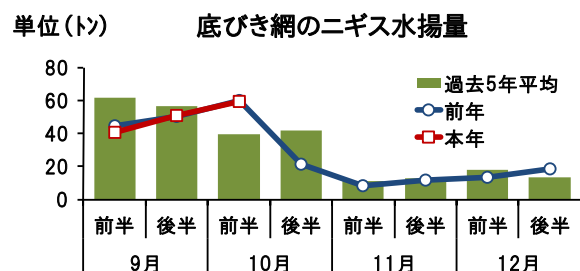
■ **定置網** ソウダガツオ・カワハギは前年を上回り、シイラは前年並み、カマス・フクラギ・コゾクラ・サバは前年を下回りました。サワラ・サゴシは198トン水揚げされました。9月前半から10月前半までの累計は772トンで、前年（231トン）および過去5年平均（375トン）を上回りました。



■ **まき網** ブリ・フクラギ・コゾクラは前年を上回り、ガンドは前年を下回りました。サバは525トン水揚げされました。8月前半から10月前半までの累計は1,277トンで、前年（520トン）および過去5年平均（489トン）を上回りました。



■ **底びき網・ごち網** メッキダイ・アンコウは前年を上回り、アマエビは前年並みでした。ニギスは59トン水揚げされました。9月前半から10月前半までの累計は151トンで、前年（156トン）および過去5年平均（158トン）並みでした。



■ **刺網・釣り・その他** アカラバチメは前年を上回り、メッキダイ・アマダイは前年並み、ベニズワイガニは前年を下回りました。

集計期間 10月1日～10月15日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
さわら・さごし	0.1	0.2	152.9	41.7		0.0	2.8	197.8	81.4
かます	0.0		0.9	2.0	0.3	0.2	23.8	27.2	84.4
ふくらぎ・こそくら	0.1		2.0	7.9	0.0	0.0	12.1	22.1	44.3
まあじ	0.3	1.2	3.3	14.5	0.0	0.6	1.8	21.8	27.7
さば	0.0		0.0	18.3	0.1		0.0	18.5	55.8
そうだがつお			0.0	0.2	0.0	0.0	17.8	18.0	7.1
しいら			0.0	0.6			17.0	17.6	18.4
かわはぎ(ウマヅラ)	0.0		1.8	0.2	0.0	1.0	2.8	5.8	2.0
あおりいか	0.0		0.8	1.2	0.0	0.2	1.2	3.5	8.7
くろばんちよ(メヅナ)			0.1	0.0		0.2	1.1	1.4	0.9
がんど			1.0	0.3		0.0	0.0	1.3	2.3
まだい	0.0		0.6	0.2		0.0	0.1	0.9	2.6
ひらまさ	0.0		0.6	0.3		0.0	0.0	0.9	0.1
その他	0.1	0.0	1.6	1.3	0.1	0.2	2.6	5.8	20.6
合計	0.7	1.5	165.6	88.7	0.5	2.5	83.1	342.7	356.3
まき網									
さば	—	1.8	440.2	82.9		—		524.9	117.2
がんど	—	14.4	110.0	4.6		—	1.8	130.9	230.4
ぶり	—	55.0		8.5		—	1.0	64.4	41.0
ふくらぎ・こそくら	—	13.0	0.2	28.9		—	0.5	42.6	10.1
その他	—	0.6	24.8	56.7		—	0.0	82.1	42.4
合計	—	84.7	575.3	181.6		—	3.4	845.0	441.1
底びき網・ごち網									
にぎす	5.1	24.8	24.5	2.7	0.3	2.0	—	59.4	60.3
あまえび	8.8	38.2	0.0	2.6	2.1		—	51.7	50.0
めつきだい(キタイ)	2.4	1.8	0.0	7.3	0.0		—	11.6	7.1
あんこう	2.4	1.3	0.8	6.2	0.1	0.1	—	10.9	7.8
みずうお(ノケノケ)	0.7	6.6	0.1	0.7	0.3		—	8.3	8.9
すがれい(ムカゲ)	1.3	0.9	0.3	5.0	0.0		—	7.5	7.2
まだら	1.4	2.9	0.3	1.7	0.4		—	6.7	20.1
くちぼそがれい(マガレ)	0.4	0.2	0.0	5.1			—	5.7	6.5
のとえび(トゲザコエビ他)	0.5	3.9	0.2	0.1	0.4		—	5.2	6.6
その他	11.7	10.3	5.5	33.1	5.4	1.7	—	67.7	73.2
合計	34.8	90.9	31.7	64.5	8.9	3.8	—	234.6	247.7
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		19.2	3.6	0.8				23.6	46.7
あからばちめ(ハツメ)		0.0		4.4		0.0		4.4	2.7
めつきだい(キタイ)	1.1	0.7	0.2	1.8	0.0	0.1		3.9	4.6
あまだい	0.6	0.2	0.2	2.3	0.1	0.1	0.0	3.6	4.3
まだい	0.0	0.0	0.2	1.6	0.1	0.5	0.2	2.7	3.4
がんど			2.1	0.5		0.0		2.6	2.7
やなぎばちめ(ウスマル)				2.1	0.0	0.0	0.2	2.4	4.9
かわはぎ(ウマヅラ)	0.2	0.0	0.9	0.5	0.0	0.1	0.5	2.2	6.3
その他	0.5	1.3	0.8	10.0	0.8	6.1	3.5	23.0	26.8
合計	2.4	21.5	8.1	24.0	1.0	7.0	4.4	68.5	102.4
総計	37.9	198.6	780.7	358.8	10.5	13.3	90.9	1490.7	1147.5

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報



414号

2018年11月15日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
 ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
 携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

寒ブリの漁況の見通し（予報期間:11月～来年3月）

- 定置網による寒ブリの水揚量は過去10年平均を上回ると予想されます。

ズワイガニの水揚状況（期間:11月6日～11日）

- 雄ガニの水揚量は過去5年平均並み、雌ガニの水揚量は過去5年平均を下回っています。

石川県主要港の水揚状況（期間:10月16日～31日）

- 定置網ではサワラ・サゴシ、まき網ではサバなどが好調でした。

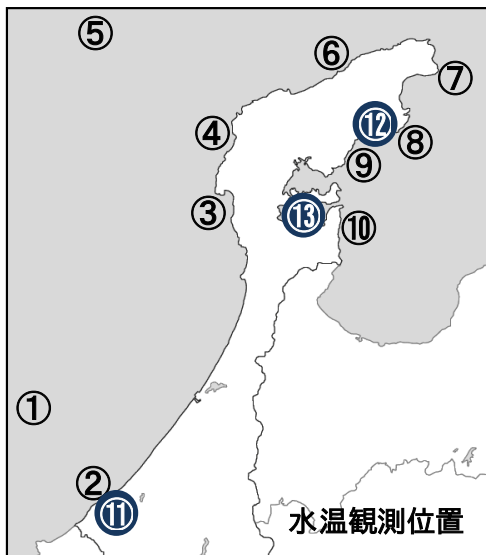
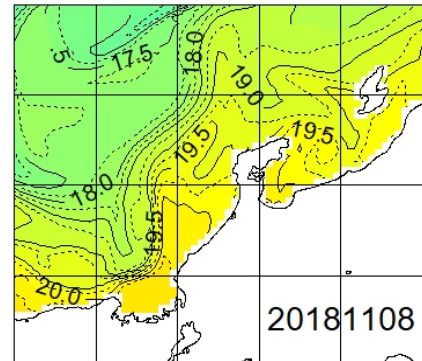
石川県周辺海域の海面水温（期間:11月4日～8日）

■ **沿岸の海面水温** 11月8日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は19℃台で、過去5年平均との差は±0.0～0.5℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は20.0～20.6℃で、10月下旬から約1.5℃低下しました。過去3年平均との差は+0.9～+1.4℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は17.8～20.3℃で、前年同時期との差は-0.9～+1.2℃、過去3年平均との差は+0.2～+1.4℃でした。

石川県周辺の海面水温



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 11/4～11/8	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	20.6	+1.4	+1.1
② 橋立沿岸	20.5	データなし	+1.1
③ 富来沿岸	20.5	+1.8	+1.4
④ 門前沿岸	20.2	+1.5	+1.4
⑤ 猿山岬沖	休止中	データなし	データなし
⑥ 曹々木沿岸	20.0	+1.5	+1.2
⑦ 小泊沿岸	20.2	+1.7	+1.2
⑧ 小浦沿岸	20.3	+1.2	+1.1
⑨ 鶴川沿岸	休止中	データなし	データなし
⑩ 岸端沿岸	20.5	+0.5	+0.9

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 11/4～11/8	前年差	過去3年 平均差
⑪ 橋立港	19.6	+1.2	+1.4
⑫ 宇出津港	20.3	+1.1	+1.1
⑬ 石崎港	17.8	-0.9	+0.2

寒ブリの漁況の見通し（予報期間:11月～来年3月）

■ 本県の寒ブリ漁は11月後半より始まり、12～1月が盛漁期となります。県内主要10港の定置網による寒ブリ(体重4kg以上、11月～翌年3月)の水揚量は、近年、大きく年変動しており、昨年漁期は、平年(過去10年平均)を下回る低調な漁模様となりました。

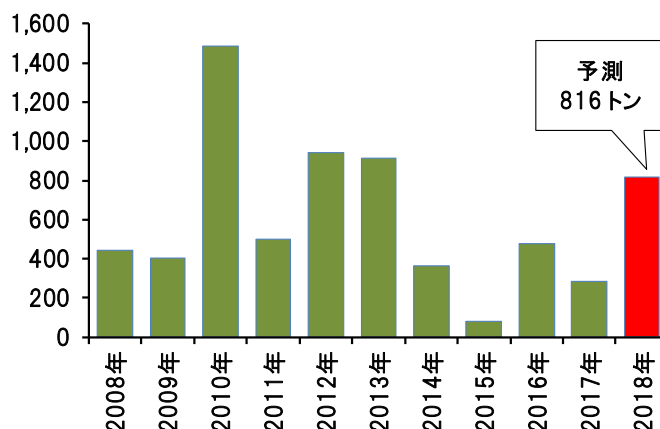
■ 本県の寒ブリの水揚量は北上期(5～6月)の水揚量と南下期の海況(水温)に強く影響されます。北上期の水揚量が多いことに加えて、南下期の水温が富山湾内では高めで、能登半島北西沖では低めとなり、両海域の水温差が大きくなると、豊漁になる傾向があります。

■ 今年の北上期のブリ水揚量は416トンと平年(212トン)を上回り好漁でした。また、今年12月における水温差も平年を上回ると予想されています(※)。

■ これらのデータに基づく関係式から、今期の寒ブリ漁の水揚量は816トンと見積もられました。今後の海況や気象によって変動する可能性はあるものの、今期の水揚量は、平年(588トン)を上回ると予想されます。

※ 日本海区水産研究所・拡張版日本海海況予測システムより

単位(ト) 主要10港定置網による寒ブリ水揚量



ズワイガニの水揚状況（期間:11月6日～11日）

■ 11月6日にズワイガニ漁が解禁されました。かなざわ総合市場と橋立港の11月11日までの水揚量は雄ガニ(加能ガニ):23.3トン、雌ガニ(香箱):38.9トンでした。雄ガニは前年(23.0トン)および過去5年平均(23.1トン)並みでした。雌ガニは前年(42.2トン)をやや下回って過去5年平均(53.8トン)を下回っています。

■ 本県を含む富山県以西の日本海における今漁期のズワイガニ資源量は前年並みと見積もられています。そのため、当該海域において今漁期は大きな漁獲量の落ち込みはないものと考えられます。

石川県主要港の水揚状況（期間:10月16日～31日）

■ **定置網** サバ・サゴシ・サワラ・シイラは前年を上回り、フクラギ・コゾクラ・マアジは前年並み、ソウダガツオ・カマス・アオリイカは前年を下回りました。アオリイカは14トン水揚げされました。9月前半から10月後半までの累計は26トンで、前年(58トン)および過去5年平均(37トン)を下回りました。

■ **まき網** サバ・フクラギ・コゾクラ・マアジは前年を上回り、ブリは前年並みでした。

■ **底びき網・ごち網** アマエビ・アンコウは前年を上回り、ニギスは前年並み、マダラは前年を下回りました。

■ **刺網・釣り・その他** ヤナギバチメ・アマダイは前年を上回り、ベニズワイガニは前年並みでした。

集計期間 10月16日～10月31日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
さば	0.2		0.6	64.8	6.7	3.3	1.0	76.6	41.3
さわら・さごし	2.3	0.3	26.4	21.1	3.2	2.3	16.5	72.2	47.7
しいら				1.0	9.1	4.2	57.6	71.9	35.7
ふくらぎ・こぞくら	0.3		0.3	15.4	0.8	2.8	34.1	53.6	50.4
まあじ	0.6	0.2	5.2	29.8	3.6	3.5	4.4	47.2	47.1
そうだがつお	0.0		0.0	4.5	9.2	2.9	24.7	41.4	67.5
かます	0.2		1.9	0.6	6.6	0.9	15.1	25.3	116.8
あおりいか	0.2		1.7	2.3	1.1	1.4	7.1	13.8	37.6
かわはぎ(ウマヅラ)	0.0		0.1	0.6	0.3	1.3	5.3	7.7	3.7
くろばんちよ(メヅナ)					0.0	0.6	3.5	4.0	5.6
ぶり	0.0		0.1	0.1	0.0	1.0	2.4	3.7	5.6
まだい	0.1		0.4	0.9	0.1	0.1	0.4	2.0	15.2
ひらまさ	0.1		0.2	0.6	0.1	0.1	0.5	1.7	0.2
その他	0.8	0.1	2.2	2.4	1.2	0.8	6.9	14.4	42.8
合計	4.8	0.5	39.2	144.2	42.1	25.1	179.5	435.4	517.0
まき網									
さば	—		330.4	25.7		—		356.1	236.8
ふくらぎ・こぞくら	—	59.2	0.2	68.9		—	0.5	128.8	9.1
ぶり	—	71.2				—	9.9	81.1	86.5
まあじ	—		30.2	30.5		—		60.7	42.1
その他	—	37.1	26.0	3.2		—	2.1	68.3	125.7
合計	—	167.4	386.7	128.2		—	12.6	695.0	500.2
底びき網・ごち網									
あまえび	9.6	24.5		1.5	9.9		—	45.5	30.6
にぎす	1.7	10.1	10.1	0.7	0.4	2.1	—	25.0	21.2
あんこう	1.2	0.4	0.4	4.5	2.3	0.2	—	8.9	3.3
まだら	0.8	2.1	0.0	2.4	0.7		—	6.1	13.4
あかがれい	2.5	2.2	0.1	1.0	0.1		—	6.0	6.1
めっきだい(キダイ)	1.5	0.8	0.0	3.0	0.0		—	5.4	7.9
みずうお(ノカシゲ)	0.6	3.3		0.3	0.6		—	4.7	11.6
すがれい(ムカレイ)	0.3	0.2	0.2	3.3	0.7		—	4.6	2.5
のとえび(トゲザエビ他)	0.3	2.4	0.1	0.0	0.9		—	3.8	4.2
その他	5.5	4.2	1.9	22.5	4.6	0.7	—	39.4	39.6
合計	24.1	50.2	12.8	39.1	20.1	3.0	—	149.4	140.5
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		28.6	10.9	1.7				41.2	44.2
やなぎばちめ(ウスメバル)				10.3	0.1	0.1	0.1	10.5	6.4
まだい	0.1	0.0	0.4	3.3	0.3	0.3	0.3	4.8	4.1
あまだい	0.6	0.1	0.1	2.4	0.2	0.0	0.0	3.5	2.2
あからばちめ(ハツメ)				3.2		0.0		3.2	4.3
めっきだい(キダイ)	0.8	0.2	0.2	2.0	0.0	0.0		3.2	3.2
まだこ		0.0		0.1	0.2	1.0	1.1	2.5	2.6
のどぐろ(アカムツ)			0.0	2.4		0.1	0.0	2.4	1.7
その他	0.6	1.7	2.0	16.9	1.2	6.0	5.6	34.0	43.8
合計	2.0	30.6	13.6	42.3	2.1	7.6	7.2	105.3	112.5
総計	30.8	248.7	452.4	353.9	64.4	35.7	199.2	1385.1	1270.2

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報



415号
2017年12月3日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

ズワイガニの水揚状況（期間：11月6日～25日）

- 水揚量は雄ガニでは過去5年平均並みで、雌ガニでは同平均を下回りました。
- 出漁隻日当たりの水揚量は雄ガニでは過去5年平均をやや上回り、雌ガニでは同平均をやや下回りました。

石川県主要港の水揚状況（期間：11月1日～15日）

- 定置網ではサワラ・サゴシが好調である一方、カマス・アオリイカが低調でした。

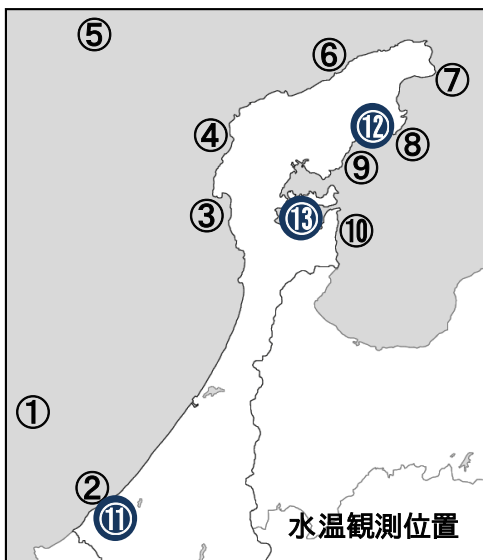
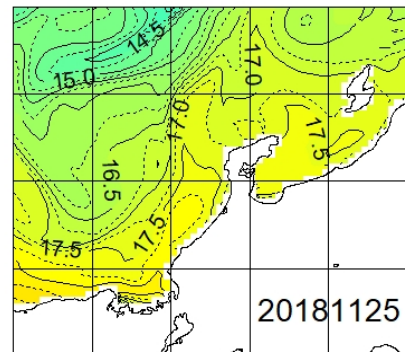
石川県周辺海域の海面水温（期間：11月21日～25日）

■ 沿岸の海面水温 11月25日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は17℃台で、過去5年平均との差は±0.0～+0.5℃程度でした。

■ 沿岸観測ブイの水温 今期の水温は18.2～18.8℃で、11月上旬から約1.8℃低下しました。過去3年平均との差は+0.5～+1.3℃でした。

■ 港内の水温 今期の水温は15.5～18.8℃で、前年同時期との差は+1.4～+2.8℃、過去3年平均との差は+0.8～+1.5℃でした。

石川県周辺の海面水温



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 11/21～11/25	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	18.4	+0.9	+0.5
② 橋立沿岸	18.6	データなし	+1.3
③ 富来沿岸	18.2	+1.9	+1.0
④ 門前沿岸	休止中	データなし	データなし
⑤ 猿山岬沖	休止中	データなし	データなし
⑥ 曾々木沿岸	18.4	データなし	データなし
⑦ 小泊沿岸	18.8	+1.8	+1.2
⑧ 小浦沿岸	18.8	+1.5	+1.0
⑨ 鶴川沿岸	休止中	データなし	データなし
⑩ 岸端沿岸	18.8	+1.4	+1.2

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

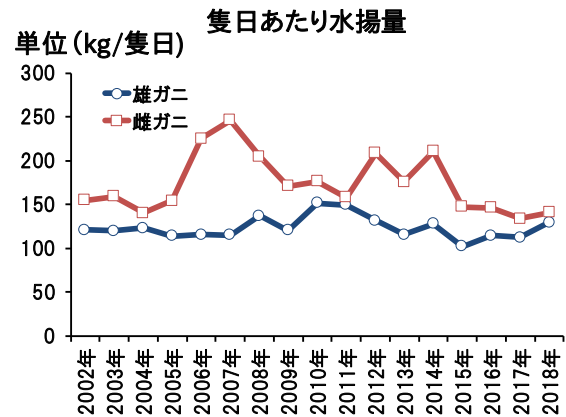
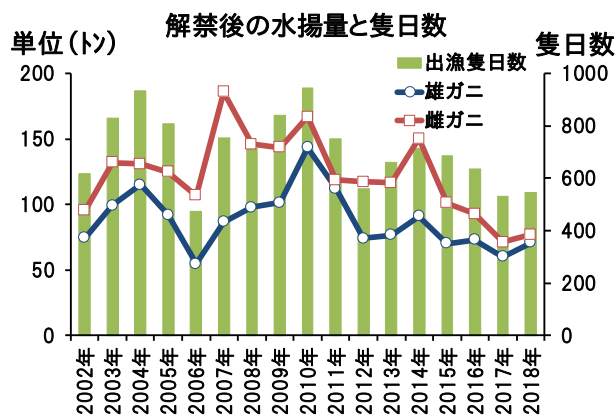
観測位置	5日間平均 11/21～11/25	前年差	過去3年 平均差
⑪ 橋立港	16.9	+1.8	+0.8
⑫ 宇出津港	18.8	+2.8	+1.5
⑬ 石崎港	15.5	+1.4	+0.9

ズワイガニの水揚状況（期間：11月6日～25日）

■ 11月6日にズワイガニ漁が解禁されました。橋立港・金沢港・輪島港・蛸島港の解禁後20日間の水揚量は雄ガニ（加能ガニ）：70.8トン、雌ガニ（香箱）：77.1トンでした。

■ 水揚量の前年同期比は雄ガニ：118%、雌ガニ：108%であり、雄ガニは前年をやや上回り、雌ガニは前年並みでした。同過去5年平均比は雄ガニ：96%、雌ガニ：73%であり、雄ガニは過去5年平均並みで、雌ガニは過去5年平均を下回りました。

■ 出漁隻日当たりの水揚量の前年同期比は雄ガニ：115%、雌ガニ：105%であり、雄ガニは前年をやや上回り、雌ガニは前年並みでした。同過去5年平均比は雄ガニ：113%、雌ガニ：87%であり、雄ガニは前年をやや上回り、雌ガニは前年をやや下回りました。雄ガニに関しては、隻日あたりの水揚量は安定に推移しています。



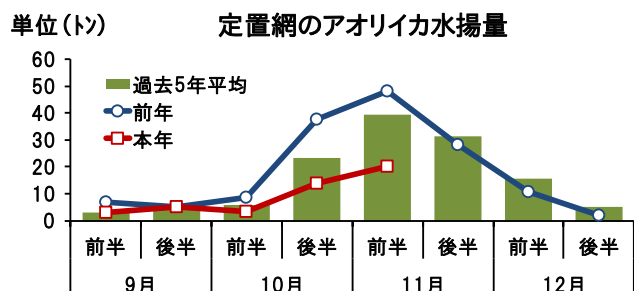
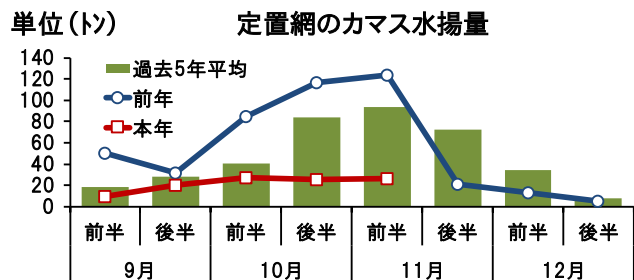
石川県主要港の水揚状況（期間：11月1日～15日）

■ **定置網** サワラ・サゴシ・ブリは前年を上回り、サバは前年並み、マアジ・フクラギ・コゾクラは前年を下回りました。カマスは28トン水揚げされました。9月前半から11月前半までの累計は108トンで、前年（407トン）および過去5年平均（264トン）を下回りました。アオリイカは23トン水揚げされました。9月前半から11月前半までの累計は46トンで、前年（107トン）および過去5年平均（76トン）を下回りました。

■ **まき網** サバ・フクラギ・コゾクラ・マアジ・ガンドは前年を上回りました。

■ **底びき網・ごち網** コウバコ・ズワイガニ・アカガレイ・アマエビ・ニギスは前年並み、マダラは前年を下回りました。

■ **刺網・釣り・その他** ベニズワイガニ・ヤナギバチメ・ガンドは前年を上回り、マダラ・マダコは前年並みでした。



集計期間 11月1日～11月15日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
さわら・さごし	2.2		37.8	27.4	11.0	17.1	21.1	116.6	40.9
さば	0.3		0.2	37.0	36.2	6.6	0.2	80.5	70.3
まあじ	1.3		7.7	15.4	10.3	14.6	7.3	56.6	75.8
ふくらぎ・こそくら	0.0		14.6	16.5	5.5	4.2	5.2	46.1	103.7
ぶり	0.0		1.0	0.8	4.5	21.9	6.9	35.2	22.3
かます	0.2		3.7	1.8	13.4	2.2	6.9	28.2	123.9
あおりいか	0.3		1.4	2.9	2.3	3.2	12.5	22.7	48.2
しいら			0.0	0.1	8.2	2.3	7.4	17.9	49.6
そうだがつお			0.0	0.0	4.6	2.0	7.0	13.7	13.8
かわはぎ(ウヅウ)	0.3		4.9	1.5	0.3	1.5	4.6	13.1	7.8
がんど			8.2	0.7	0.0	0.4	0.1	9.5	6.1
くろばんちよ(メナ)			0.0		0.0	0.4	4.8	5.2	3.0
まだい	0.2		0.5	0.6	0.3	0.7	0.6	2.9	6.2
その他	0.8	0.1	2.2	2.4	1.2	0.8	6.9	14.4	42.8
合計	5.7	0.1	82.3	107.0	97.9	78.0	91.5	462.5	614.4
まき網									
さば	—	0.5	366.3	32.1		—	0.0	398.8	3.0
ふくらぎ・こそくら	—	116.2	69.7	46.6		—	3.3	235.6	25.6
まあじ	—		55.2	45.2		—		100.3	12.3
がんど	—	41.9		0.2		—	0.4	42.4	30.8
その他	—	10.9	21.9	4.6		—	0.4	37.9	13.9
合計	—	169.5	513.0	128.6		—	4.1	815.1	85.6
底びき網・ごち網									
こうばこ(メウカニ♀)	5.7	21.6	1.9	28.4	5.9		—	63.5	58.9
ずわいがに	7.3	17.4	1.7	9.5	6.6		—	42.4	38.4
あかがれい	6.4	6.6	1.3	1.6	0.1		—	16.0	14.6
あまえび	1.2	7.9	0.3	2.1	1.4		—	12.9	10.9
にぎす	0.2	0.5	4.7	0.4	1.0	1.2	—	8.0	8.1
まだら	0.8	1.5	0.2	2.4	0.7		—	5.7	10.4
ばいがい	1.0	1.7	0.2	1.7	0.5		—	5.0	4.5
なめたがれい(ヒレグロ)	0.5	1.4	0.3	1.8	0.4		—	4.4	3.7
あんこう	0.6	0.1	0.1	2.0	0.3	0.1	—	3.1	2.7
その他	2.9	2.7	0.9	11.7	1.2	2.7	—	22.2	30.1
合計	26.6	61.5	11.6	61.5	18.0	3.9	—	183.1	182.4
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		53.2	14.9	1.7				69.8	40.5
まだら				47.8	0.0	0.5	0.1	48.4	45.3
やなぎばちめ(ウスメバル)				10.5		0.0	0.0	10.6	1.6
まだこ	0.0			0.2	0.3	1.3	2.1	4.0	4.2
がんど			0.0	3.3		0.0	0.0	3.4	2.3
めっきだい(キタイ)	1.1	0.1	0.1	1.5	0.1	0.2		3.1	1.7
あまだい	0.7	0.2	0.1	1.9	0.1	0.1		3.0	1.3
まだい	0.1	0.0	0.3	1.6	0.1	0.3	0.5	2.9	2.2
その他	1.1	0.4	1.8	12.4	1.2	2.3	7.5	26.8	19.5
合計	3.0	53.8	17.1	81.1	1.8	4.8	10.3	171.9	118.6
総計	35.3	284.9	624.0	378.2	117.7	86.8	105.9	1632.7	1001.0

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報



416号

2018年12月17日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324

ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>

携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

スルメイカの漁況の見通し（予報期間：来年1月～3月）

- 定置網によるスルメイカの水揚量は315トン程度で、過去5年平均を下回ると予想されます。

石川県主要港の水揚状況（期間：11月16日～30日）

- 定置網のブリは前年および過去5年平均を上回って推移しています。
- 定置網ではサワラ・サゴシ、まき網ではサバ、刺網・釣り・その他ではマダラが好調でした。

水産総合センター・トピックス

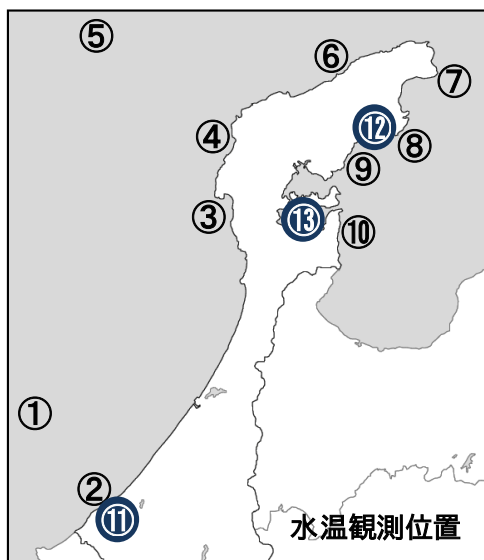
- 「第24回 石川県青年・女性漁業者交流大会を開催しました」
- ソウシハギに注意!!

石川県周辺海域の海面水温（期間：12月2日～6日）

■ **沿岸の海面水温** 12月6日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は16～17℃台であり、過去5年平均との差は+0.5～+1.0℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は17.2～18.1℃で、11月下旬から約0.7℃低下しました。前年同時期との差は+1.1～+1.9℃、過去3年平均との差は+1.1～+1.8℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は13.4～18.1℃で、前年同時期との差は+1.9～+2.9℃、過去3年平均との差は+0.0～+2.2℃でした。



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 12/2～12/6	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	18.1	+1.1	+1.1
② 橋立沿岸	17.7	データなし	+1.2
③ 富来沿岸	17.2	+1.5	+1.1
④ 門前沿岸	休止中	データなし	データなし
⑤ 猿山岬沖	休止中	データなし	データなし
⑥ 萱々木沿岸	休止中	データなし	データなし
⑦ 小泊沿岸	18.0	+1.9	+1.8
⑧ 小浦沿岸	18.1	+1.7	+1.7
⑨ 鶴川沿岸	休止中	データなし	データなし
⑩ 岸端沿岸	18.1	+1.8	+1.7

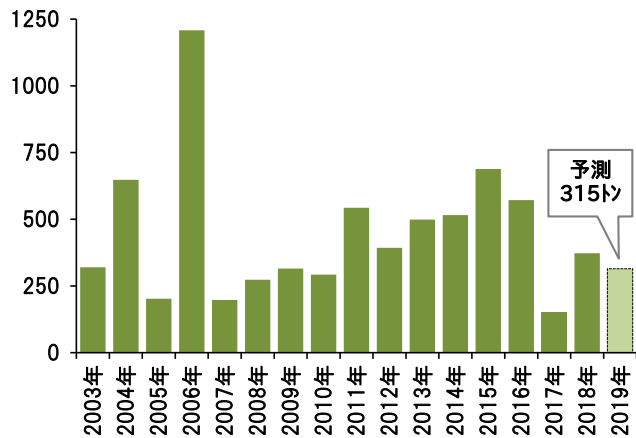
港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 12/2～12/6	前年差	過去3年 平均差
① 橋立港	16.4	+1.9	+1.2
② 宇出津港	18.1	+2.9	+2.2
③ 石崎港	13.4	データなし	+0.0

スルメイカの漁況の見通し（予報期間:来年1月～3月）

■ スルメイカには秋生まれ群と冬生まれ群があり、冬に定置網で漁獲されるスルメイカは主に冬生まれ群です。定置網による水揚量は年変動が大きく、これには海水温が関係しています。過去16年間の1～3月の水揚量と1月の50m深水温の関係を調べたところ、能登半島北沖と秋田県西沖の平均水温が低いほど、水揚量が多い傾向がみられました。また、近年、冬生まれ群の資源量が減少しており、これにともない水揚量も減少する可能性があります。

単位(ト) 1～3月の定置網によるスルメイカ水揚量

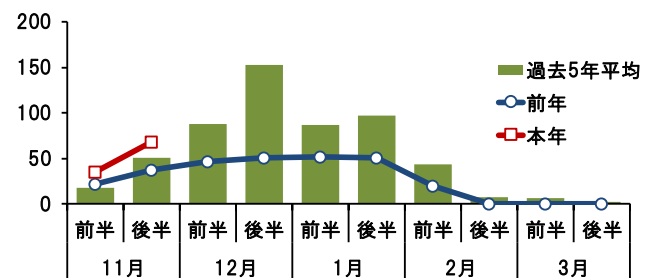


■ 拡張版日本海海況予測システム(日本海区水産研究所)によると、来年1月の能登・秋田県沖の50m深平均水温は過去5年平均並みになると予測されています。しかし、今年の冬生まれ群の資源量は過去5年平均を大きく下回っています。この水温と資源量に基づいて、来年1～3月の定置網による水揚量を予測したところ、315トンと見積もられました。従って、今期の定置網による水揚量は2018年(373トン)および過去5年平均(460トン)を下回ると予想されます。

石川県主要港の水揚状況（期間:11月16日～30日）

■ **定置網** シイラ・サワラ・サゴシは前年を上回り、フクラギ・コゾクラ・アオリイカ・カワハギは前年並み、マアジ・サバ・カマスは前年を下回りました。ブリは68トン水揚げされました。11月の合計は104トンで、前年(59トン)および過去5年平均(78トン)を上回りました。

単位(ト) 定置網のブリ水揚量

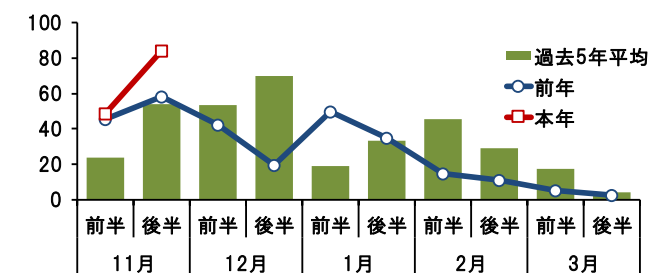


■ **まき網** サバ・フクラギ・コゾクラ・ガンドは前年を上回りました。

■ **底びき網・ごち網** アカガレイ・バイガイは前年を上回り、ズワイガニ・コウバコ・アマエビ・マダラは前年並み、ニギスは前年を下回りました。

■ **刺網・釣り・その他** ベニズワイガニは前年を上回り、マダコは前年並みでした。マダラは84トン水揚げされました。11月の合計は133トンで、前年(104トン)および過去5年平均(89トン)を上回りました。

単位(ト) 刺網・釣り・その他のマダラ水揚量



集計期間 11月16日～11月30日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
ぶり	0.0		0.1	0.1	4.6	48.0	15.5	68.3	37.0
しいら	0.0				4.0	14.6	38.6	57.2	27.0
さわら・さごし	5.4		21.3	0.0	8.3	5.0	7.5	47.5	33.2
ふくらぎ・こそくら	0.1		25.1	0.1	0.7	3.5	9.2	38.7	47.6
まあじ	1.4		3.4	0.2	5.0	15.5	12.1	37.6	50.6
あおりいか	0.2		0.9	0.2	1.8	3.9	22.5	29.6	28.2
そうだがつお			0.0		2.4	6.4	12.7	21.5	23.8
さば	0.7		0.2	0.0	13.2	4.7	1.4	20.2	28.6
かます	0.0		3.1	0.0	3.7	2.1	7.1	16.0	20.9
かわはぎ(ウヅラ)	0.3		3.4	0.0	0.3	1.6	8.3	14.0	11.9
がんど			6.4	0.0	0.0	0.2	0.2	6.8	2.2
ふぐ類	0.0		0.0	0.0	0.3	0.6	5.6	6.5	3.5
くろばんちよ(メナ)					0.0	0.9	5.4	6.4	4.7
その他	0.9		5.3	0.2	1.5	4.0	13.5	25.5	27.6
合計	9.1		69.1	0.9	45.8	111.0	159.8	395.7	346.7
まき網									
さば	—	0.1	219.0	2.8		—		221.9	26.0
ふくらぎ・こそくら	—	36.3	125.3	14.0		—	0.5	176.2	32.2
まあじ	—	0.1	56.7	35.4		—		92.1	
がんど	—	14.7				—	0.4	15.2	9.6
その他	—	5.1	1.9	0.9		—		7.9	68.2
合計	—	56.4	402.8	53.1		—	1.0	513.3	136.0
底びき網・ごち網									
ずわいがに	10.9	19.4	1.4	5.8	7.0		—	44.5	37.5
こうばこ(スワカニ♀)	2.7	6.0	0.5	10.1	3.6		—	22.9	23.2
あかがれい	5.7	7.1	1.0	1.7	0.2		—	15.8	9.1
あまえび	3.2	0.0	0.9	4.2	0.0		—	8.4	7.1
ばいがい	1.2	2.8	0.1	1.7	1.1		—	6.9	4.0
まだら	0.6	1.5	0.4	2.5	0.8	0.1	—	6.0	6.4
なめたがれい(ヒレゴロ)	0.4	1.7	0.3	0.7	0.2		—	3.3	2.1
にぎす	0.0		2.2				—	2.2	11.6
のとなび(トゲザコヒ他)	0.4	0.2	0.0	0.2	0.2	1.2	—	2.2	0.7
その他	5.3	1.3	0.3	1.5	0.6	2.4	—	11.4	8.1
合計	30.4	39.9	7.1	28.4	13.8	3.8	—	123.5	109.8
刺網・釣り・その他									
まだら				83.8	0.0	0.4	0.1	84.3	58.2
べにずわいがに		45.7	9.2	2.2				57.1	38.8
まだこ				0.0	0.5	2.0	1.9	4.4	4.9
がんど			0.0	4.2		0.0	0.0	4.2	2.5
やなぎばちめ(ウスマル)			0.3	3.3		0.0	0.0	3.6	0.3
くろばんちよ(メナ)				0.0	0.0	0.0	3.3	3.3	0.6
さざえ			0.5	0.0	0.5	0.7	0.5	2.2	1.0
まだい	0.0		0.2	1.3	0.0	0.2	0.5	2.2	0.8
その他	1.5	2.0	1.9	9.0	0.9	1.6	6.4	23.3	14.2
合計	1.5	47.7	12.2	103.9	2.0	4.9	12.7	184.8	121.5
総計	41.1	144.0	491.2	186.4	61.6	119.7	173.4	1217.3	714.1

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

第24回 石川県青年・女性漁業者交流大会を開催しました

■ 平成30年12月1日(土)に、石川県水産会館5階大ホールで、石川県青年・女性漁業者交流大会を開催致しました。今回は漁業者活動発表が1課題と、特別講演が2講演あり、集まった約80名の参加者はとても真剣に聞き入っていました。

■ 漁業者活動発表では、石川県漁協穴水支所の齋藤義己(さいとうよしみ)さんから、「帽子屋からカキ養殖へ～1ターン漁師の挑戦～」と題して発表していただきました。平成26年5月に夫婦で東京都内から穴水町に移住された齋藤さんは、穴水町で知り合った親方に指導を受けながら、全く未経験のカキ養殖や刺網等を始め、育てたカキの売り先の開拓が困難なことからカキや自分が獲った魚などを提供するレストランをオープンさせました。レストランでカキを焼くのは珠洲の珪藻土コンロ、お椀は輪島塗を使用するなど、オール能登のこだわりで開いているそうです。それらの取り組みはSNSで情報発信するとともに、新聞・雑誌・TVでも取り上げられています。齋藤さんには来年春に東京で開催される全国青年・女性漁業者交流大会でも活動発表をしていただく予定です。



■ 続いて、能登町立小木小学校の加賀浩先生から、「小木小学校での里海科の活動について」と題して特別講演をしていただきました。小木小学校は、地元の県漁協小木支所・能都支所の漁業者を講師に招いたり、地域の関係機関などの協力を得ながら、全校生徒が海に親しみ、ふるさとに誇りと愛着を持つよう取り組んでおられます。この活動を通して生徒たちの海や漁業への興味関心が高まり、もっと知りたい調べたいという意欲につながっているそうです。

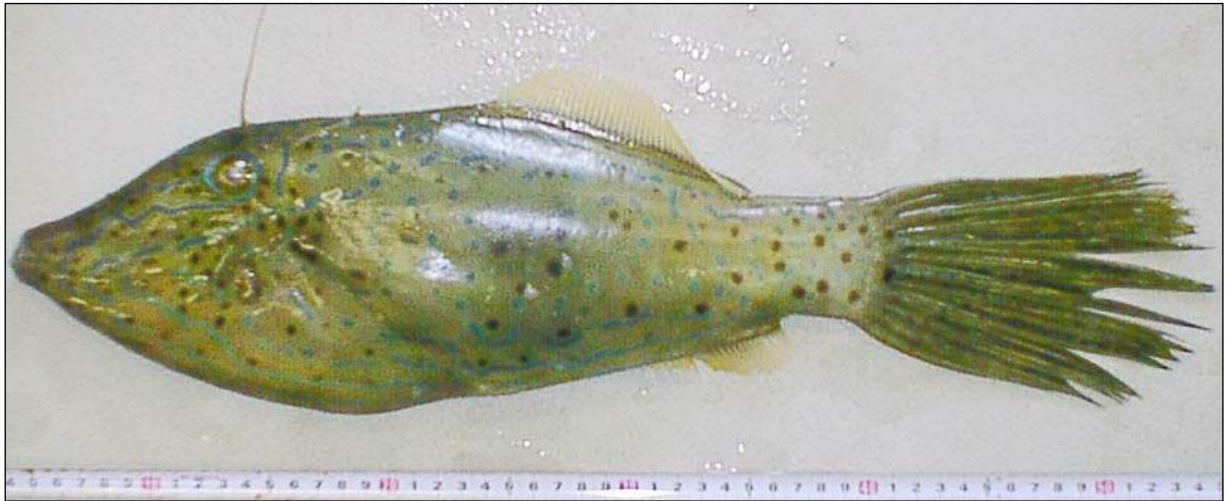


■ 最後に、フードコーディネーターの、しもおきひろこさんから、「お魚料理教室から見えてくるこれからの魚食」と題して特別講演をしていただきました。しもおきさんは最近の家庭での魚食の低迷を受け、石川県漁協やエフエム石川と協力して「親子おさかな料理教室」や「女子力アップおさかな料理教室」などを多数開催し、リピーターも出るなど好評とのこと。子どもは、魚料理では焼き魚が最も苦手なこと、料理の好き嫌いは小学校に入学する頃には決まってしまうなどの事例を紹介され、子どもの頃から魚を食べさせるには、保育園などでのお魚料理教室の開催といった地域ぐるみの連携が重要であることなど、大変興味深い内容のご講演をいただきました。



ソウシハギに注意!!

■ ソウシハギの混獲に注意してください。この魚(写真)は内臓にパリトキシンという強い毒があり、間違っ
て食べると筋肉痛・しびれ・呼吸困難・不整脈などを起こし、死亡に至ることもあります。カワハギ科の魚でウ
マヅラハギやウスバハギに似ていますが、大きく長い尾びれを持ち、体全体に青いまだら模様があるのが特
徴です。今後、県内沿岸で混獲される可能性がありますので、漁業現場ではしっかり選別を行っていただき
出荷しないように注意してください。



石川県漁海況情報



417号
2018年12月28日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

珍しい魚が獲れました！

- 9月13日にギマが、11月19日にアミモンガラが、11月26日にクマサカフグが採集されました。

寒ブリの水揚状況(期間:11月1日~12月15日)

- 定置網による寒ブリの水揚量は前年を上回り、過去5年平均並みでした。

ズワイガニの水揚状況(期間:11月6日~12月15日)

- 雄ガニは前年および過去5年平均並み、雌ガニは前年並みで過去5年平均を下回りました。

石川県主要港の水揚状況(期間:12月1日~15日)

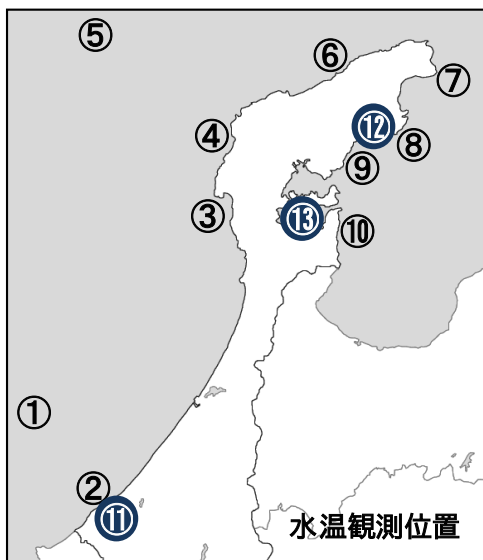
- まき網を除き、全体的に低調な水揚げでした。

石川県周辺海域の海面水温(期間:12月16日~20日)

■ **沿岸の海面水温** 12月20日の本県周辺(海岸線より30海里程度)の海面水温は14~16℃台であり、過去5年平均との差は-0.5~+0.5℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は15.3~16.6℃で、12月上旬から約1.8℃低下しました。前年同時期との差は+0.5~+2.0℃、過去3年平均との差は+0.3~+2.0℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は11.1~16.5℃で、前年同時期との差は-0.8~+3.4℃、過去3年平均との差は-1.0~+2.0℃でした。



沿岸観測ブイの水温(深度10mの値)

観測位置	5日間平均 12/16~12/20	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	16.4	+0.5	+0.3
② 橋立沿岸	15.8	データなし	+1.0
③ 富来沿岸	15.3	+2.0	+2.0
④ 門前沿岸	休止中	データなし	データなし
⑤ 猿山岬沖	休止中	データなし	データなし
⑥ 曾々木沿岸	休止中	データなし	データなし
⑦ 小泊沿岸	16.1	+1.5	+1.1
⑧ 小浦沿岸	16.6	+1.6	+1.2
⑨ 鷯川沿岸	休止中	データなし	データなし
⑩ 岸端沿岸	16.6	+1.4	+1.1

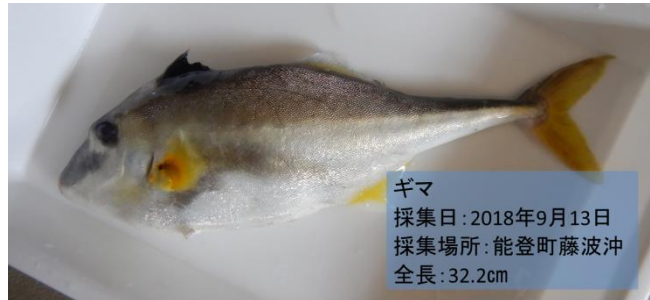
港内の水温(深度1.5m・午前9時の値)

観測位置	5日間平均 12/16~12/20	前年差	過去3年 平均差
① 橋立港	13.9	+1.1	+0.4
② 宇出津港	16.5	+3.4	+2.0
③ 石崎港	11.1	-0.8	-1.0

珍しい魚が獲れました！

■ 今年、石川県で採集された珍しい魚を紹介します。

■ まずは、能登町で採集されたカワハギの仲間である「ギマ」について紹介します。この魚は太平洋側では多く見られますが、日本海側では稀にしか採集されず、水産総合センターでは初の記録となりました。皮膚の粘液が強く、背鰭、腹鰭に3本の強靱な棘があります。加えて群れで生息しているため、太平洋側の定置網では大量入網し、網や漁獲物を傷つける厄介者です。もしどこかで触る機会がありましたら、気を付けて触るようにしてください。



■ 次に、珠洲市で採集されたカワハギの仲間である「アミモンガラ」です。この魚は石川県では過去にも何回か採集されており、見たことがある方もいるかもしれません。ただし今回の採集された個体には一般的なアミモンガラにある特徴的な白斑が見られませんでした。そのため、最初は違う種類と考えましたが、鱗の形状や分布などからアミモンガラとわかりました。なぜ白斑がなかったのかは文献を調べてみましたが結局わかりませんでした。



■ 最後に、能登町で採集された「クマサカフグ」です。この魚も日本海側では稀にしか採集されず、水産総合センターで初の記録となりました。この魚の写真から分かるように、石川県で多く水揚げされる“きんぶく(シロサバフグ)”によく似ています。しかし、胸鰭の下方が白く、上方が黒い、腹部に黒点が点在し、大きな棘があることなどの特徴から容易



に判別できます。さらに、この魚はきんぶくと比べてかなり大きくなることも特徴で、この個体は全長52cmもありました。きんぶくよりも食べごたえがありそうですが、毒性は不明なため、食べないでください。加えて、条例でもこの魚の販売・加工・調理が規制されていますので、捕まえても逃がすようお願いいたします。

■ もし、初めて見た魚、いつもと模様や形が違う魚を発見されましたら、水産総合センターまでご連絡ください。石川県では過去にも新種の魚が見つかっています。もしかしたら新種の第一発見者となれるかもしれません。

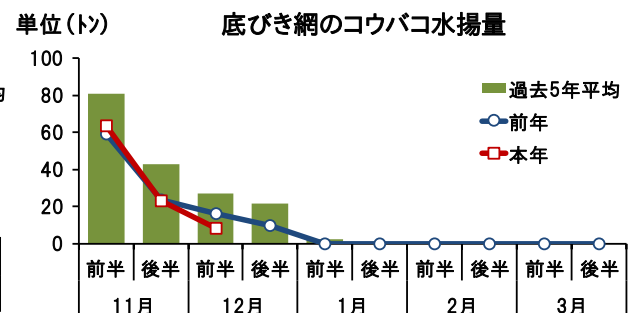
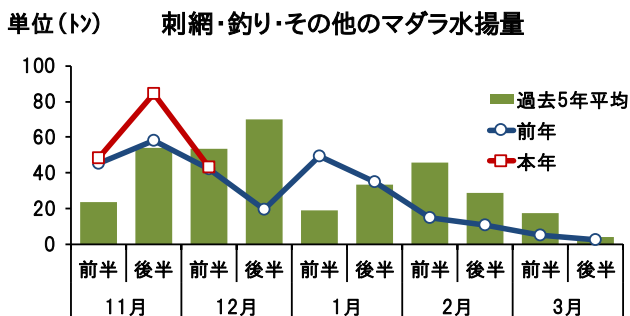
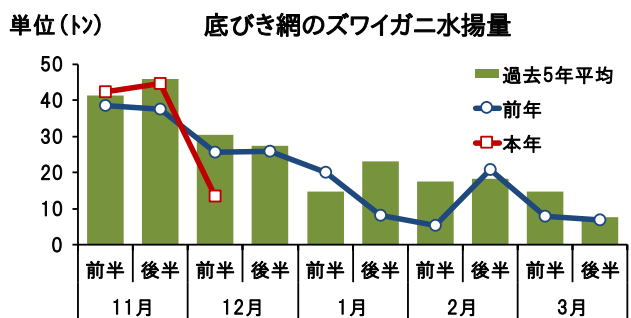
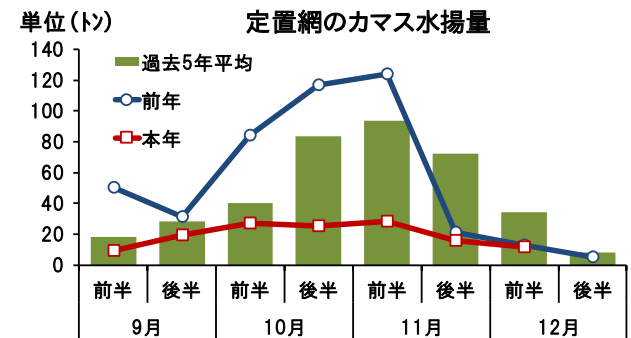
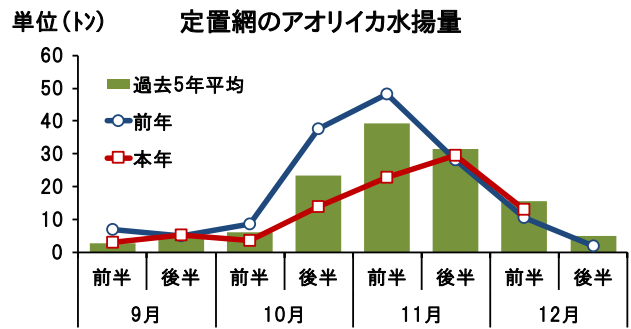
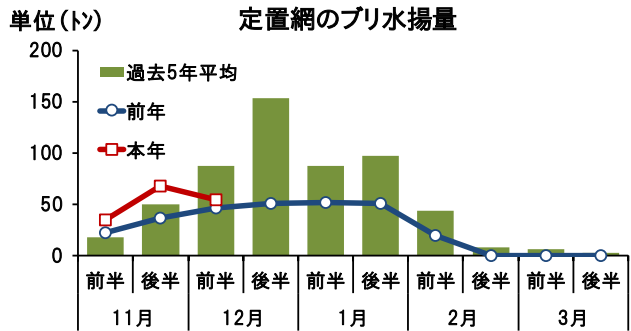
石川県主要港の水揚げ状況（期間:12月1日～15日）

■ **定置網** シイラ・ソウダガツオ・アオリイカ・カワハギは前年を上回り、カマスは前年並み、マアジ・サバ・サゴシ・サワラは前年を下回りました。ブリは宇出津・七尾を中心に65トン水揚げされました。11月前半から12月前半までの累計は158トンで、前年(106トン)を上回り、過去5年平均(157トン)並みでした。アオリイカは宇出津・七尾を中心に19トン水揚げされました。9月前半から12月前半までの累計は91トンで、前年(145トン)および過去5年平均(124トン)を下回りました。カマスは13トン水揚げされました。10月前半から12月前半までの累計は109トンで、前年(359トン)および過去5年平均(324トン)を下回りました。

■ **まき網** フクラギは前年を上回りました。

■ **底びき網・ごち網** アカガレイ・アマエビ・ニギスは前年を下回りました。ズワイガニは13トン、コウバコは8トン水揚げされました。11月前半から12月前半までの累計はズワイガニが100トン、コウバコが94トンで、ズワイガニは前年(102トン)および過去5年平均(113トン)並みで、コウバコは前年(98トン)並みで、過去5年平均(139トン)を下回りました。

■ **刺網・釣り・その他** ベニズワイガニは前年を上回り、マダコは前年並みでした。マダラは輪島を中心に43トン水揚げされました。11月前半から12月前半までの累計は176トンで、前年(146トン)および過去5年平均(131トン)を上回りました。



集計期間 12月1日～12月15日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
しいら					2.0	11.7	65.6	79.3	15.4
そうだがつお					0.4	8.9	56.5	65.7	20.6
ぶり			0.0		0.8	49.6	14.9	65.4	46.5
あおりいか	0.0				0.5	4.1	14.5	19.1	10.5
まあじ	0.0				2.1	4.4	9.0	15.5	44.3
かます					7.0	1.0	5.4	13.4	13.0
かわはぎ(ウマヅラ)					0.1	1.5	11.5	13.1	10.3
さば	0.0				2.8	0.9	8.0	11.6	73.6
さわら・さごし	0.0				2.3	2.3	5.1	9.8	188.5
かたくちいわし						0.1	8.6	8.7	0.0
すずき			0.3		1.0	1.4	4.5	7.2	6.1
ひらまさ			0.1		0.1	1.5	4.9	6.6	0.6
まだい			0.0		0.2	1.8	4.2	6.3	3.6
その他			1.4		1.1	5.2	28.4	36.0	144.7
合計	0.0		1.9		20.4	94.2	241.2	357.8	577.7
まき網									
ふくらぎ・こそくら	—	32.4	155.3			—	3.1	190.8	1.3
さば	—	1.9	11.4			—	0.4	13.7	
がんど	—	6.9	0.0			—	0.7	7.6	0.3
まだい	—	6.2	0.0			—	0.0	6.2	
その他	—	0.8	1.2			—	0.4	2.4	171.5
合計	—	48.2	167.9			—	4.6	220.7	173.1
底びき網・ごち網									
ずわいがに	1.6	4.1	1.7	2.7	3.3		—	13.4	25.6
こうばこ(スワカニ♀)	0.4	3.3	0.0	2.6	1.7		—	8.0	16.2
あかがれい	2.3	2.0	0.2	0.4	0.1		—	4.9	7.8
あまえび	2.2	0.4	0.0	1.1	0.0		—	3.7	7.8
にぎす			1.6			1.6	—	3.2	13.7
まだら	0.1	0.3	0.4	1.6	0.5		—	2.9	9.4
ばいがい	0.4	0.9	0.1	0.7	0.3		—	2.4	3.5
のとえび(トゲザコI他)	0.1	0.4	0.0	0.1	0.1		—	0.7	0.8
なめたがれい(ヒレグロ)	0.1	0.3	0.0	0.2	0.0		—	0.6	1.6
その他	1.0	0.8	0.1	0.4	0.2	1.3	—	3.8	6.2
合計	8.4	12.5	4.1	9.7	6.1	2.8	—	43.6	92.6
刺網・釣り・その他									
まだら				42.6	0.0	0.3	0.3	43.3	42.2
べにずわいがに		20.3	7.0	0.6				27.9	16.7
まだこ				0.0	0.3	1.9	1.6	3.9	3.7
さざえ			0.1	0.1	0.5	0.5	0.4	1.6	0.7
まあじ			0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.6	0.2
がんど			0.1	0.9	0.0	0.0	0.0	1.0	0.8
くろばんちよ(メヅナ)						0.0	0.9	0.9	0.4
すずき	0.0		0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	0.7	0.5
その他	0.2	0.3	1.1	2.7	0.7	2.8	4.8	12.5	14.7
合計	0.2	20.6	8.5	47.1	1.7	5.7	9.7	93.5	79.8
総計	8.6	81.3	182.4	56.8	28.2	102.7	255.5	715.6	923.2

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報



418号
2019年1月16日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

スルメイカ稚仔調査の結果(期間:2018年10月~11月)

- 今年春以降に漁獲対象に成長するスルメイカ稚仔の発生量は極めて低水準でした。

地先水温のまとめ(期間:2018年1月~12月)

- 昨年の橋立港・志賀町地先・宇出津新港・石崎港の水温は「平年並み」~「やや高め」でした。

石川県主要港の水揚状況(期間:12月16日~31日)

- 定置網ではカタクチイワシ・ブリ・シイラなどが好調でした。

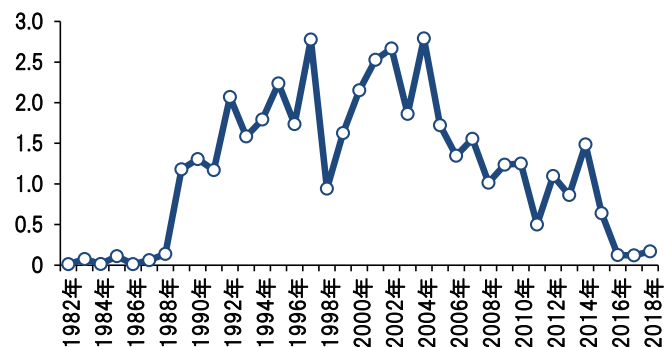
水産総合センタートピックス

- 「水産総合センター公開セミナーを開催します」「県政出前講座」

スルメイカ稚仔調査の結果(期間:2018年10月~11月)

■ 日本海に分布するスルメイカは主に秋頃に生まれ、翌年の春以降に漁獲されます。水産研究教育機構・日本海区水産研究所は孵化直後のスルメイカ稚仔(外套長1~3mm程度)の分布状況を調べるため、毎年秋に山陰から九州北西部の沿岸でプランクトンネットによる採集調査を行っており、昨年10月から11月には合計79点で調査が行われました。

単位(尾/網) 調査点当たり稚仔採集個体数



■ 調査点当たりの稚仔採集個体数は0.17尾と前年(0.12尾)並みに少なく、過去5年平均(0.65尾)を大きく下回りました。採集個体数は1989年以降で3番目に少なく、資源が少なかった1980年代の水準にまで低下していることから、今年春以降の漁への影響が懸念されます。

地先水温のまとめ(期間:2018年1月~12月)

■ 加賀市橋立港、志賀町赤住地先、能登町宇出津港、七尾市石崎港の昨年の月別平均水温と平年差は以下のとおりでした。水温の高低はその発生頻度で評価しており、2年に1回程度のを「平年並み」、4年に1回程度のを「やや~」、10年に1回程度のを「かなり~」としています。

■ **冬季(1~3月)** 全体の平均水温は9.88℃、平年差は-0.20℃であり、「平年並み」でした。外浦側では「平年並み」、内浦側では「やや低め」~「平年並み」となりました。

■ **春季(4~6月)** 全体の平均水温は16.77℃、平年差は+0.32℃であり、「平年並み」でした。外浦側では「平年並み」~「やや高め」、内浦側では「平年並み」でした。

■ **夏季(7~9月)** 全体の平均水温は26.22℃、平年差は+0.60℃であり、「平年並み」でした。7月には記録的な高温だったこともあり、7月の水温は全域でかなり高めとなりましたが、8~9月には平年並みの水準に戻りました。

■ **秋季(10~12月)** 全体の平均水温は18.00℃、平年差は+0.88℃であり、「やや高め」でした。11~12月には気温が高めだったこともあり、水温も高めに推移しました。

2018年の地先水温と平年差

	橋立港 (℃)			志賀町地先 (℃)			宇出津新港 (℃)			石崎港 (℃)		
	平年値	2018年	平年差	平年値	2018年	平年差	平年値	2018年	平年差	平年値	2018年	平年差
1月	10.8	10.9	0.10	10.5	10.5	0.01	12.3	11.3	-0.98	8.7	9.0	0.37
2月	9.8	9.6	-0.21	9.3	8.3	-0.98	10.7	9.6	-1.06	8.4	8.1	-0.24
3月	10.6	10.9	0.29	9.9	9.9	0.02	10.3	10.2	-0.05	9.8	10.1	0.28
4月	13.1	14.2	1.16	12.1	12.9	0.75	11.7	12.0	0.30	13.2	13.4	0.16
5月	16.9	17.7	0.79	15.8	16.6	0.72	15.4	15.6	0.21	17.2	16.8	-0.42
6月	20.7	21.2	0.52	19.6	19.4	-0.18	19.8	19.8	0.01	21.9	21.7	-0.17
7月	25.0	26.8	1.80	23.9	25.7	1.74	23.6	25.2	1.59	25.1	27.4	2.25
8月	27.5	27.5	0.06	26.5	25.7	-0.72	27.0	26.7	-0.28	28.4	29.2	0.73
9月	25.1	25.7	0.62	24.3	24.8	0.41	25.4	25.0	-0.48	25.6	25.1	-0.51
10月	21.1	22.4	1.35	20.6	21.1	0.49	21.9	22.3	0.45	20.8	21.3	0.50
11月	17.1	18.5	1.35	16.8	17.2	0.40	18.4	19.5	1.16	15.5	16.8	1.33
12月	13.5	14.5	0.98	13.3	13.9	0.64	15.1	16.7	1.59	11.3	11.7	0.36

平年値：過去30年の平均水温(志賀町については過去28年の平均水温)

石川県周辺海域の海面水温 (期間:1月4日~8日)

■ **沿岸の海面水温** 1月8日の本県周辺(海岸線より30海里程度)の海面水温は14℃台であり、過去5年平均との差は±0.0~+1.0℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は14.5~14.7℃で、12月下旬から約1.8℃低下しました。前年同時期との差は+0.5~+1.4℃、過去3年平均との差は+0.3~+0.7℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は10.9~14.6℃で、前年同時期との差は+0.8~+2.7℃、過去3年平均との差は-0.5~+1.2℃でした。

石川県主要港の水揚げ状況 (期間:12月16日~31日)

■ **定置網** カタクチイワシ・ブリ・シイラ・サバ・サワラ・サゴシは前年を上回り、フクラギ・コゾクラ・カワハギ・マアジは前年を下回りました。

■ **まき網** フクラギ・コゾクラは前年を上回り、ブリは前年を下回りました。

■ **底びき網・ごち網** アマエビは前年を上回り、ズワイガニ・ニギス・コウバコは前年並みでした。

■ **刺網・釣り・その他** マダラ・ベニズワイガニは前年を上回りました。

集計期間 12月16日～12月31日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
かたくちいわし					0.1	2.5	275.8	278.4	34.7
ぶり			0.0		0.3	70.4	21.4	92.1	51.3
しいら					0.1	22.4	53.3	75.9	0.2
さば					1.0	18.7	27.3	47.0	17.8
ふくらぎ・こそくら			0.1		0.7	0.8	28.3	29.9	66.7
さわら・さごし					0.4	10.6	13.7	24.7	15.1
そうだがつお					0.6	5.0	15.7	21.3	5.4
かわはぎ(ウヅラ)			0.0		0.3	3.4	16.3	20.0	44.4
まあじ			0.0		0.9	6.0	9.8	16.7	25.2
あおりいか					0.2	5.8	5.1	11.1	1.8
すずき			0.9		1.3	3.0	3.8	9.1	16.6
ひらまさ			0.0		0.0	2.2	4.5	6.7	1.4
まだい			0.0		0.5	3.1	3.0	6.6	4.0
めじ(クマガロ)					0.0	3.9	2.5	6.4	0.0
その他			0.1		1.2	10.0	23.3	34.7	70.9
合計			1.1		6.6	157.9	480.4	645.9	284.6
まき網									
ふくらぎ・こそくら	—	134.9	0.0			—	3.7	138.5	13.6
ぶり	—	6.3				—		6.3	185.5
その他	—	0.0				—		0.0	28.7
合計	—	141.1	0.0			—	3.7	144.8	227.8
底びき網・ごち網									
ずわいがに	4.7	9.2	2.0	6.0	5.3		—	27.1	25.8
あまえび	0.2	2.6	12.0	2.6	0.0		—	17.3	10.3
にぎす	0.0	5.4	10.4				—	15.7	18.5
こうばこ(スヅカニ♀)	1.1	3.5	0.2	3.5	2.0		—	10.3	9.9
あかがれい	4.1	2.5	0.7	1.3	0.3		—	8.9	7.2
まだら	0.2	0.4	0.3	5.4	0.7		—	7.1	3.2
ばいがい	0.7	2.1	0.2	1.3	0.9		—	5.2	3.3
のとえび(トゲザコ他)	0.2	0.7	2.1	0.1	0.2		—	3.3	3.7
なめたがれい(ヒレグロ)	0.3	0.4	0.2	1.0	0.1		—	2.1	0.8
あんこう	0.5	0.1	0.0	0.2	0.0		—	0.8	0.3
その他	1.9	1.0	0.6	1.7	0.4	2.4	—	7.9	7.5
合計	12.0	26.8	28.1	21.4	9.5		—	97.8	82.9
刺網・釣り・その他									
まだら		0.2		81.2	0.1	0.7	0.6	82.7	19.4
べにずわいがに		34.8	16.3					51.1	25.8
がんど			0.1	7.6	0.0	0.0		7.7	0.6
まだこ				0.1	0.3	2.3	1.9	4.6	3.3
なまこ					0.5	1.0	1.6	3.1	2.9
ふぐ類			0.9	1.1		0.0	0.1	2.1	1.6
さば			0.1	0.2	0.0	0.0	1.2	1.6	3.1
さざえ			0.1	0.0	0.2	0.7	0.4	1.4	0.9
その他	0.2	0.2	1.2	4.6	0.7	5.2	6.6	18.6	12.1
合計	0.2	35.2	18.7	94.8	1.8	9.9	12.4	172.9	69.8
総計	12.2	203.2	47.8	116.2	17.9	167.8	496.5	1061.5	665.1

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

水産総合センター公開セミナーを開催します

■ センターでは、広く県民のみなさまに、日頃の研究成果や活動内容等を知っていただくために、昨年度から公開セミナーを開催しています。

■ 今年度は、次の内容で開催しますのでお知らせします。ご参加、お待ちしております。

- 1 開催日時 平成31年2月16日(土)13時30分から16時00分まで
- 2 開催場所 金沢みなと会館(金沢市無量寺町り部80)
- 3 定員・参加費 70名(事前の申し込みが必要、定員に達し次第締め切り)・無料
- 4 内容

(1)講演(水産総合センター職員)

- ① いしかわの魚の移り変わり(海洋資源部 原田浩太郎)
- ② 誕生 石川の新たな特産品「能登とり貝」(生産部 海田 潤)
- ③ 能登の伝統的な発酵食品「いしる」の魅力(技術開発部 小谷美幸)
- ④ アユは海からやってくる、遡上量予測の試み(内水面水産センター 増田泰隆)

(2)特別講演

健康へのパスポート 石川の魚(宮城大学 西川正純 教授(羽咋市出身))

5 申込方法

参加の場合は電子メールまたはファックス(申込書:センターHPより)により、住所、氏名、職業、連絡先(電話番号またはメールアドレス)を記載のうえ、お申し込みください。

※ 申 込 先:石川県水産総合センター 企画普及部 あて

FAX:0768-62-4324 メール:suisansougou@pref.ishikawa.lg.jp

申込期間:1月16日(水)から2月13日(水)まで

県政出前講座

■ 県庁県民交流課広報広聴室では、県が行っている事業や取り組みについて担当職員が出向いて説明する「県政出前講座」を実施しています。

■ 水産関係では、四季折々に漁獲される魚介類を説明する「石川の四季のさかな」、いしるなど伝統的な発酵食品を説明する「いしかわの水産発酵食品」、アユ、ヤマメなど淡水魚の生態等について説明する「身近な川や池の魚たち」、栽培漁業について説明する「つくり育てる漁業」の4つの講座をセンターが担当しています。

■ 今年度も「石川の四季のさかな」が2回、「いしかわの水産発酵食品」が1回、「身近な川や池の魚たち」が1回開催されています。公民館、子供会など地域の団体が申し込まれています。

■ 皆さんのところでもいかがでしょうか。出前講座の一覧や申し込み等については石川県庁ホームページ(<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kenmin/demae/index.html>)からどうぞ。なお、水産に関してはセンター(企画普及部)に相談されても結構です。



出前講座の開催状況(2018.12.19)

石川県漁海況情報



419号
2019年1月30日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

定置網の年間水揚状況のまとめ（期間:2018年1月～12月）

- 昨年の水揚重量は前年・過去10年平均を上回り、水揚金額は過去10年平均並みでした。
- 産地価格指数は前年を上回り、過去10年平均並みでした。

石川県主要港の水揚状況（期間:1月1日～15日）

- 定置網ではカタクチイワシ、まき網ではサバが好調でした。

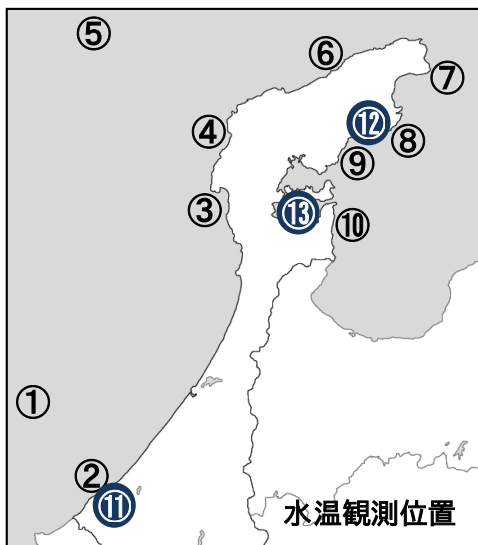
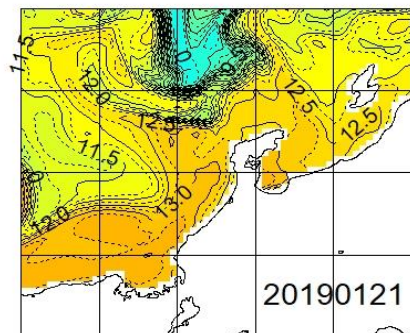
石川県周辺海域の水温（期間:1月17日～21日）

■ **沿岸の海面水温** 1月21日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は12～13℃台で、過去5年平均との差は-0.5～+0.5℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は13.3～13.9℃で、1月上旬から約1.0℃低下しました。前年同時期との差は+0.6～+1.5℃、過去3年平均との差は+0.6～+1.0℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は10.5～13.5℃で、前年同時期との差は-0.4～+1.7℃、過去3年平均との差は+0.1～+1.2℃でした。

石川県周辺の海面水温



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 1/17～1/21	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	13.7	+0.6	+0.6
② 橋立沿岸	休止中	データなし	データなし
③ 富来沿岸	休止中	データなし	データなし
④ 門前沿岸	休止中	データなし	データなし
⑤ 猿山岬沖	休止中	データなし	データなし
⑥ 曾々木沿岸	休止中	データなし	データなし
⑦ 小泊沿岸	13.3	+1.0	+0.7
⑧ 小浦沿岸	13.6	+1.3	+0.8
⑨ 鶴川沿岸	13.5	+1.2	+0.7
⑩ 岸端沿岸	13.9	+1.5	+1.0

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 1/17～1/21	前年差	過去3年 平均差
⑪ 橋立港	11.3	-0.4	+0.1
⑫ 宇出津港	13.5	+1.7	+1.0
⑬ 石崎港	10.5	+0.4	+1.2

定置網の年間水揚状況のまとめ（期間：2018年1月～12月）

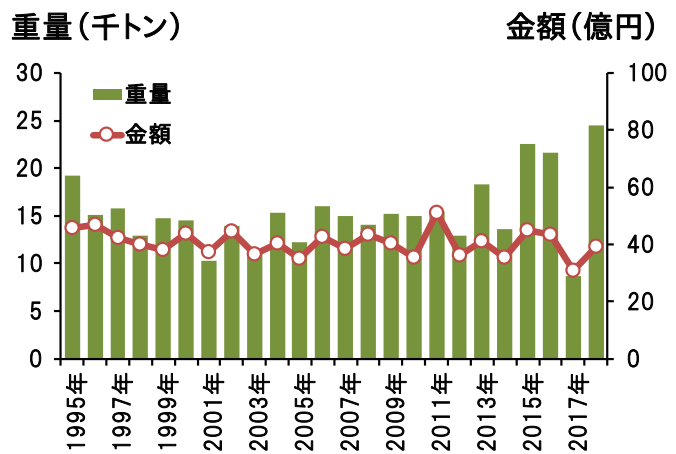
■ 2018年の県内主要港（橋立港・金沢港・富来港・輪島港・蛸島港・鶴飼港・松波港・宇出津港・七尾地区）の定置網による水揚げの概要は以下のとおりです。

■ **水揚重量** 2018年の水揚重量は24,443トンであり、前年（8,721トン）の180%、過去10年平均（15,757トン）の155%でした。マアジ・フクラギ・コゾクラ・スルメイカ等が少なかったものの、マイワシの水揚重量が15,912トンと前年（56トン）および過去10年平均（2,496トン）に比べて特に多く、総水揚重量は1995年以降最高となりました。

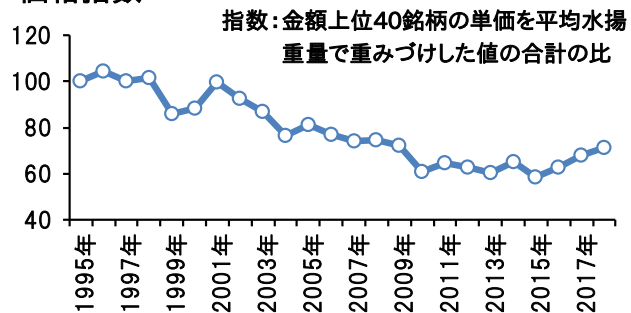
■ **水揚金額** 2018年の水揚金額は39.1億円であり、前年（30.7億円）の127%、過去10年平均（40.2億円）の97%でした。総水揚重量は大幅に増加したものの、マイワシの単価が低下したため、総水揚金額の増加は前年の3割程度にとどまりました。

■ **産地価格** 水揚金額の多い上位40魚種について、1995年を100とする産地価格指数を計算したところ、2018年の指数は71.4で、前年（67.7）および過去10年平均（64.9）を上回りました。サワラ・サゴシ・サバなどの単価が低下したものの、水揚重量の多いブリ・マアジなどの単価が上昇したことが、価格指数の上昇に影響しました。産地価格指数は2015年から3年続けての上昇となりました。

定置網の水揚重量・金額・価格指数



価格指数



石川県主要港の水揚状況（期間：1月1日～15日）

■ **定置網** カタクチイワシ・ソウダガツオ・サバは前年を上回り、マアジ・フクラギは前年並み、スズキ・カワハギ・スルメイカは前年を下回りました。ブリは66トン水揚げされました。11月前半から1月前半の累計は334トンで、前年（209トン）を上回り、過去5年平均（318トン）並みでした。

■ **まき網** サバ主体の水揚げで、前年を上回りました。

■ **底びき網・ごち網** アマエビ・ニギスは前年を上回りました。ズワイガニは9トン水揚げされました。11月前半から1月前半の累計は137トンで、前年（147トン）および過去5年平均（154トン）並みでした。

■ **刺網・釣り・その他** ベニズワイガニ・ナマコは前年を上回りました。マダラは3トン水揚げされました。11月前半から1月前半の累計は262トンで、前年（215トン）を上回り、過去5年平均（234トン）並みでした。

集計期間 1月1日～1月15日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
かたくちいわし					0.5	1.2	141.3	143.1	0.0
ぶり			0.0		8.7	41.4	16.0	66.2	52.3
そうだがつお					9.9	9.8	27.0	46.7	0.3
さば					7.3	4.4	14.7	26.4	18.4
まあじ					4.1	2.9	16.1	23.2	21.1
ふくらぎ・こそくら			0.0		1.1	2.3	12.9	16.3	17.1
すずき			0.8		1.0	3.0	10.3	15.2	25.4
かわはぎ(ウマグウ)					0.4	2.5	6.9	9.8	135.2
するめいか					0.3	0.8	8.1	9.3	34.2
さわら・さごし					3.2	2.1	2.4	7.7	4.1
うるめいわし					0.2	2.3	4.4	6.9	5.1
ひらまさ			0.1		0.1	1.6	4.8	6.5	0.3
まだい			0.0		1.0	2.0	3.5	6.5	1.6
その他			0.3		4.8	9.8	22.7	37.5	15.7
合計			1.2		42.6	86.3	291.2	421.3	330.8
まき網									
さば	—				238.4	—	206.6	445.0	
まあじ	—				15.0	—	7.0	22.0	
さわら・さごし	—				1.4	—		1.4	
するめいか	—				1.1	—	0.1	1.2	
その他	—				0.8	—	0.8	1.6	150.4
合計	—				256.7	—	214.5	471.2	150.4
底びき網・ごち網									
あまえび	2.0	13.2	40.3	0.9			—	56.5	40.0
にぎす	0.0	3.6	17.8	0.0			—	21.4	3.7
あかがれい	10.9	7.1	1.4	0.3			—	19.6	25.5
ずわいがに	1.5	4.4	1.0	0.6	1.6		—	9.2	20.1
まだら	1.0	1.8	0.6	1.3	0.0		—	4.7	11.2
のとなび(トゲザコビ他)	0.2	0.9	2.0	0.0			—	3.1	3.0
みずうお(ノゲン)	0.6	0.7	0.8	0.0			—	2.2	2.3
ばいがい	0.8	1.1	0.1	0.1			—	2.1	3.3
そうはち	0.6	1.0					—	1.6	1.6
その他	2.2	3.3	2.0	0.9	0.6	0.4	—	9.5	11.2
合計	19.7	37.0	66.1	4.2	2.2	0.4	—	129.8	121.9
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		39.9						39.9	14.5
なまこ			0.0		0.8	3.4	1.2	5.5	2.0
まだこ				0.1	0.2	2.3	1.8	4.3	3.2
まだら		0.1	0.4	0.0	0.1	1.3	1.2	3.2	49.5
あまえび			2.8				0.0	2.8	2.1
ふぐ類			1.7	0.0		0.0	0.0	1.7	2.3
さざえ			0.1	0.0	0.2	0.5	0.3	1.3	0.7
みずだこ			0.0	0.1	0.1	0.9	0.1	1.2	0.5
その他	0.0	0.2	1.9	0.4	1.0	6.4	4.4	14.3	25.6
合計	0.0	40.2	7.0	0.5	2.6	14.8	9.0	74.0	100.3
総計	19.8	77.2	74.3	4.8	304.0	101.6	514.7	1096.3	703.4

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報



420号
2019年2月15日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

底びき網の年間水揚状況のまとめ（期間:2018年1月～12月）

- 昨年の水揚重量は過去10年平均を下回り、水揚金額は過去10年平均並みでした。
- 産地価格指数は前年並みで、過去10年平均を上回りました。

石川県主要港の水揚状況（期間:1月16日～31日）

- 定置網ではカタクチイワシ・ウルメイワシなどが好調でした。

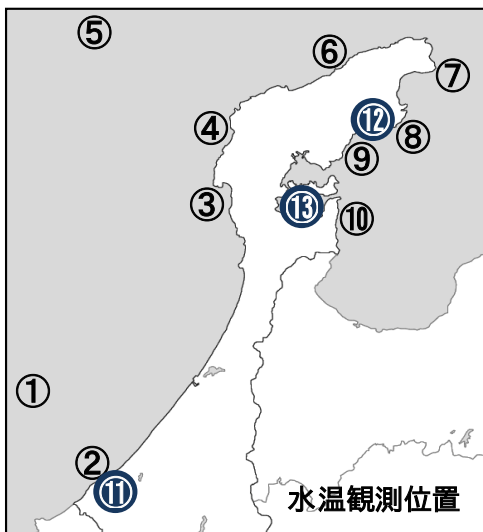
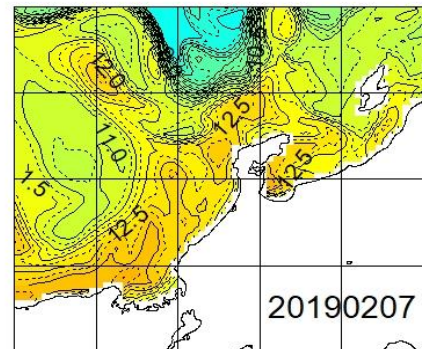
石川県周辺海域の水温（期間:2月3日～7日）

■ **沿岸の海面水温** 2月7日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は12℃台で、過去5年平均との差は+0.5～+1.0℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は12.1～12.7℃で、1月中旬から約1.3℃低下しました。前年同時期との差は+0.8～+1.4℃、過去3年平均との差は+0.3～+0.8℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は9.9～12.6℃で、前年同時期との差は+2.0～+2.9℃、過去3年平均との差は+0.9～+1.4℃でした。

石川県周辺の海面水温



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 2/3～2/7	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	12.7	+0.8	+0.3
② 橋立沿岸	休止中	データなし	データなし
③ 富来沿岸	休止中	データなし	データなし
④ 門前沿岸	休止中	データなし	データなし
⑤ 猿山岬沖	休止中	データなし	データなし
⑥ 曾々木沿岸	休止中	データなし	データなし
⑦ 小泊沿岸	12.1	+1.4	+0.8
⑧ 小浦沿岸	12.4	+1.4	+0.8
⑨ 鶴川沿岸	12.3	+1.2	+0.7
⑩ 岸端沿岸	12.3	+1.3	+0.7

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 2/3～2/7	前年差	過去3年 平均差
⑪ 橋立港	11.3	+2.0	+1.1
⑫ 宇出津港	12.6	+2.9	+1.4
⑬ 石崎港	9.9	+2.1	+0.9

底びき網の年間水揚状況のまとめ（期間:2018年1月～12月）

■ 2018年の県内主要港（橋立港・金沢港・富来港・輪島港・蛸島港・鶴飼港・宇出津港）の沖合底びき網と小型底びき網による水揚げの概要は以下のとおりです。

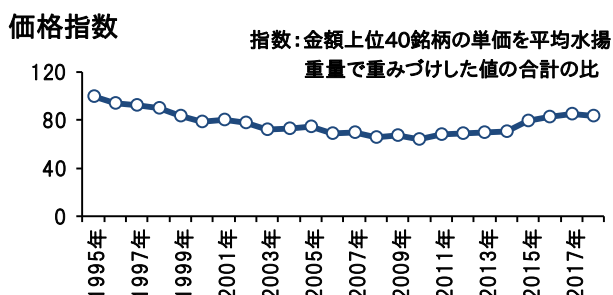
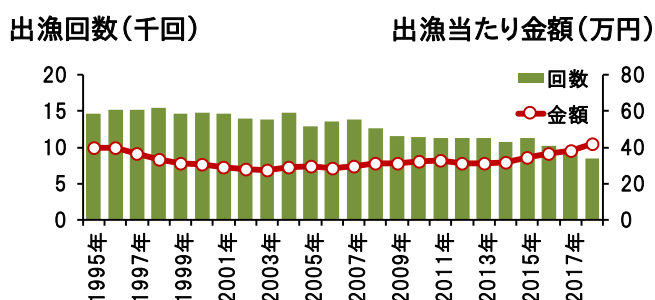
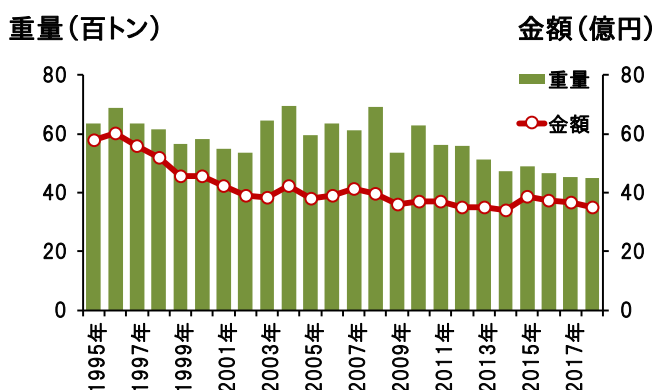
■ **水揚重量と水揚金額** 2018年の水揚重量は4,499トンで、前年（4,532トン）の99%、過去10年平均（5,374トン）の84%でした。過去10年平均に比べて、アマエビなどが多く、ズワイガニ・コウバコ・ハタハタなどが少なくなりました。2018年の水揚金額は35.1億円であり、前年（36.7億円）の96%、過去10年平均（36.6億円）の96%でした。過去10年平均に比べて、アマエビなどが多く、ニギス・ハタハタ・メガレイなどが少なくなりました。

■ **出漁回数** 2018年の延べ出漁回数は8,404回で、前年の87%、過去10年平均の76%でした。また、2018年の1回出漁当たりの水揚金額は41.8万円でした。1回出漁当たりの水揚金額は2015年以降上昇傾向にあります。

■ **産地価格** 水揚金額の多い上位40魚種について、1995年を100とする産地価格指数を計算したところ、2018年の指数は

83.3で、前年（85.5）並みであり、過去10年平均（72.4）を上回りました。過去10年平均に比べて、アマエビなどの単価は低下したものの、ズワイガニ・コウバコなどの単価は上昇しました。

底びき網の水揚重量・金額・価格指数



石川県主要港の水揚状況（期間:1月16日～31日）

■ **定置網** カタクチイワシ・ウルメイワシ・ブリは前年を上回り、サバは前年並み、マアジ・カワハギ・フクラギは前年を下回りました。スルメイカは62トン水揚げされました。1月の合計は72トンで、前年（149トン）および過去5年平均（149トン）を下回りました。

■ **まき網** サバ主体の水揚げで、前年を上回りました。

■ **底びき網・ごち網** アカガレイ・マダラ・ズワイガニは前年を上回り、ノトエビは前年並み、アマエビ・ニギスは前年を下回りました。

■ **刺網・釣り・その他** アマエビ・ナマコは前年を上回り、ベニズワイガニ・カワハギは前年並み、マダラは前年を下回りました。

集計期間 1月16日～1月31日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
かたくちいわし					18.8	3.3	240.7	262.8	22.4
うるめいわし					0.0	0.4	72.4	72.8	6.6
ぶり					0.8	30.7	30.9	62.4	50.7
するめいか					0.5	7.3	54.6	62.4	115.0
さば					8.8	2.1	46.7	57.6	53.1
まあじ					4.4	2.5	10.2	17.1	49.3
かわはぎ(ウマヅラ)					0.5	3.6	11.8	15.9	145.9
ふくらぎ・こそくら					0.1	9.4	4.1	13.5	43.3
そうだがつお					0.1	3.9	3.3	7.3	0.0
すずき			0.2		0.2	1.6	4.4	6.3	6.2
まいわし					2.3	0.2	3.8	6.3	1.8
やりいか					0.8	1.1	3.4	5.4	2.9
ひらまさ			0.0		0.0	1.6	2.8	4.4	0.1
その他			0.1		3.5	8.1	20.6	32.3	22.0
合計			0.3		40.7	75.8	509.7	626.5	519.3
まき網									
さば	—	93.4				—		93.4	
まあじ	—	1.5				—		1.5	
するめいか	—	0.1				—		0.1	
さわら・さごし	—	0.0				—		0.0	
その他	—	0.0				—		0.0	48.1
合計	—	95.0				—		95.0	48.1
底びき網・ごち網									
あかがれい	29.0	3.9	3.6	2.9	0.4	—		39.8	24.0
あまえび	0.1	8.6	17.6	1.2	0.0	—		27.5	39.8
まだら	2.9	9.3	1.0	5.6	1.1	—		19.8	8.0
にぎす	0.0	4.6	12.3			—		16.8	29.5
ずわいがに	0.3	4.7	1.1	1.2	2.5	—		9.8	8.1
のとえび(トゲザコビ [®] 他)	0.1	5.1	1.0	0.1	0.1	—		6.3	6.0
みずうお(ノゲン [®])	0.1	1.9	1.3	0.1	0.0	—		3.4	2.8
なめたがれい(ヒレ [®] ロ)	0.9	0.6	0.3	0.5	0.1	—		2.4	1.5
はたはた	0.2	0.8	0.6	0.7	0.2	—		2.4	0.5
その他	4.7	3.1	2.5	1.0	0.6	0.1	—	12.1	12.5
合計	38.1	42.7	41.3	13.2	5.0	0.1	—	140.4	132.7
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		35.0						35.0	34.9
まだら		0.0	1.9	8.6	3.0	6.5	1.7	21.8	35.1
あまえび			13.1				0.0	13.1	7.4
なまこ				0.0	0.1	5.3	0.5	5.9	3.9
かわはぎ(ウマヅラ)				0.0	0.0	3.5	0.2	3.7	4.0
まだこ				0.1	0.3	1.5	1.4	3.3	2.9
あかがれい			1.4		0.1	0.4	0.1	2.0	1.8
みずだこ				0.5	0.1	0.7	0.1	1.4	2.5
その他	0.0	0.1	1.4	1.5	1.6	8.0	5.1	17.7	17.4
合計	0.0	35.1	17.7	10.8	5.3	26.0	9.1	104.0	109.9
総計	38.1	172.8	59.2	24.1	50.9	101.9	518.8	965.8	810.0

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報



421号
2019年2月28日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

調査船白山丸のアマエビ調査結果（期間:1月19日～26日）

- 2017年生まれの2歳エビの分布量は多めでした。
- 現在の高い水揚量が今後も維持されることが期待できます。

石川県主要港の水揚情報（期間:2月1日～15日）

- 定置網ではカタクチイワシ・ブリ、底びき網ではアカガレイが好調でした。

水産総合センタートピックス

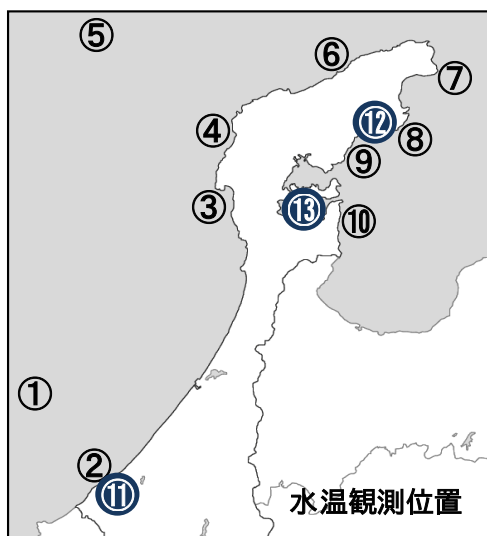
- 「水産総合センター公開セミナーを開催しました」「うみとさかなの科学館」

石川県周辺海域の水温（期間:2月16日～20日）

■ **沿岸の海面水温** 2月20日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は10～11℃台であり、過去5年平均との差は+0.5～+1.0℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は11.1～12.2℃で、2月上旬から約0.9℃低下しました。前年同時期との差は+0.7～+1.6℃、過去3年平均との差は+0.1～+0.6℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は8.8～11.8℃で、前年同時期との差は+0.5～+2.2℃、過去3年平均との差は-0.7～+0.9℃でした。



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 2/16～2/20	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	12.2	+0.8	+0.3
② 橋立沿岸	休止中	データなし	データなし
③ 富来沿岸	休止中	データなし	データなし
④ 門前沿岸	休止中	データなし	データなし
⑤ 猿山岬沖	休止中	データなし	データなし
⑥ 曾々木沿岸	休止中	データなし	データなし
⑦ 小泊沿岸	11.3	+1.6	+0.6
⑧ 小浦沿岸	11.5	+1.2	+0.5
⑨ 鶴川沿岸	11.4	+1.1	+0.4
⑩ 岸端沿岸	11.1	+0.7	+0.1

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 2/16～2/20	前年差	過去3年 平均差
⑪ 橋立港	10.4	+1.0	+0.3
⑫ 宇出津港	11.8	+2.2	+0.9
⑬ 石崎港	8.8	+0.5	-0.7

調査船白山丸のアマエビ調査結果（期間：1月19日～26日）

■ 調査船白山丸は1月19日～26日に金沢沖の水深375～500mの海域でアマエビ（標準和名：ホッコクアカエビ）の分布量調査を行いました。この調査は冬期と夏期の年2回実施しており、金属枠に袋網をつけた漁具を30分間曳網し、今後漁獲対象になる小型エビ（若齢エビ）の資源量を調べています。

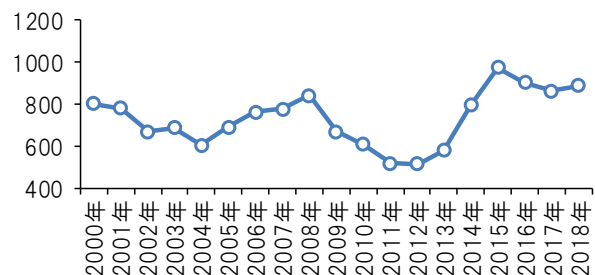
■ 2歳エビ（2017年生まれ）は2018年の夏期調査に引き続き多く採集されており、1回曳網当たり121尾採集されました。今回は荒天の合間をぬっての調査となったため、全体的に採集尾数は少なくなりましたが、それでも2歳エビは3歳、4歳エビより多く採集され、比較的資源量が多いと考えられます。

■ 昨年のアマエビの県内漁獲量は、豊漁であった2015年よりは減少したものの、高水準を維持しています。近年の漁獲を支えてきた2010年生まれと2011年生まれに代わり、昨年から2014年生まれが本格的に漁獲加入しており、今後も好漁が続くものと見込まれます。

冬期調査における年齢別アマエビ採集尾数（尾/網）

調査年	2歳	3歳	4歳
2010年	104	12	65
2011年	74	122	27
2012年	523	98	62
2013年	232	308	100
2014年	108	310	325
2015年	113	205	299
2016年	247	33	65
2017年	62	256	42
2018年	57	49	99
2019年	121	41	91

単位(トン) 主要10港のアマエビ漁獲量



石川県主要港の水揚げ状況（期間：2月1日～15日）

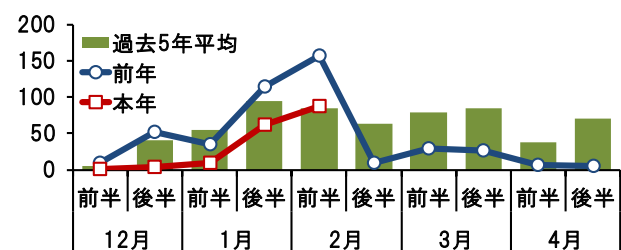
■ **定置網** カタクチイワシ・ブリ・ウルメイワシは前年を上回り、マイワシ・カワハギは前年を下回りました。スルメイカは87トン水揚げされました。12月前半から2月前半までの累計は163トンで、前年（368トン）および過去5年平均（280トン）を下回りました。

■ **まき網** ブリ・サバ主体の水揚げで、前年を上回りました。

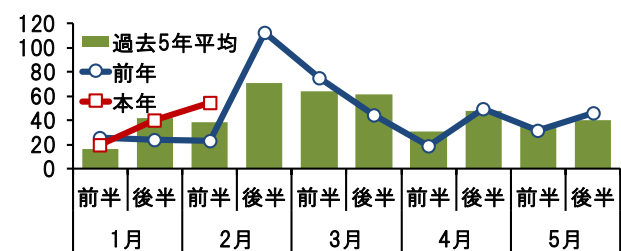
■ **底びき網・ごち網** アマエビ・ニギス・ズワイガニは前年を上回りました。アカガレイは55トン水揚げされました。1月前半から2月前半までの累計は114トンで、前年（73トン）および過去5年平均（97トン）を上回りました。

■ **刺網・釣り・その他** ベニズワイガニ・マダラ・アマエビ・カワハギは前年を上回りました。

単位(トン) 定置網のスルメイカ水揚量



単位(トン) 底びき網のアカガレイ水揚量



集計期間 2月1日～2月15日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
かたくちいわし					42.9	33.6	351.7	428.3	1.6
ぶり					1.3	54.5	52.4	108.2	19.9
するめいか					0.9	4.8	81.3	87.0	157.4
まいわし					19.3	2.6	10.9	32.8	874.7
かわはぎ(ウマグラ)					0.3	5.5	12.7	18.5	40.7
うるめいわし					0.1	4.1	11.8	15.9	0.4
さば					3.1	1.7	8.4	13.2	28.8
まあじ					2.4	4.7	6.0	13.1	33.7
まだら			0.2		2.3	3.0	5.1	10.6	7.5
やりいか					1.0	2.0	5.7	8.7	2.7
ふくらぎ・こぞくら					0.2	5.5	1.9	7.5	8.0
めじ(ウマガロ)					0.2	1.0	2.9	4.1	
さわら・さごし					0.5	1.1	2.0	3.6	1.1
その他			0.1		1.4	27.4	14.8	43.8	19.4
合計			0.3		75.9	151.6	567.4	795.2	1196.0
まき網									
ぶり	—	85.7				—		85.7	50.3
さば	—	63.4				—		63.4	
がんど	—	16.5				—		16.5	
まあじ	—	5.8				—		5.8	
その他	—	0.4				—		0.4	0.0
合計	—	171.7				—		171.7	50.3
底びき網・ごち網									
あかがれい	45.0	5.2	4.0		0.6		—	54.7	23.2
あまえび	0.6	6.7	17.9		0.0		—	25.2	20.3
にぎす	0.8	3.9	10.2				—	14.9	7.0
ずわいがに	0.4	7.0	0.3		3.2		—	11.0	5.3
まだら	3.3	1.5	1.8		1.8	0.1	—	8.4	3.9
のとえび(トゲザコビ他)	0.1	4.2	4.0		0.1		—	8.3	4.9
はたはた	0.7	1.3	1.0		0.7	3.0	—	6.6	1.2
ふぐ類	0.0	0.0	4.4				—	4.5	0.2
みずうお(ノケンゲ)	0.1	1.1	1.6				—	2.8	6.1
その他	6.2	4.3	4.1		0.9	0.3	—	15.9	5.9
合計	57.1	35.1	49.5		7.3	3.4	—	152.4	78.1
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		45.2						45.2	17.3
まだら			0.9		6.1	24.8	3.6	35.3	14.7
あまえび			20.1			0.0		20.1	4.9
かわはぎ(ウマグラ)		0.0			0.0	5.3	1.5	6.8	1.4
ぶり					0.1	0.1	3.1	3.3	0.0
なまこ			0.0		0.3	1.5	0.9	2.7	1.2
まだこ					0.1	1.2	0.9	2.2	1.3
あかがれい			0.8		0.1	0.6	0.1	1.7	2.8
その他	0.0	1.9	1.8		2.9	11.5	5.9	24.1	18.8
合計	0.0	47.1	23.7		9.7	44.9	16.0	141.4	62.5
総計	57.1	254.0	73.4	0.0	92.9	199.9	583.4	1260.7	1386.9

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

水産総合センター公開セミナーを開催しました

■ 当センターでは昨年度から、より広く県民の皆さんに日頃の研究成果や活動内容を知っていただくため、一般の方も参加できる公開セミナーを開催することとし、今年度は平成31年2月16日(土)に金沢みなと会館(金沢市無量寺町)で昨年度より15名多い60名の参加をいただき開催しました。

■ 内容は、時代が平成から新しい時代を迎えることに当たり「いしかわの魚の魅力、今そして未来」と題し次の演題(発表者)で発表しました。

- ① いしかわの魚の移り変わり(海洋資源部 原田浩太郎)
- ② 誕生 石川の新たな特産品「能登とり貝」(生産部 海田 潤)
- ③ 能登の伝統的な発酵食品「いしる」の魅力(技術開発部 小谷美幸)
- ④ アユは海からやってくる、遡上量予測の試み(内水面水産センター 増田泰隆)

■ さらに、特別講演として石川県羽咋市ご出身で宮城大学の西川正純教授から、健康な生活に向け石川で漁獲される魚を例に、魚の持つ栄養素・機能性をはじめ魚食の重要性などについて「健康へのパスポート 石川の魚」と題し講演していただきました。

■ 参加者の皆さんにアンケート(回収率87%)をさせていただいたところ、「トリガイの育成方法やアユの生態が勉強になった」、「魚を食べることの重要性が判った」など、全体を通して約80%の方から満足との回答をいただきましたが、「もう少し掘り下げた内容を聞きたかった」、「暗くてメモが取りづらい」、「カキや海藻を聞きたい」など貴重なご意見やご要望もいただきました。今後も、こうした意見などを参考にさせていただきながら、セミナーの充実に努めていきたいと考えております。

■ 発表の内容については、今後、この漁海況情報でも逐次報告していく予定です。

うみとさかなの科学館

■ 石川県海洋漁業科学館(通称「うみとさかなの科学館」)は当センターの附属施設として、石川県でとれる魚や海などについて、展示物や映像をみながら楽しく学ぶことができる施設です。また、海藻や貝殻など海の素材を活用した月替わりの工作に加え、周年行っている(要予約)「イカとっくり」「ガラス玉編み込み」工作も行っています(写真参照)。



うみとさかなの科学館外観



イカとっくり



ガラス玉編み込み

■ 入館料、工作費用いずれも無料です。季節柄、出かける機会も増えて来る時期です。また、春休みや新年度の予定を立てる時期でもあります。当館のご利用についてご検討いただければ幸いです。職員一同心よりお待ちしております。

■ なお、現在、入口につながるスロープの改修工事を行っており(工期:3月22日まで)、入館に際しご不便をお掛けしますがご理解の程よろしく申し上げます。

■ 科学館基本情報

開館時間:9:30~16:30 休館日:毎週月曜日(祝日の場合は開館)

問い合わせ:0768-62-4655

HP:<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/kagakukan/toppage.html>

石川県漁海況情報



422号
2019年3月18日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

サヨリの漁況の見通し（予報期間:3月～5月）

- 船びき網等によるサヨリの水揚量は、近年低水準で推移しています。
- 主要港におけるサヨリの水揚量は前年および過去5年平均を上回る見込みです。

石川県主要港の水揚状況（期間:2月16日～28日）

- 定置網ではブリ・カタクチイワン、まき網ではブリなどが好調でした。

水産総合センター・トピックス

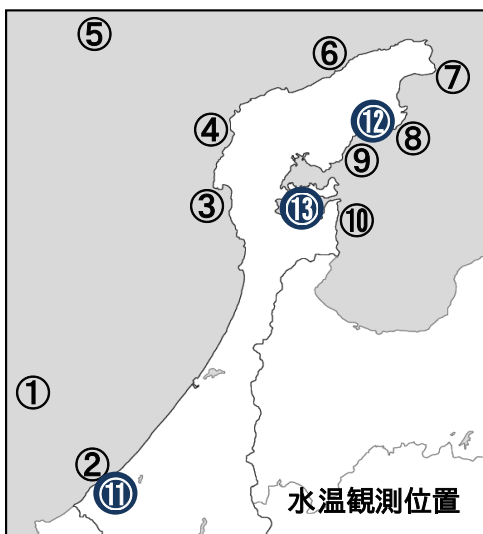
- 「第24回全国青年・女性漁業者交流大会が開催されました」「いしかわの魚の移り変わり」

石川県周辺海域の水温（期間:3月6日～10日）

■ **沿岸の海面水温** 3月10日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は10～11℃台で、過去5年平均との差は+0.5～+1.0℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は11.1～11.4℃で、2月中旬から約0.3℃低下しました。前年同時期との差は+1.0～+1.5℃、過去3年平均との差は+0.1～+0.9℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は11.3～11.5℃で、前年同時期との差は+1.5～+2.2℃、過去3年平均との差は+0.8～+1.2℃でした。



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 3/6～3/10	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	11.4	+1.0	+0.1
② 橋立沿岸	休止中	データなし	データなし
③ 富来沿岸	休止中	データなし	データなし
④ 門前沿岸	休止中	データなし	データなし
⑤ 猿山岬沖	休止中	データなし	データなし
⑥ 曾々木沿岸	休止中	データなし	データなし
⑦ 小泊沿岸	11.2	+1.5	+0.9
⑧ 小浦沿岸	11.2	+1.2	+0.6
⑨ 鶴川沿岸	11.2	+1.2	+0.6
⑩ 岸端沿岸	11.1	+1.2	+0.6

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 3/6～3/10	前年差	過去3年 平均差
⑪ 橋立港	11.3	+1.7	+0.9
⑫ 宇出津港	11.5	+1.5	+0.8
⑬ 石崎港	11.3	+2.2	+1.2

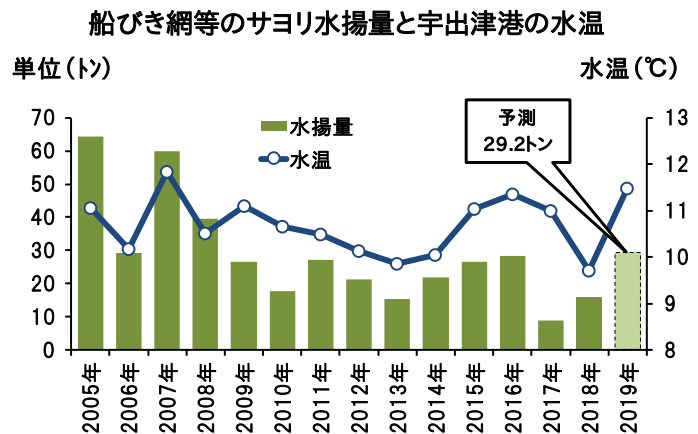
サヨリの漁況の見通し（予報期間:3月～5月）

■ 石川県では、季節を代表する水産物を「石川の四季のさかな」とし、春の魚としてサヨリを選定しています。サヨリは主に2隻の船で網を曳く船びき網により漁獲され、主漁期は3～5月です。

■ 県内主要港の3～5月の船びき網等によるサヨリの水揚量は、1998年には163.0トンありましたが、その後減少し、2010年以降は10～30トン程度で推移しています。この長期的な水揚量

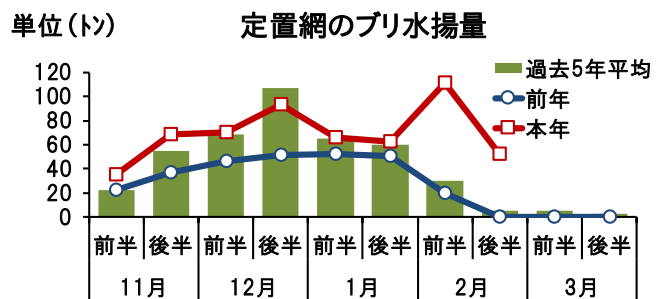
の減少の主な理由としては、操業隻数の減少があげられます。一方、近年の水揚量の変動と沿岸水温（宇出津港内の水温）との関係を調べたところ、一部例外的な年はあるものの、2月下旬～3月上旬の沿岸水温が低いほど、3～5月の水揚量が少ない傾向がみられました。

■ 今年2月下旬～3月上旬の宇出津港の平均水温は11.5℃でした。この値を水温と水揚量の関係式に当てはめると、今年3～5月の主要港の船びき網等による水揚量は29.2トンと推定され、前年（16.0トン）および過去5年平均（20.4トン）を上回ると予想されます。



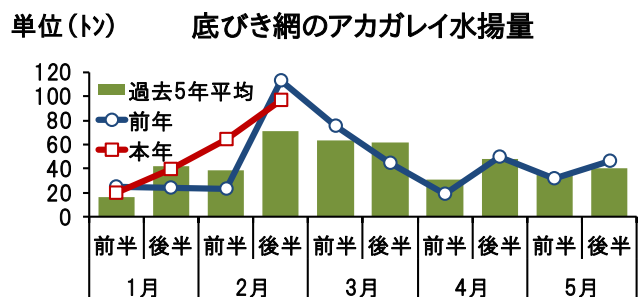
石川県主要港の水揚状況（期間:2月16日～28日）

■ **定置網** スルメイカ・カタクチイワシ・マアジ・マダラは前年を上回り、マイワシは前年を下回りました。ブリは46トン水揚げされました。11月前半から2月後半までの累計は560トンで、前年（281トン）および過去5年平均（414トン）を上回りました。



■ **まき網** ブリ主体の水揚げで、前年を上回りました。

■ **底びき網・ごち網** ニギス・ハタハタ・フグ類は前年を上回り、アカガレイ・アマエビは前年並み、マダラ・ズワイガニは前年を下回りました。アカガレイは97トン水揚げされました。1月前半から2月後半までの累計は221トンで、前年（186トン）並みで、過去5年平均（168トン）を上回りました。



■ **刺網・釣り・その他** ガンド・マダラ・ナマコは前年を上回り、ベニズワイガニ・アマエビは前年並みでした。

集計期間 2月16日～2月28日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
するめいか					0.4	9.4	54.4	64.3	9.7
ぶり					0.6	12.8	32.0	45.5	0.5
かたくちいわし					27.7	0.6	5.5	33.7	0.7
まあじ					4.5	4.1	6.3	14.9	4.9
めじ(カマガロ)					0.1	0.8	9.5	10.4	
まだら			0.1		1.6	3.9	3.7	9.3	6.0
さば					0.2	0.3	6.7	7.2	2.5
かわはぎ(カマヅラ)					0.0	1.6	4.9	6.5	2.7
やりいか					1.1	1.3	1.9	4.3	1.6
まいわし					0.6	0.2	2.6	3.4	3070.8
うるめいわし					0.0	0.1	2.6	2.7	
ふくらぎ・こそくら					0.1	1.4	0.1	1.6	1.0
ふぐ類			0.0		0.1	0.7	0.5	1.4	1.9
その他			0.0		0.8	8.5	8.2	17.5	6.7
合計			0.1		38.0	45.8	138.8	222.7	3109.0
まき網									
ぶり		126.3					25.3	151.6	68.8
さば		37.4						37.4	0.0
がんど		28.8					1.7	30.5	0.0
まあじ		0.6						0.6	
その他		0.4					0.0	0.4	0.3
合計		—	193.5				—	220.4	69.1
底びき網・ごち網									
あかがれい	65.9	7.5	4.4	18.8	0.6			97.1	112.8
にぎす	4.0	34.0	14.8	5.0				57.8	38.7
はたはた	10.9	3.6	1.9	6.4	2.5	5.0		30.2	12.5
あまえび	0.3	4.1	15.1	10.2	0.1			29.7	36.6
まだら	2.5	2.2	1.3	9.8	1.3			17.0	31.1
ふぐ類	0.5	0.3	6.1	8.5				15.4	1.8
ずわいがに	0.2	6.5	0.1	2.2	2.4			11.4	20.8
そうはち	3.3	1.4		2.6	0.0			7.3	5.7
みずうお(ノカゲ)	0.6	4.9	0.8	0.6	0.0			7.0	15.1
その他	9.6	15.4	7.9	20.3	1.1	0.6		54.9	39.1
合計	97.7	79.7	52.4	84.5	7.9	5.6	—	327.8	314.2
刺網・釣り・その他									
がんど				31.6	0.1			31.8	11.5
べにずわいがに		29.9						29.9	33.4
まだら	0.1	0.0	1.3	0.0	2.2	14.9	3.0	21.6	10.7
あまえび			18.6					18.6	17.2
なまこ			0.2	0.0	1.2	13.8	1.2	16.3	7.6
みずだこ	0.0	0.0	0.0	9.3	0.2	0.2	0.1	9.8	6.4
ふぐ類	0.0		0.9	6.2		0.0	0.0	7.1	2.7
ぶり				5.5	0.0	0.0	1.0	6.5	6.2
その他	3.2	2.5	5.1	15.0	3.7	11.6	13.2	54.3	46.9
合計	3.3	32.3	26.1	67.7	7.4	40.5	18.4	195.8	142.5
総計	101.1	305.5	78.6	152.2	53.3	91.8	184.2	966.7	3634.8

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

第24回全国青年・女性漁業者交流大会が開催されました

■ 平成31年2月28日(木)、3月1日(金)東京都内において第24回全国青年・女性漁業者交流大会が開催されました。大会では、全国の青年、女性漁業者グループが日頃の研究・実践活動の成果を発表するとともに、参加者間の交流が行われました。

■ 石川県からは石川県漁協穴水支所の齋藤義己(さいとうよしみ)さんが、都内から穴水町に移住して、カキ養殖業を営んできたこれまでの取り組みや活動について発表を行い、JF全国女性連・漁青連会長賞を受賞しました(右写真)。

■ 審査員からは、1ターンによる就業にあたり、身の丈にあった経営で自立ができている点、生産したカキを自前のレストランで販売するなど自己完結ができている点などが評価されました。

■ 齋藤さんには今回の受賞を励みに、今後もカキ養殖経営の発展に取り組んで頂くとともに、当センターとしても引き続き技術指導など支援していきたいと考えています。

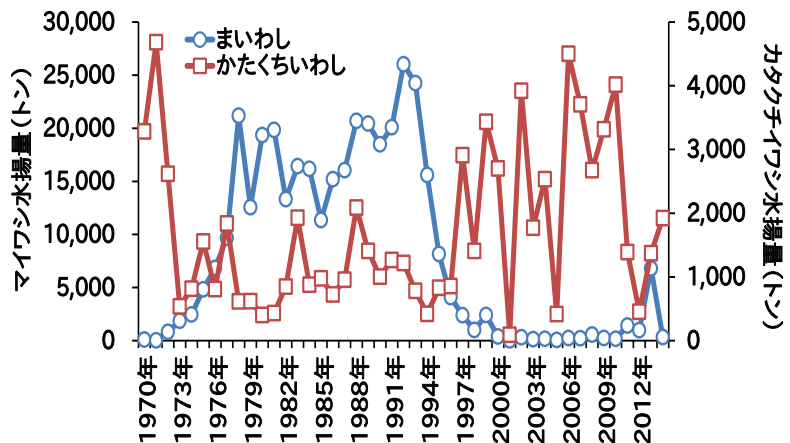


いしかわの魚の移り変わり (2月16日公開セミナー講演概要)

■ 石川県では四季折々の様々な魚が漁獲され、豊かな食文化を支えているほか、訪れる観光客にとっての魅力にもなっています。一方で、魚には好漁不漁といった変動があります。この漁模様の良し悪しには様々な要因がありますが、資源の変動が大きな要因になっています。

■ 日本周辺海域の魚類資源に

ついては、マイワシとカタクチワシの関係に代表される、魚種交替という現象が知られています。これはマイワシとカタクチワシが数十年規模の周期で交互に増えたり減ったりを繰り返すというダイナミックな資源変動で、地球規模の気候・環境変動によって引き起こされているとの説が有力です。この魚種交替は石川県内の水揚量でも確認でき(上図)、海の魚の生態系を考える上で重要なイベントです。他の魚においても程度の差こそあれ、このような十～数十年単位の変動を繰り返すものは多くいます。水揚げされる魚全体を見ると、十年程度の単位で主要魚種の顔ぶれがガラッと変わることがわかってきました。石川県内の漁獲の変動についても、周辺の水温だけでなく、地球規模の環境変動の影響が強いという結果も得られており、今後さらなる研究が求められます。



石川県定置網水揚量(北陸農政局発行、石川県農林統計より)

石川県漁海況情報



423号

2019年3月29日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

ズワイガニ漁のまとめ（期間:2018年11月～2019年3月）

- 2018年漁期の雄ガニおよび雌ガニの水揚量は過去5年平均を下回りました。
- 2018年漁期の雄ガニおよび雌ガニの総水揚金額は過去5年平均並みでした。

石川県主要港の水揚状況（期間:3月1日～15日）

- 定置網ではカタクチイワシ・ブリ、まき網ではマアジ・サバ、底びき網ではアマエビなどが好調でした。

水産総合センタートピックス

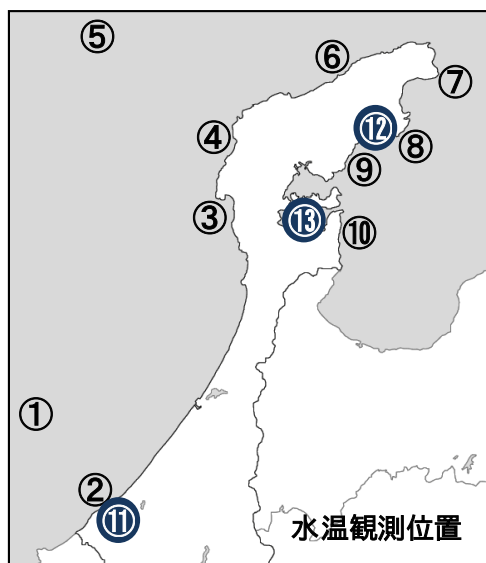
- 「誕生 石川の新たな特産品「能登とり貝」「伝統的な発酵食品「いしる」の魅力」

石川県周辺海域の水温（期間:3月20日～24日）

■ **沿岸の海面水温** 3月24日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は10～11℃台で、過去5年平均との差は+0.5℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は11.0～12.2℃で、3月上旬から0.1℃上昇しました。前年同時期との差は+1.2～+1.8℃、過去3年平均との差は+0.5～+1.0℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は11.3～11.9℃で、前年同時期との差は+1.2～+1.8℃、過去3年平均との差は+0.6～+0.9℃でした。



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 3/20～3/24	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	12.2	+1.8	+1.0
② 橋立沿岸	休止中	データなし	データなし
③ 富来沿岸	休止中	データなし	データなし
④ 門前沿岸	休止中	データなし	データなし
⑤ 猿山岬沖	休止中	データなし	データなし
⑥ 曾々木沿岸	休止中	データなし	データなし
⑦ 小泊沿岸	11.0	+1.2	+0.5
⑧ 小浦沿岸	11.1	+1.3	+0.7
⑨ 鶴川沿岸	休止中	データなし	データなし
⑩ 岸端沿岸	11.1	+1.3	+0.7

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 3/20～3/24	前年差	過去3年 平均差
⑪ 橋立港	11.9	+1.8	+0.9
⑫ 宇出津港	11.3	+1.2	+0.6
⑬ 石崎港	休止中	データなし	データなし

ズワイガニ漁のまとめ（期間：2018年11月～2019年3月）

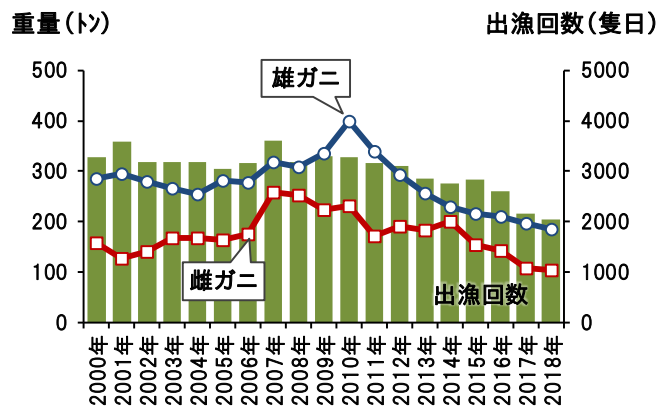
■ 2018年漁期（昨年11月～今年3月）の底びき網漁船による県内主要港（橋立港・金沢港・富来港・輪島港・蛸島港・鶴飼港）へのズワイガニの水揚状況は以下のとおりでした。

■ 2018年漁期の雄ガニ（加能ガニ）の水揚量は185トンで、前年（196トン）の94%、過去5年平均（222トン）の83%でした。2011年漁期以降、雄ガニの水揚量は減少傾向にあります。2018年漁期の雌ガニ（香箱）の水揚量は105トンで、前年（108トン）の97%、過去5年平均（158トン）の67%でした。今漁期は出漁隻数が少なく、水揚量は低水準となりました。

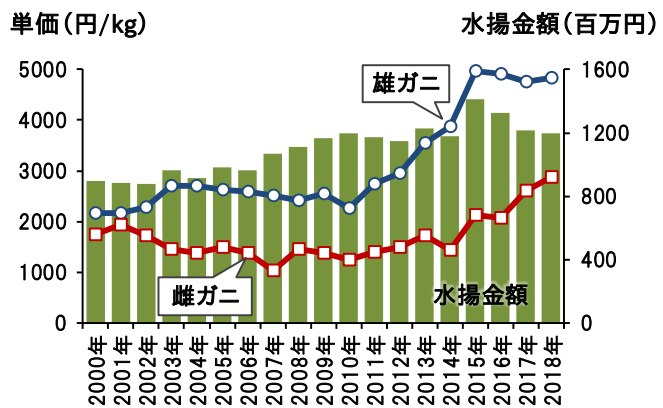
■ 2018年漁期の雄ガニのキログラム単価は4,838円で、前年（4,755円）並みで過去5年平均（4,411円）を上回りました。雌ガニの単価は2,878円で、前年（2,614円）および過去5年平均（1,997円）を上回りました。2015年以降雄ガニおよび雌ガニの単価はともに高水準で推移しています。総水揚金額（12.0億円）は前年（12.2億円）および過去5年平均（12.7億円）並みでした。

■ 本県の底びき網漁業者は資源を保護するために雌ガニの漁期短縮やミスガニの禁漁など資源管理に積極的に取り組んでいます。ズワイガニはおおむね7～8歳以降に漁獲対象になるため、資源保護の効果が出るまでには時間がかかりますが、引き続き資源管理への協力をお願いします。

雌雄別の水揚重量と出漁回数



雌雄別の単価と総水揚金額



石川県主要港の水揚状況（期間：3月1日～15日）

■ **定置網** カタクチイワシ・ブリ・マアジは前年を上回り、マダラ・カワハギは前年並み、マイワシは前年を下回りました。スルメイカは50トン水揚げされました。12月前半から3月前半までの累計は248トンで、前年（407トン）および過去5年平均（421トン）を下回りました。

■ **まき網** マアジ・サバ・ブリ主体の水揚げで、前年を上回りました。

■ **底びき網・ごち網** アマエビは前年を上回り、ハタハタ・ズワイガニ・マダラは前年並み、アカガレイ・ニギス・フグ類は前年を下回りました。

■ **刺網・釣り・その他** ベニズワイガニ・アマエビ・ガンドは前年を上回り、ヤナギバチメは前年並みでした。

集計期間 3月1日～3月15日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
かたくちいわし					2.4	2.4	70.2	75.0	
するめいか					7.0	3.3	40.1	50.4	29.9
ぶり					0.0	5.0	45.0	50.0	0.2
まあじ					3.4	3.7	4.5	11.7	7.6
めじ(クマガノ)					0.5	5.4	0.7	6.6	
まだら			0.0		0.7	2.8	1.4	4.9	4.4
かわはぎ(ウマヅラ)			0.0		0.1	0.9	2.3	3.3	3.1
さば					0.0	0.2	2.9	3.2	2.7
やりいか					0.4	0.6	1.0	2.1	1.5
まいわし					0.2	0.1	1.5	1.8	3801.5
ふぐ類			0.0		0.3	0.7	0.6	1.7	0.7
すずき			0.0		0.1	0.3	1.0	1.4	0.1
さわら・さごし					0.1	0.6	0.7	1.3	0.1
その他			0.0		1.5	8.9	10.0	20.4	7.3
合計			0.1		16.8	34.9	182.1	233.9	3858.9
まき網									
まあじ	—	19.5			63.7	—	50.0	133.2	
さば	—	50.6			35.7	—	11.3	97.6	
ぶり	—	33.7				—		33.7	52.6
すずき	—	0.5			0.1	—		0.6	
その他	—	0.3			0.4	—	0.4	1.1	0.4
合計	—	104.6			100.0	—	61.6	266.1	53.1
底びき網・ごち網									
あかがれい	21.8	4.1	1.0	7.9	0.2		—	35.1	75.4
にぎす	2.1	13.3	2.5	1.0	0.2		—	19.1	33.4
あまえび	0.1	1.8	12.7	3.1	0.1		—	17.8	4.8
はたはた	3.7	3.0	0.6	1.7	2.9	4.0	—	15.9	17.4
ふぐ類	0.4	0.7	5.9	0.5			—	7.4	17.6
ずわいがに	0.0	3.8	0.1	0.7	2.3		—	6.9	7.9
まだら	0.5	0.9	1.0	3.1	0.6		—	6.1	5.8
のとえび(トゲザコエビ他)	0.1	1.9	2.0	0.0	0.1		—	4.2	2.4
みずうお(ノケノケ)	0.2	2.5	1.0	0.1	0.1		—	3.8	3.5
その他	6.7	8.3	6.9	5.3	1.1	0.5	—	28.6	34.2
合計	35.7	40.3	33.5	23.4	7.6	4.5	—	144.9	202.3
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		31.5	5.0					36.5	25.3
あまえび			19.6			0.0		19.6	13.7
がんど			0.2	12.4	0.3	0.0		13.0	0.5
まだら	0.0		0.5		0.6	3.7	1.1	5.9	4.9
みずだこ		0.0	0.0	4.8	0.1	0.2	0.1	5.2	4.2
やなぎばちめ(ウスマル)	0.1	0.0	1.1	1.8	0.3	0.1	0.2	3.6	3.5
さより				0.0	0.3	3.2	0.0	3.6	2.5
かわはぎ(ウマヅラ)	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	2.9	3.3	2.2
その他	1.6	1.4	4.4	9.4	2.3	9.1	8.0	36.2	46.3
合計	1.8	33.0	30.8	28.5	4.0	16.5	12.2	126.8	103.0
総計	37.5	177.9	64.3	51.9	128.3	55.9	255.9	771.8	4217.3

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

誕生 石川の新たな特産品「能登とり貝」(2月16日公開セミナー講演概要)

■ 当センターでは、身が大きく肉厚で、甘みが強いことから市場で高い評価を得ている七尾湾産のトリガイの安定供給を目的に、平成22年度から育成技術の開発に取り組み、平成26年度からは漁業者による本格的な育成が開始されました。

■ 育成する種苗は海で安定的に確保することができないため、当センターで4月下旬から大きさ1cm以上にまで育てた種苗を7月に漁業者に配布します。漁業者は、その種苗を床材となるアンストライト(無煙炭)を入れたコンテナに收容し、海面の筏等から水深約10mに垂下して飼育を開始します。トリガイは成長が早く、翌年5月には商品サイズ(8cm程度)になりますが、この間、定期的にコンテナ交換、床材洗浄、收容密度を調整するなどの飼育管理を行います。

■ 育成されたトリガイは「能登とり貝」と命名(商標登録済み)され、天然トリガイと変わらぬ品質から高価格で取引されるようになりましたが、夏場の高水温による斃死など、安定生産に向けての課題もあります。このため、当センターでは育成海域の水温、酸素量、プランクトン量を自動観測し、適正な飼育水深を漁業者に情報提供するシステムの導入といった対策を進めており、今後も石川の新たな特産品として「能登とり貝」の生産拡大に取り組んでいきます。



育成された「能登とり貝」

伝統的な発酵食品「いしる」の魅力 (2月16日公開セミナー講演概要)

■ 能登の「いしる」は、秋田県の「しょつつる」、香川県の「いかなご醤油」と並ぶ日本三大魚醤油の一つとして知られています。平成27年度の生産量は257トンで、自然食品への関心の高まりや業務用調味料としての需要拡大などにより生産量は過去20年間で3倍に増加しています。

■ 「いしる」の原料は魚介類と食塩のみで添加物は使用しません。約1~3年をかけて自然発酵させることでうま味を作り出しており、うま味の指標となるアミノ酸が大豆こいくち醤油の特級クラス以上に多く含まれています。

■ また、他の魚醤油に比べ、疲労回復に効果のあるタウリンや、活性酸素の働きを阻止する物質、血圧上昇を抑制する酵素なども多く含まれています。

■ 「いしる」は、能登の気候風土に適した伝統的な製法を守り製造されています。しかし、需要の増加や販路の多様化に伴い生産拡大や品質の安定化など新たな課題への対応も求められています。

■ 当センターではこれまでも新たな原料を用いた製造技術の開発や、残滓を有効利用するための調味料の開発などに取り組んできました。今後もさらなる研究に取組み生産者を応援していきます。



いしるの製造タンク



いしるの市販品